

事務事業及び予算の執行実績

(令和2年度分「一部、令和3年度分を含む」)

静岡県工業技術研究所

沼津工業技術支援センター

富士工業技術支援センター

浜松工業技術支援センター

目 次

第1 工業技術研究所全体[事務事業]	
I 事務事業の概要	1
1 概況	1
(1) 工業技術研究所の沿革	1
(2) 工業技術研究所全体の事業概要	2
(3) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの状況	3
ア 工業技術研究所(静岡市)	3
(ア) 地域の概要	3
(イ) 事業の概要	3
イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)	5
(ア) 地域の概要	5
(イ) 事業の概要	5
ウ 富士工業技術支援センター(富士市)	6
(ア) 地域の概要	6
(イ) 事業の概要	6
エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)	7
(ア) 地域の概要	7
(イ) 事業の概要	8
(4) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要	9
ア 工業技術研究所(静岡市)	9
イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)	9
ウ 富士工業技術支援センター(富士市)	9
エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)	9
(5) 組織図	11
ア 工業技術研究所(静岡市)	11
イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)	12
ウ 富士工業技術支援センター(富士市)	12
エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)	13
2 事務又は事業の目的、計画、実績(成果)及び評価・改善	14
(1) 総務事務	14
(2) 試験研究、調査及び指導事務	16
ア 研究開発	16
(ア) 研究課題	16
(イ) 外部研究員招へい事業	33
(ウ) 特許等の登録及び出願	40
イ 技術相談等	45
(ア) 技術相談	45
(イ) 依頼試験、機器使用及び研究施設等使用	47
(ウ) 研究会の育成	60
(エ) 研修生の受入れ	61
ウ 技術情報提供	64
(ア) 研究報告関係	64
(イ) 研究発表会関係	64
(ウ) 研究所情報等の提供	70
(エ) 研究所の事業広報等	70
(オ) 講習会等	71
(カ) 講師活動	76
(キ) 委員派遣	81
(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣	99
(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展	107
エ その他	116
(ア) 産学官連携コーディネイト体制強化事業	116
(イ) 資質向上研修	116
オ 評価・改善	117
(3) 事業の根拠法令調	122

目 次

II 職員状況	
1 職員調	123
2 職員の年齢調	129
3 健康管理	130
4 職員配置調	131
第2 工業技術研究所（静岡市）〔財務事務〕	
1 歳入予算執行状況調	133
2 県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	137
3 現金出納調	137
4 保管現金有高調	137
5 預金調	137
6 郵券等受払調	138
7 歳入歳出外現金調	139
8 歳出予算執行状況調	140
9 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	146
10 委託料に関する調	149
11 負担金支出調	163
12 建築工事調	167
13 公有財産調	171
14 借地借家等調	173
15 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	175
16 行政財産貸付・使用許可調	177
17 備品・図書調	179
18 主要備品調	185
19 生産物受払調	187
第3 試験研究成果一覧表〔研究所全体〕	189

(注) 第1・3は、工業技術研究所全体（沼津・富士・浜松工業技術支援センターを含む。）を記載
第2は、工業技術研究所（静岡市）分のみ計上

第1 工業技術研究所全体

[事務事業]

I 事務事業の概要

1 概況

(1) 工業技術研究所の沿革

明治39年	3月	「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年11月に開場
大正2年	12月	「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転
大正4年	9月	「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称
大正8年		「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転
大正8年	12月	「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転
大正9年	2月	「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称
昭和12年	11月	「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設
昭和27年	4月	「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称
昭和28年	1月	「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通5丁目）に移転
昭和32年	4月	「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称
昭和36年	4月	「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称
昭和36年	6月	「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置
昭和38年	1月	「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称
昭和38年	12月	「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（後富士市伝法、現富士市永田北町）に移転
昭和42年	6月	「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町に開所
昭和57年	11月	「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転
昭和59年	4月	「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称
平成2年	4月	「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称 「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設
平成3年	4月	「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大淵）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称 「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地（浜松市北区新都田1丁目）に移転、開設
平成19年	4月	「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

(2) 工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に、地域に根ざした産業や県の産業振興施策である先端産業育成プロジェクトをはじめとする集積を目指す産業分野の技術（光・照明・音響、製紙、バイオテクノロジー、食品、環境エネルギー、生活製品）、工業全般の基礎となる技術（金属材料、高分子材料、機械・電子、情報通信）において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

近年は、急速な人口減少による人手不足の顕在化や自動運転などの著しい技術革新への対応など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しており、企業ニーズに対応した支援を推進するため、生産性向上を目的としたIoTに関する研究支援、電気自動車を始めとする次世代自動車に関する研究支援、新たな素材として期待されるセルロースナノファイバー（CNF）に関する研究支援について、工業技術研究所の各機関が連携した取組を進めている。

県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所（静岡市）とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年9月には工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。

さらに、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターに平成26年3月から海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に出向く出張相談の強化や遠隔地での相談に対応する臨時窓口を設置するようにした。さらに、平成28年10月にはデザイン相談窓口を開設し、デザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援を強化した。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

○ 主要事業

ア 研究開発

新成長戦略研究、経常研究、共同研究、受託研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

イ 依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

ウ 技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

エ 技術情報の提供

研究所のウェブサイトやメールマガジン、センターニュース、また各種技術講演会を通じて、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

オ 産学官連携の促進

静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、地域企業の技術情報の共有化や研究開発の支援などを通じた地域企業、大学、支援機関との連携強化を図っている。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。また、関東甲信越静地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ 先端産業創出プロジェクト等の推進

先端産業創出プロジェクト（ファルマバレープロジェクト、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト、フォトンバレープロジェクト、次世代自動車プロジェクト、ふじのくにCNFプロジェクト、マリンバイオオープンイノベーションプロジェクトなど）による産業イノベーション拠点の形成事業や中小企業の成長分野への進出を支援する新成長産業戦略的育成事業と相互に連携することにより、新技術・新製品の開発を促進する。

（３）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの状況

ア 工業技術研究所（静岡市）

（ア）地域の概要

当研究所が所在する中部地域は、静岡市を中心に江戸時代から発達した漆塗等の技術と豊富な森林資源を活かし、家具、雛具等の伝統工芸産業が集積している。また、焼津市や静岡市清水区を中心に豊富な農水産物を原料とした全国有数の食品加工産業が集積しており、かつお・まぐろ類缶詰、冷凍食品魚介類等は、日本一の生産量を誇る。さらに大手医薬品製造者の生産拠点や車載光学機器を中心とした化成品産業が集積している。

中部地域は、先端産業創出プロジェクトにおける「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」の中心的な地域であり、平成20年度から始まった「総合食品学講座」の人材育成事業においては、公益財団法人静岡県産業振興財団や静岡県公立大学法人静岡県立大学と共に参画し、既存産業の高度化や新たな食品関連産業の創出に努めている。

また当所が開発した中小食品製造業者向け食品廃棄物のエネルギー利用を目的とした小型メタン発酵プラントについては、その事業化を目指した「静岡県小型メタン発酵プラント事業化推進協議会」が、13の食品加工・製造企業やプラントメーカー等により設立され、食品工場等にパイロットプラントを設置し、有効性や採算性について実証試験を実施した。

車載光学機器産業を中心とした照明関連産業の振興を目的に、平成30年度に照明音響科を設置した。「配光測定装置」は、一般照明用と自動車のヘッドランプ用の2種類を整備しており、全国的にもこれらの設備を揃えている公設試験研究機関は当所だけであり、新たな製品開発を支援している。

（イ）事業の概要

当研究所では、平成19年度に企画調整機能を集約化して企画調整部を設け、研究所と各支

援センターが一体となって県内産業界を総合的に支援できるよう、研究所全体の企画調整、機器整備等の計画策定、技術情報の集約・一元的な発信、産学官の連携強化等を行っている。

金属材料科・化学材料科・機械電子科では、県内中小製造業に対し、構造材料・表面加工技術の向上、ものづくり技術の高付加価値化や製品設計の高度化等共通基盤技術を支援しており、企業との共同研究にも積極的に取り組んでいる。

その中で、金属材料科は次世代自動車向け軽量素材の利用促進を目的に、樹脂へのめっき技術の開発に取り組む、化学材料科では、新成長戦略研究「次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発」をテーマに、難分散性のCNFと樹脂を混合させた原料ペレットの作製や成型条件の最適化に取り組んでいる。

機械電子科では、新成長戦略研究「IoT導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築」をテーマに企業の生産性向上に向けた支援に取り組むとともに、企業の最新のIoT関連機器を展示する「静岡県IoT推進ラボ」を所内に開設し、講習会や実証実験などを通し、企業にIoTによる生産工程の見える化などを体験する機会を提供している。

照明音響科では、県中部地域に集積する車載光学機器産業を中心とした照明関連産業の振興を図るため、シミュレーションや精密形状測定、配光測定などを活用し、設計、生産、評価と一貫した支援に取り組んでいる。令和3年度から実施している新成長戦略研究「人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発」では、自動運転に必要なコミュニケーションランプの金型製造を可能とするため、大型かつ超精密な加工技術の開発に取り組んでいる。

食品科は、県中部地域に集積している食品産業の振興を図るため、機能性食品に関する研究や人材育成を行い、「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」推進の一翼を担っている。令和元年度からは、化粧品・化成品の支援を強化し、県内中小企業の新製品開発の支援に取り組んでいる。また、令和2年度から新成長戦略研究「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」に参画し、マリンバイオ産業の創出支援に取り組んでいる。

環境エネルギー科では、排水処理技術やバイオマスを利用したエネルギー回収技術等の研究や支援業務を行っている。平成26～28年度に実施した新成長戦略研究「分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発」で試作した小型プラントについて、県内食品・製造企業における実証試験を実施し、普及に向けてデータを情報公開している。また、新成長戦略研究「生産基盤拡大に繋がる家畜ふん尿の乾燥及びエネルギー転換技術の開発」では、家畜ふんをエネルギー利用するための乾燥技術や燃焼時の排ガス処理技術などに取り組んでいる。

ユニバーサルデザイン科では、ユニバーサルデザイン製品・福祉用具・医療機器などの県内関連産業を支援している。人口減少・少子・高齢社会が求める新たな価値の発見と魅力の創造に向けて、人間特性評価・UX・UIなどの研究に取り組んでいる。またデザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援にも取り組んでいる。

工芸科では、家具・住宅など県内の生活関連産業を支援している。県産材の需要拡大につながる木製品の付加価値向上や、快適な生活空間の創造に向けて有害物質の評価、木製家具等の強度・耐久性試験などの研究に取り組んでいる。

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア) 地域の概要

当センターが所在する県東部地域は、戦前海軍工廠に納める精密ネジを作る企業があった。

戦後多くのネジ製造企業が独立し、現在では自動車関連の部品製造企業となっている。芝浦機械(株)や(株)リコーといった大企業が存在することから、精密加工を行う企業、プリンター部品を製造する企業も多い。

また、医薬品・医療用機器製造業も集積しており、地域の企業に対する医療用機器分野への参入を支援する取組も行われている。

県では、平成14年9月に開院した県立静岡がんセンターを核とした医療産業から健康産業まで広がる富士山麓先端健康産業集積(ファルマバレー)プロジェクトを推進しており、平成15年4月に、その中核的な支援機関であるファルマバレーセンターが開設された。当センターでは、年間7回程度開催するネットワーク会議にキーマンとして参加している。令和2年度はコロナ禍により開催回数が激減したが、令和3年度はオンライン開催を軸に開催されている。平成21年度からは医用機器等開発テーマ実現化会議へ委員を派遣し、この会議を経て令和元年度は「富士山麓から医療機器開発へ」ふじのくに医療機器産業活性化推進事業支援コーディネータとして活動した。平成23年12月には東部地域12市町が内閣府より地域活性化総合特区「ふじのくに先端医療総合特区」として指定を受け、平成25年7月には文部科学省等補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム(国際競争力強化地域)」に採択された。平成28年9月には、県立静岡がんセンター至近に医療健康産業研究開発センターが開設された。平成29年8月に(一財)ふじのくに医療城下町推進機構として設立された財団は平成31年4月より公益財団法人となり、ファルマバレープロジェクトの推進はますます加速している。また、本県と山梨県との医療健康産業政策の連携協定により積極的な情報交換を進めている。

(イ) 事業の概要

当センターは、県東部地域の中小企業の技術力の強化・向上の支援、地域産業界全体の技術振興を目的として設置された試験研究機関である。医療福祉分野等の試験研究や技術支援を通じてファルマバレープロジェクト等の東部地域の新産業育成に貢献するとともに、酵母等の発酵技術、ものづくりの基盤となる機械・電子技術により地域産業を支援している。バイオ科及び機械電子科の2科を設け、バイオ科については、工業技術研究所で唯一のバイオテクノロジー担当部門として、東部地域にとどまらず県下全域を対象としている。

バイオ科では、平成27年度から平成29年度まで県の5研究所と関係業界が協働して行った新成長戦略研究「食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出」でしずおか有用微生物ライブラリーを構築した。このライブラリーを活かし、新たな発酵ビジネスの創出に貢献している。すなわち、本県の地域資源等から得た有用微生物によって構築されたライブラリーの微生物株の県内企業への分譲が進んでいる。本研究のなかで、発泡性日本酒やオリジナルビールの開発といった新しい取り組みに成功したことを契機に、酒造業界との連携がますます重要になっていく。加えて、令和2年度からは水産・海洋技術研究所が中核研究機関となっている新成長戦略研究「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物

物を活用した新たな食品開発」に参画し、海洋資源の有効活用についての取り組みも開始している。

機械電子科では、平成28年度から平成30年度にかけて、戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）として「骨端用プレートの高品質・低コスト成形加工技術の開発」を進めた。これに加え、平成30年度から令和2年度にかけて、新成長戦略研究「次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発」を実施し、整形外科用インプラントの型鍛造成形を実現させる上で必要不可欠な、金型や成形条件探索等に費やす開発費を削減させることが出来る独自の設計支援技術を開発した。これをもとに関連企業からの技術相談や受託研究の相談も増加しており、ファルマバレープロジェクトに関連した課題に取り組んでいる。

センター業務の実施に当たっては、中小企業のニーズを把握することを第一に、企業や商工団体の訪問、企業との意見交換の場の確保等、地元の声の把握に鋭意努めながら進めている。

ウ 富士工業技術支援センター（富士市）

（ア）地域の概要

当センターが所在する富士地域（富士市、富士宮市）は、大消費地である首都圏に近く、富士山麓の豊富な水資源を基に製紙産業が栄え、これを中核とする機械産業が発達し、世界に類を見ない製紙関連産業の技術集積地を形成している。さらに昨今の電子技術を応用した家電、輸送用機械工業などの進出により一大工業地帯を形成し、加えて、富士山麓の清涼な環境の基に特異な精密工業や医療機器・医薬品関連産業の進出による先端産業地帯としても発展している。

しかし、最近の経済のグローバル化に伴い、地域の企業も他社との統合・合併で生き残りを図るなど大きな構造変化が進んでいる。例えば、製紙関連では、富士地域に集中する中小のトイレットペーパーなどを製造する家庭紙製造業は、大手製紙メーカーがこの分野にも参入してきており、生産量は横ばいであるが、競争が厳しくなってきた。また、印刷用紙等では、新型コロナウイルスの影響によるイベント中止やペーパーレス化の進展等により、生産量が大きく減少しているため、大手製紙メーカーの大幅な事業の見直し・集約により、当地での事業が縮小しており、製紙および関連産業への影響が懸念されている。

一方、製紙関連以外の製造業では、富士宮市を中心とする医療機器産業が比較的順調な伸びを保っているが、富士地域の輸送用機械や電気機械及び化学工業関連などは、先行き不透明で、厳しい状況にある。その中で、最近では製紙関連の他、樹脂成形、化成品など様々な分野で新材料として注目されているセルロースナノファイバー（CNF）を利用した新製品開発が進んでおり、富士市がプラットフォームを組織してCNFの研究開発や製品化の支援を進めている。脱炭素社会への移行とデジタルシフトが加速しており、多くの企業がCNF活用やAI・IoTの活用に関心を寄せている。

（イ）事業の概要

当センターは、企業による新成長分野への進出や新規事業分野の開拓にかかる研究開発の他、関連支援機関と連携して、入口（ニーズ、市場性の調査）から製品開発、出口（販売）までの一貫支援に努めている。また、地域企業の既存技術の高度化、高付加価値新商

品の開発を、主に技術面から支援している。

製紙科では、再生紙による家庭紙を主力とした技術開発を行っている。古紙価格の高騰や競争の激化から付加価値の高い機能紙や特殊紙の開発に取組み始めた企業も増えているため、紙リサイクル技術の推進、紙質・製品評価技術の確立、機能性付与技術の開発に重点を置いている。これまでの古紙利用に関する研究では、トイレトペーパーが解れにくくなっている要因や、かさが要求される製品でより低密度化できる処方を探り、工場の実状に併せた改善策を提案し、品質改善に結び付けた。その他古紙の品質低下が原因と考えられる様々な技術相談が寄せられていることから、今後も古紙利用技術の開発は重点的に取り組んでいく。

CNF科は県内企業によるCNF関連産業への参入を支援する中核的役割を担うとともに、次世代の新素材として注目されているCNFの技術窓口として、ふじのくにCNFプロジェクト推進事業を遂行している。令和元年度からのCNFの応用分野として期待される樹脂を対象とした新成長戦略研究「次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発」では、安価で性能の良いCNFの製造方法と樹脂中で分散しやすい混練、成形方法の開発を進めている。また、産学官連携体制強化のため、静岡大学CNFサテライトオフィス及び企業と共同研究を行うCNFラボで構成される「ふじのくにCNF研究開発センター」を運営し、事業化や製品化を推進している。

機械電子科は、当地域における製造品出荷額の上位を占めている機械、電気・電子産業の支援を目的に設置され、通常の業務に加え、センター協議会活動を通して中小企業の技術力の向上に寄与している。平成28年度から畜産技術研究所とともにAIを利用した牛の分娩検知システムの開発を進めており、実用化できる見込みがついている。平成29年度からは次世代自動車等での利用増加が見込まれる軽量、高強度の部品の製造技術確立と実用化を目指す新成長戦略研究「異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発」に取り組み、開発した試作品による実用化のための技術開発を終え、企業に利用開放している。

今後も産業支援機関や大学と連携して地域企業の新たな成長分野への参入を支援するとともに、センターの持つ技術力を活かして現場ニーズに対応した技術支援を推進していく。

エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

（ア）地域の概要

当センターが所在する西部地域は、トヨタ、ホンダ、スズキ、ヤマハ発動機などの世界的輸送機械メーカー発祥の地であり、自動車や二輪車及び船外機関連企業が集積している。また、ヤマハ、河合楽器製作所、ローランドなどの世界的楽器メーカー、浜松ホトニクスなどの光関連メーカー及び電気機器関連企業等が立地している。また、古くから綿織物の国内有数の産地として盛況を極めてきた。

西部地域は、次世代のリーディング産業の創出と育成を図る「静岡新産業集積クラスター」のなかで、フォトンバレープロジェクトの中心となっている。産学官金の連携による地域企業の開発や新たな市場への進出を支援するとともに、「はままつ次世代光・健康

医療産業創出拠点」や「光産業創成大学院大学」が実施する人材育成などを支援するなど、光・電子技術産業の集積化を推進している。

また、成長産業である次世代自動車、医療機器、航空機産業分野などへの地域企業の参入を促進し、海外成長力の取り込みなどによる地域産業の活性化を図っている。次世代自動車産業については、県内企業で参入を目指した取組が活発化しており、当センターでも関連する試験機器を整備するなど、支援体制の強化に努めている。また、部品部材の開発を支援するため、電気自動車（日産リーフ）の2010年型と2017年型の分解展示を令和元年1月より開始した。

さらに、地域に集積する技術力と地元の素材を結び付けた高付加価値の製品づくりとブランド力の強化、県内外への情報発信や販路開拓を支援するなど、繊維をはじめとする地場産業の振興を図っている。

(イ) 事業の概要

当センターでは、地域企業の要望に応じた製品試験、不良品の原因調査などの相談に応じるとともに、企業と共同で新製品の研究開発に取り組んでいる。

光科では、光半導体レーザーや超短パルスレーザーを高度に利用する技術や透過光計測により応力に起因する複屈折率分布を可視化する装置の開発を行い、ものづくりの品質検査等、新たな応用分野の研究開発を進めている。また、平成29年度より参画してきた内閣府革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）の中で開発した新型レーザーの試用プラットフォームを、用途開発に利用していただくよう無料開放している。令和3年度からは、次世代自動車への搭載を目的に「コミュニケーションライティングシステム」のためのレンズ開発を行う新成長戦略研究課題（リーダーは本所）がはじまり、光学素子の設計・評価及び樹脂成形用金型転写技術の検討を担当する。

また、光産業創成大学院大学による中核人材育成講座に、派遣講師として協力するなど、レーザー応用技術に携わる人材の育成を支援している。

機械電子科では、精密測定や品質工学に関する技術相談を通じ、モノづくりを支援している他、機械技術に関連する研究会の活動をサポートしている。また、アルミニウム部品の熱変形やウルトラハイテン材のひずみ等を二次元的に計測、評価する技術の開発を進め、地域企業の製品設計、開発力の強化に取り組んでいる。

一方、電磁波測定、電磁波環境計測関連機器及び耐振耐候試験機等、所有機器を用いて製品の信頼性向上を図り、安全で安心できる電子機器の開発や技術向上を支援している。また、EMC試験における測定の不確かさの算出・管理による測定値の信頼性及び測定技術の向上に向けた研究を通じ、事業者の製品開発を支援している。なお、電子制御化が進む自動車関連産業の需要に対応するための車載機器用EMC試験施設を平成30年度に整備し、県内事業者等による次世代自動車開発関連分野への参入を支援している。

材料科では、次世代自動車に用いられる軽量難加工材に関わる加工・評価やめっき技術を応用した表面処理技術の開発に取り組んでいる。また解析技術の向上・体系化を図り、材料の成分分析、構造解析、強度試験、破損・欠陥解析などの各種試験や技術相談に迅速かつ的確に対応することにより、企業の新製品開発・技術開発を支援している。

繊維高分子材料科では、令和2年度より県の新成長戦略研究として、次世代自動車などへの採用が期待される軽量高強度材料「炭素繊維強化複合材（CFRP）」の、大量生産に対応した高効率成形技術の確立を目指している。また、当センターが保有する織物サンプルデータベース、電子ジャカード織機などを活用して、コーデュロイやゆかたなどの新製品開発を行う地域企業の技術支援を行っている。

(4) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

ア 工業技術研究所(静岡市)

(ア) 敷地面積	23,157 m ²		
(イ) 建築面積	7,659 m ²		
(ウ) 延床面積	13,091 m ²		
○管理棟	鉄筋コンクリート4階建	2,250 m ²	(管理部門)
○研究棟	鉄筋コンクリート4階建	4,130 m ²	(研究部門)
○研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	270 m ²	(講習・研修施設)
○実験棟	鉄骨平屋建	2,719 m ²	(実験施設)
○開放棟	鉄筋コンクリート3階建	1,680 m ²	(開放試験・共同研究施設等)
○資料館	鉄筋コンクリート2階建	460 m ²	
○付属棟		1,582 m ²	(設備棟・薬品庫等)

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア) 敷地面積	19,958 m ²		
(イ) 建築面積	3,892 m ²		
(ウ) 延床面積	6,219 m ²		
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	4,384 m ²	(管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート平屋建	648 m ²	(実験施設)
○付属棟		305 m ²	(廃水処理施設等)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	882 m ²	

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

(ア) 敷地面積	20,075 m ²		
(イ) 建築面積	4,433 m ²		
(ウ) 延床面積	8,801 m ²		
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	5,346 m ²	(管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート3階建	2,414 m ²	(実験施設)
○付属施設		165 m ²	(車庫・駐輪場等)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	876 m ²	

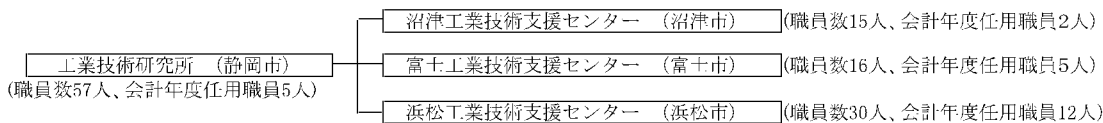
エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)

(ア) 敷地面積	28,238 m ²		
(イ) 建築面積	5,792 m ²		
(ウ) 延床面積	11,142 m ²		
○管理研究棟	鉄筋コンクリート4階建	5,023 m ²	(管理・研究部門)
○開放棟	鉄筋コンクリート2階建	1,276 m ²	(開放試験・共同研究・講習研修施設)
○実験棟	鉄筋コンクリート2階建	3,309 m ²	(実験施設)
○付属棟		128 m ²	(排水処理施設・薬品庫等)
○車載機器EMCテストサイト	鉄骨平屋建	531 m ²	(実験施設)

○インキュベートセンター 鉄骨平屋建 875 m²

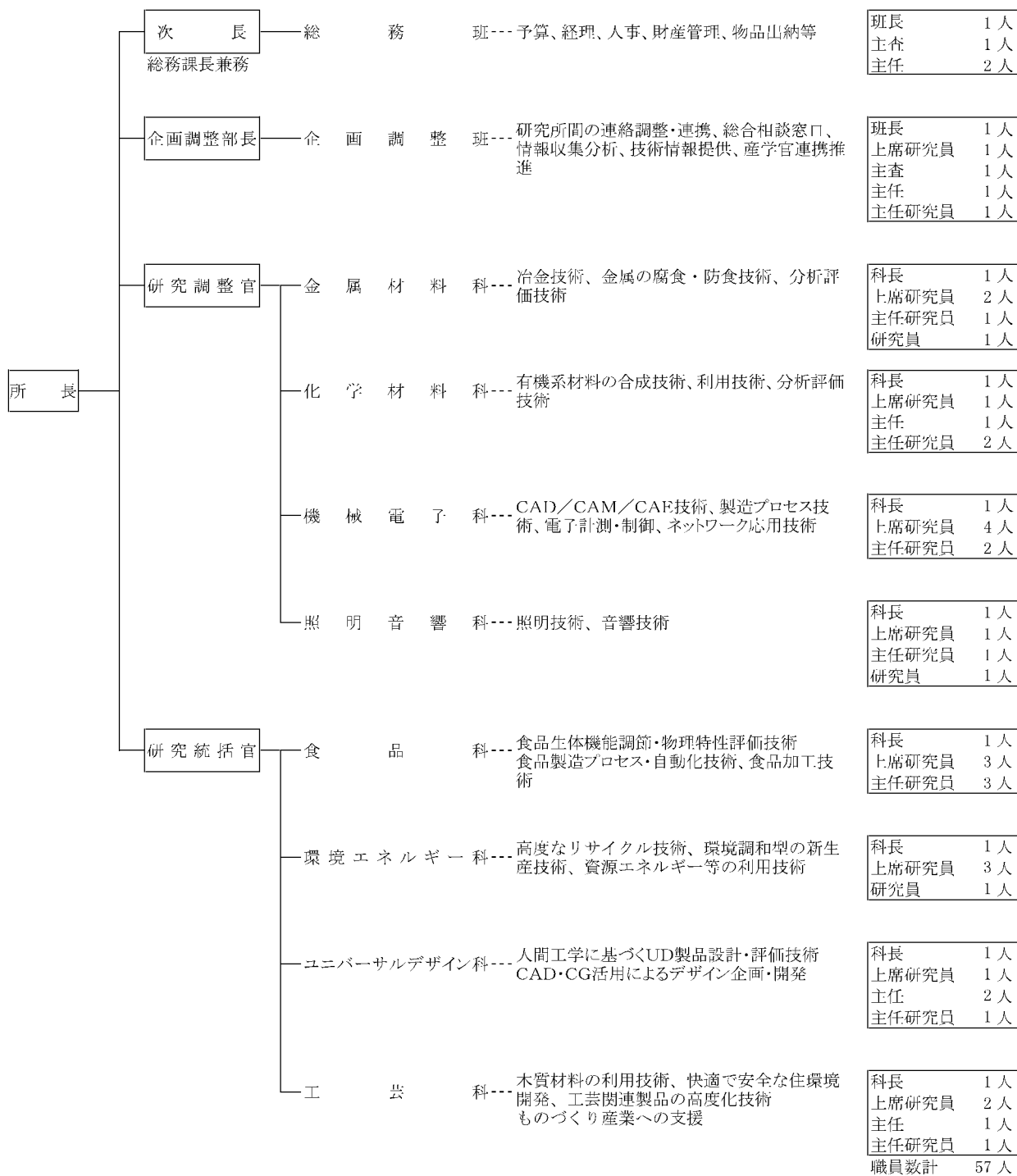
(5) 組織図

令和3年7月31日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。
職員総数は事務職員11人、技術職員100人、再任用職員7人、会計年度任用職員24人の計142人である。



ア 工業技術研究所 (静岡市)

職員数は事務職員5人、技術職員48人、再任用職員4人、会計年度任用職員5人の計62人である。

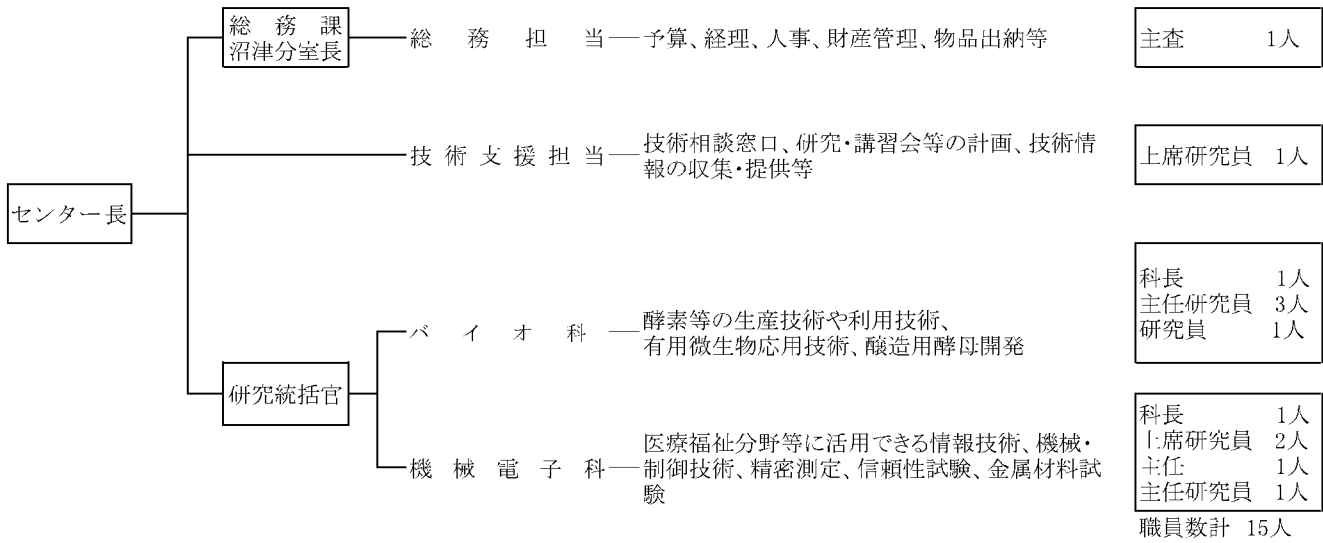


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	5人

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

職員数は事務職員2人、技術職員12人、再任用職員1人、会計年度任用職員2人の計17人である。

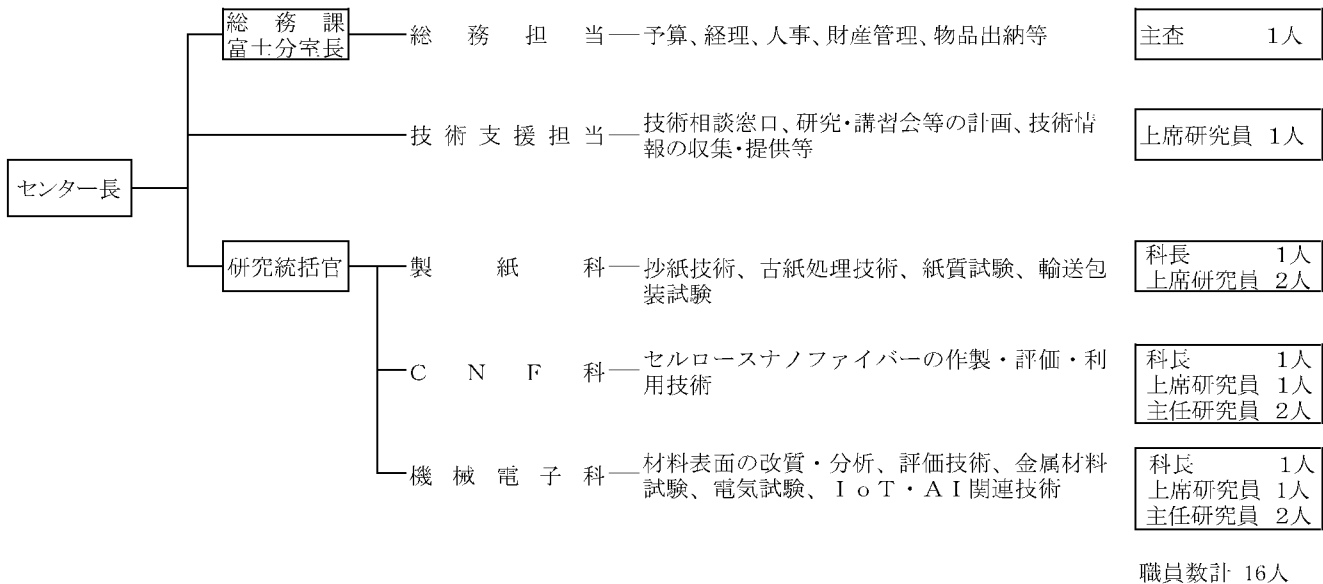


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	2

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

職員数は事務職員2人、技術職員14人、会計年度任用職員5人の計21人である。

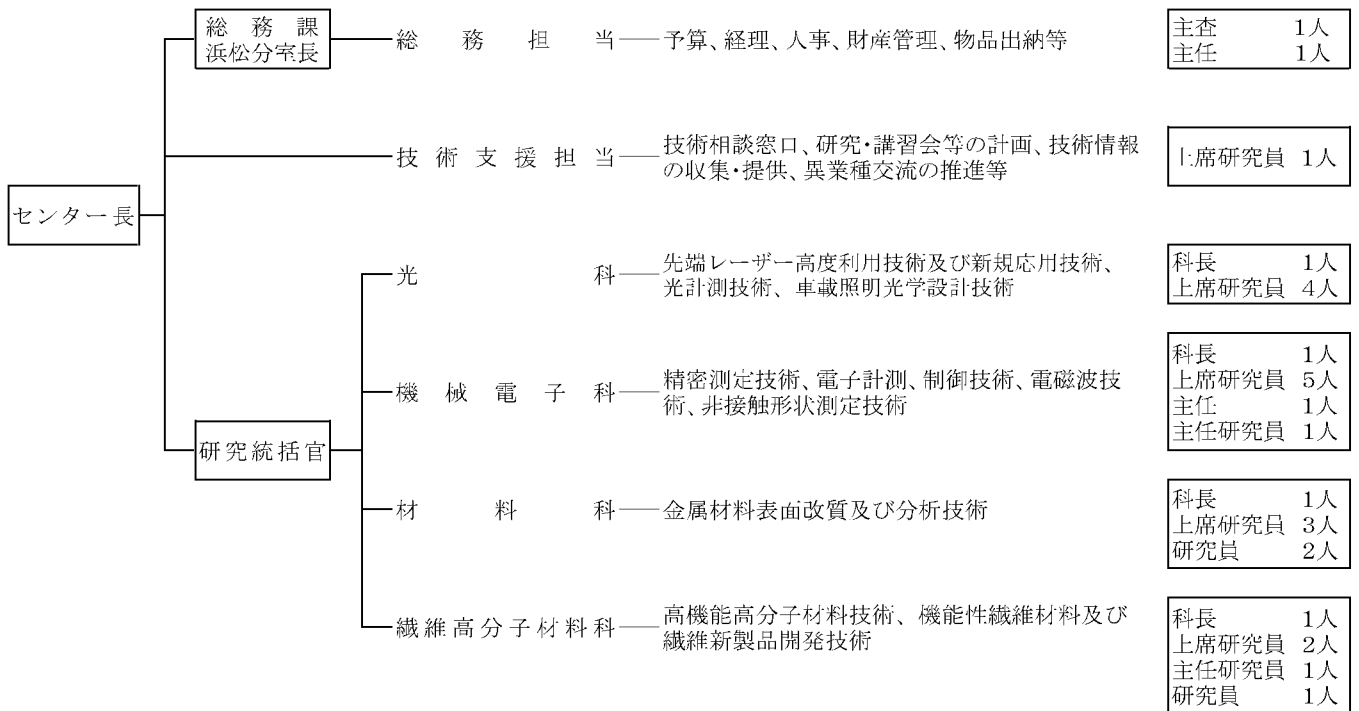


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	5

エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員 2 人、技術職員 26 人、再任用職員 2 人、会計年度任用職員 12 人の計 42 人である。



職員数計 30人

(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	12人

2 事務又は事業の目的、計画、実績（成果）及び評価・改善

(1) 総務事務

(目的)

工業技術研究所総務課及び各工業技術支援センター総務課分室において、人事管理、予算、経理、財産管理、安全衛生・健康管理、職員研修等の業務を行い、職員が快適かつ安心して仕事に専念できる職場環境づくりに努める。

(実績)

ア 人事管理について

工業技術研究所全体の職員総数は、令和3年7月31日現在で、142人である(事務職員11人、技術職員100人、再任用職員7人、会計年度任用職員24人)。

そのうち、工業技術研究所(静岡市)が62人(事務職員5人、技術職員48人、再任用職員4人、会計年度任用職員5人)、沼津工業技術支援センターが17人(事務職員2人、技術職員12人、再任用職員1人、会計年度任用職員2人)、富士工業技術支援センターが21人(事務職員2人、技術職員14人、会計年度任用職員5人)、浜松工業技術支援センターが42人(事務職員2人、技術職員26人、再任用職員2人、会計年度任用職員12人)である。

職員の配置については、各々の職員が最大限に能力を発揮できるよう専門分野等を考慮し、適切な職場配置に努めている。

イ 予算執行及び財産管理について

予算執行に当たっては、費用対効果を検証し、常にコスト意識を持って効率的な執行に努めている。また、財産管理では、関係法令等を遵守し、適正に取り組んでいる。

ウ 事務の執行について

事業の円滑な推進を図るため、工業技術研究所及び各支援センターにおいて、毎月定期的に幹部職員会議あるいは全体会議を開催し、各科・各スタッフ間の連絡調整及び職員間の意思疎通を図っている。

さらに、工業技術研究所と各支援センター間の連携を密にするため、定期的に所長・センター長会議及び企画調整会議(企画調整部主催)等を開催している。

また、職員の資質向上や研究業務に必要な情報収集等のため、各種団体等が開催する講演会、研修会等にも積極的に参加させ、専門知識や技能の習得等に努めている。

エ 職員の安全衛生・健康管理について

工業技術研究所・各支援センターとも、地理的条件から、自家用車等による通勤者が多く、出張等にも車は欠かせないため、公用車には「安全運転の心得」や「事故発生時対応マニュアル」の配置、職員全員に万が一の時のため「事故対策マニュアル」を配付するなど、交通安全については機会あるごとに周知徹底を図っている。

健康管理については、定期健康診断、人間ドック等の健康診断のほか、特別健康診断(特定化学物質取扱、有機溶剤取扱、放射線等の業務従事者)を年2回実施している。

(評価・改善)

- ・ 交通事故等の防止

交通事故は、工業技術研究所全体で、平成30年度、令和3年度は0件、令和元年度は1件、令和2年度は2件発生している。

工業技術研究所及び各支援センターでは、幹部会議・職員会議、館内放送などにより、繰り返し職員全員に対し交通安全の徹底の呼び掛けを行うなど、意識の高揚を図っている。さらに、職員による交通安全標語の作成、掲示を行うとともに、交通安全講習会の独自開催や研修会への積極的な参加を図っている。

- ・ 労働安全衛生・健康管理

労働安全衛生に関する講習会を年1回実施するなど、職員の労働安全に対する意識の改革に努めている。また、幹部職員等による職場巡視を定期的に行うことにより、業務中における事故防止に努めている。

工業技術研究所全体の職員の健康管理区分は、A区分が1名、C区分が1名、D区分が112名である。

工業技術研究所では、特に、精神面での健康管理を重視し、健康指導課と共催でメンタルヘルスセミナーを開催している。引き続き、時間外勤務の縮減や休暇取得の促進を図るなど、職員の健康管理に努めている。

(2) 試験研究、調査及び指導事務

(目的)

産業構造の変化や技術の進展等への対応が不可欠となっている中小企業支援のため、研究開発や技術相談、依頼試験、設備使用及び講習会、技術情報提供などで中小企業の技術力向上に努めている。

(計画・実績)

計画と実績は下表のとおりである。

ア 研究開発

(ア) 研究課題

(令和3年度は7月31日現在)

	令和2年度	令和3年度
工業技術研究所	40件 (7件※1※2※3※4)	24件 (5件※1※2※4)
沼津工業技術支援センター	13件 (1件※2)	6件 (1件※2)
富士工業技術支援センター	8件	7件 (1件※6)
浜松工業技術支援センター	19件 (1件※4)	15件 (2件※4※5)
総課題件数	80件 (9件※1※2※3※4)	52件 (9件※1※2※4※5)

()内は内数

- ※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施
- ※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施
- ※3 畜産技術研究所が統括して、静岡においても実施
- ※4 県単独研究の課題について、個人向け資金（科学研究費補助金）を活用
- ※5 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施
- ※6 一般共同研究の課題について、個人向け資金（科学研究費補助金）を活用

a 令和2年度研究課題数

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
工業技術研究所	5 (3)※1※2※3	6 (3)※4	7 (1)※2	17	5	40 (7)
沼津工業技術支援センター	5 (1)※2	0	1	3	4	13 (1)
富士工業技術支援センター	1	3	4	0	0	8
浜松工業技術支援センター	1	4 (1)※4	1	3	10	19 (1)
合計	12 (4)	13 (4)	13 (1)	23	19	80 (9)

()内は内数

- ※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施
- ※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施
- ※3 畜産技術研究所が統括して、静岡においても実施
- ※4 県単独研究の4課題について、個人向け資金（科研費）を活用

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
金属材料科	0	0	1	2	0	3
化学材料科	1 (1) ※ ¹	0	2 (1) ※ ¹	0	0	3 (2)
機械電子科	1	1 (1) ※ ⁴	1	0	0	3 (1)
照明音響科	1	0	0	2	0	3
食品科	1 (1) ※ ²	2 (1) ※ ⁴	1	1	0	1 4 (2)
環境エネルギー科	1 (1) ※ ³	0	1	2	1	5 (1)
ユニバーサルデザイン科	0	1 (1) ※ ⁴	1	0	1	3 (1)
工芸科	0	2	0	1	3	6
合計	5 (3)	6 (3)	7 (1)	1 7	5	4 0 (7)

()内は内数

- ※¹ 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施
 ※² 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施
 ※³ 畜産技術研究所が統括して、静岡においても実施
 ※⁴ 県単独研究の3課題について、個人向け資金(科研費)を活用

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
バイオ科	3 (1) ※ ¹	0	0	2	3	8 (1)
機械電子科	2	0	1	1	1	5
合計	5 (1)	0	1	3	4	1 3 (1)

()内は内数

- ※¹ 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
製紙科	0	2	0	0	0	2
CNF科	1	0	3	0	0	4
機械電子科	0	1	1	0	0	2
合計	1	3	4	0	0	8

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
光科	0	1 (1)	1	1	1	4 (1)
機械電子科	0	2	0	0	1	3
材料科	0	1	0	2	5	8
繊維高分子材料科	1	0	0	0	3	4
合計	1	4 (1)	1	3	10	19 (1)

()内は内数

※1 県単独研究の1課題について、個人向け資金(科研費)を活用

b 令和2年度研究課題名一覧
 (a) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継続開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H30～	車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	照明音響科	
継続 H30～	生産基盤拡大に繋がる家畜ふん尿の乾燥及びエネルギー転換技術の開発	環境エネルギー科	
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのC/NF複合材の開発	化学材料科	
継続 R1～	IoT導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	機械電子科	
新規	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	食品科	
県単独研究			
継続 H30～	作業負担を軽減する新たなアシスト機構の開発	ユニバーサルデザイン科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R1～	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	機械電子科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R1～	家具の品質向上に向けた要素技術の開発	工芸科	
継続 R1～	積層板の音響特性における接着剤の影響	工芸科	
新規	セルロースナノファイバーによる機能性成分の徐放化と挙動解明	食品科	科学研究費助成事業(学振)
新規	スキンケア素材の探索と機能性向上を目指した乳酸菌発酵	食品科	地方創生推進交付金(内閣府)
一般共同研究			
継続 R1～	EVシフトに要求される欠陥レスで高密着な樹脂めっきの作製	金属材料科	
継続 R1～	射出成形における部材金属と樹脂の表面特性向上に関する研究	化学材料科	
継続 R1～	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	化学材料科	
継続 R1～	医療機関と連携した人間中心設計による医療機器の開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	機械電子科	つながる工場テストベッド事業(産総研)
新規	小児・嚥下困難者のための錠剤粉剤・散剤混合技術の開発	食品科	医療機器産業基盤強化推進事業(財団)
新規	駿河湾由来カロテノイド生産微生物ライブラリーの構築とサプリメント開発への応用	環境エネルギー科	マリンバイオテクノロジーを核としたシーズ創出研究業務委託(県産業イノベーション課)

新・継続開始年	課題名	担当部門	備考
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 H30～	次世代コミュニケーションランプの微細高精度化に対応する金型加工技術の確立	照明音響科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
継続 R1～	エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鑄造技術の開発	金属材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
継続 R1～	小型・低コストバイオマスガス化発電システム・実証機の開発	環境エネルギー科	新成長産業戦略的育成事業助成事業（財団）
新規	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	金属材料科	先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）
新規	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	照明音響科	国際標準化事業（経産省）
新規	マグロ未利用部位プロテオグリカン抽出技術の検討	食品科	MaOI事業化促進事業（産業イノベーション課）
新規	セルロースナノファイバーを活用した皮膚塗布用の茶カテキンクリームの開発	食品科	CNF活用試作品開発事業（県新産課）
新規	セルロースナノファイバーを活用したアロマ・基礎化粧品の開発	食品科	新成長産業戦略的育成事業・事業化推進助成事業（財団）
新規	微細化緑茶分散液の物性評価	食品科	新成長産業戦略的育成事業・事業化推進助成事業（財団）
新規	自転公転式攪拌装置による錠剤粉碎および散剤混合の評価	食品科	医療機器産業基盤強化推進事業（財団）
新規	自宅用焙煎温度別ティーシロップの開発及び物性等の評価	食品科	食品等開発助成事業（財団）
新規	食品用CNF（セルロースナノファイバー）の物性改良効果に関する研究	食品科	食品等開発助成事業（財団）
新規	新マイクロ波抽出技術による魚節フレーバー濃縮エキスの開発	食品科	地域課題に係る産学共同研究委託事業（B-nest）
新規	オリジナル乳酸菌を使用した「静岡チーズ」の開発	食品科	地域課題に係る産学共同研究委託事業（B-nest）
新規	山椒を用いた加工品の試作開発	食品科	連携組織等経営基盤強化支援事業（静岡県中小企業団体中央会）
新規	地産地消型エネルギー循環システム構築を目指した脂質高含有廃棄物からの長期安定的エネルギー回収法の開発	環境エネルギー科	A-STEPトライアウト（JST）
新規	木質原料の前処理による流動成形性の改善と品質安定化	工芸科	先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	回分式メタン発酵試験によるメタン発酵消化汚泥の特性評価	環境エネルギー科	
新規	介護動作指導支援システムの改良提案及びユーザビリティ評価	ユニバーサルデザイン科	
新規	脱灰処理を利用した活性炭製造のスケールアップ効果の検証	工芸科	
新規	不燃パーティクルボードの開発	工芸科	
新規	CNFを利用した文化財用特殊膠の開発	工芸科	

注）学振：（独）日本学術振興会、産総研：（国研）産業技術総合研究所、経産省：経済産業省、財団：（公財）静岡県産業振興財団、B-nest：静岡市産学交流センター、JST：（国研）科学技術振興機構、県新産課：静岡県新産業集積課、県産業イノベ課：静岡県産業イノベーション推進課

(c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	CNF科	
県単独研究			
継続 R1～	再生紙の低密度化に関する研究	製紙科	
新規	ほぐれやすさ試験機の技術開発	製紙科	
新規	プラズマ照射による樹脂表界面の新規改質技術の開発	機械電子科	
一般共同研究			
継続 R1～	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	CNF科	
継続 R1～	CNF製造に関する解繊エネルギーの低減	CNF科	
継続 R1～	古紙等のパルプ繊維を複合化したハイブリッド樹脂におけるCNF分散制御技術の確立	CNF科	
継続 R1～	計測・センシング技術の動物繁殖現場への応用展開	機械電子科	

(d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
新規	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	繊維高分子材料科	
県単独研究			
継続 H30～	分光特性を利用したものづくりの品質検査に関する研究	光科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R1～	材料評価・解析のスキルアップに向けたサンプリングメソッドの開発	材料科	
新規	3D熱変形計測技術を応用した次世代自動車用部品の開発プロセスの効率化	機械電子	
新規	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	機械電子	
一般共同研究			
新規	ダイヤモンド焼結体(PCD)工具のレーザー加工技術の開発	光科	
受託研究(競争的資金による研究)			
継続 H30～	めっき技術による撥液性皮膜作製技術の開発	材料科	A-STEP(JST)
継続 R1～	マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微粒パウダー製造技術の開発	材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業(経産省)
新規	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱	光科	A-STEP(JST)
受託研究(競争的資金以外の研究)			
新規	自動車フォグランプのレーザー溶着	光科	
新規	アルミニウム合金鋳造材の摩擦攪拌プロセスに関する研究開発	機械電子科	
新規	X線残留応力測定装置を用いた硬さ測定に及ぼす鋼種及び表面状態の影響	材料科	
新規	圧縮成形によるコイル形状変化の検討	材料科	
新規	各種コーティング膜の機能・性能向上のための評価解析	材料科	
新規	レーザー除染技術の実用化に向けた研究開発	材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	製造工程で使用する各種樹脂材料の条件の最適化に関する研究	材料科	
新規	FRP成形用UDテープ製造装置搬送ベルトの劣化評価	繊維高分子材料科	
新規	高比重成形材を用いた成形品の品質評価	繊維高分子材料科	
新規	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	繊維高分子材料科	

注) 学振：(独)日本学術振興会、経産省：経済産業省、JST：(国研)科学技術振興機構

c 令和3年度研究課題数（7月31日現在）

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金 による 研究	競争的 資金 以外の 研究	
工業技術研究所	4(2) ^{※1※2}	6(3) ^{※3}	6	6	2	24(5)
沼津工業技術 支援センター	1(1) ^{※2}	0	2	2	1	6(1)
富士工業技術 支援センター	1	1	5(1) ^{※5}	0	0	7(1)
浜松工業技術 支援センター	2(1) ^{※4}	5(1) ^{※3}	1	3	4	15(2)
合計	8(4)	12(4)	14(1)	11	7	52(9)

()内は内数

- ※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施
- ※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施
- ※3 県単独研究の4課題について、個人向け資金（科研費）を活用
- ※4 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施
- ※5 一般共同研究の1課題について、個人向け資金（科研費）を活用

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
金属材料科	0	0	1	2	0	3
化学材料科	1(1) ^{※1}	0	1	0	0	2(1)
機械電子科	1	1(1) ^{※3}	1	0	0	3(1)
照明音響科	1	0	0	1	0	2
食品科	1(1) ^{※2}	3(2) ^{※3}	0	1	0	5(3)
環境エネルギー科	0	1	0	2	0	3
ユニバーサルデザイン科	0	0	2	0	0	2
工芸科	0	1	1	0	2	4
合計	4(2)	6(3)	6	6	2	24(5)

()内は内数

- ※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施
- ※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施
- ※3 県単独研究の3課題について、個人向け資金（科研費）を活用

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
バイオ科	1 (1) ※1	0	1	1	1	4 (1)
機械電子科	0	0	1	1	0	2
合計	1 (1)	0	2	2	1	6 (1)

()内は内数

※1 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
製紙科	0	1	0	0	0	1
CNF科	1	0	3	0	0	4
機械電子科	0	0	2 (1) ※1	0	0	2 (1)
合計	1	1	5 (1)	0	0	7 (1)

()内は内数

※1 一般共同研究の1課題について、個人向け資金(科研費)を活用

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
光科	1 (1) ※1	1 (1) ※2	1	1	1	5 (2)
機械電子科	0	2	0	1	0	3
材料科	0	2	0	1	3	6
繊維高分子材料科	1	0	0	0	0	1
合計	2 (1)	5 (1)	1	3	4	15 (2)

()内は内数

※1 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

※2 県単独研究の1課題について、個人向け資金(科研費)を活用

d 令和3年度研究課題名一覧
(a) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継続開始年	課題名	担当部門署	備考
新成長戦略研究			
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのC N F 複合材の開発	化学材料科	
継続 R1～	I o T 導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	機械電子科	
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための、海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	食品科	
新規	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	照明音響科	
県単独研究			
継続 R1～	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	機械電子科	科学研究費助成事業 (学振)
継続 R2～	セルロースナノファイバーによる香り成分の徐放機構の解明及び放散制御技術の開発	食品科	科学研究費助成事業 (学振)
継続 R2～	スキンケア素材の探索と機能性向上を目指した乳酸菌発酵	食品科	地方創生推進交付金 (内閣府)
新規	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	食品科	科学研究費助成事業 (学振)
新規	微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	環境エネルギー科	
新規	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	工芸科	
一般共同研究			
継続 R1～	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	化学材料科	
継続 R2～	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	機械電子科	つながる工場テストベッド事業 (産総研)
新規	バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	金属材料科	
新規	手術用頭部固定枕の開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	県産材の屋外使用に向けた防錆・防蟻処理技術の開発	工芸科	
受託研究 (競争的資金による研究)			

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
継続 R1～	エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する 高強度軽量スクロール翼のニアネット鑄造技術 の開発	金属材料科	戦略的基盤技 術高度化支援 事業（経産省）
継続 R2～	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可 能な超軽量マルチ部材の開発	金属材料科	先端企業育成 プロジェクト推 進事業（県新産 課）
継続 R2～	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特 性測定に関する国際標準化	照明音響科	国際標準化事 業（経産省）
継続 R2～	マグロ未利用部位からのプロテオグリカン抽出 技術の確立	食品科	マリンオープン イノベーション 事業化促進事 業（MaOI財団）
継続 R2～	地産地消型エネルギー循環システム構築を目指 した脂質高含有廃棄物からの長期安定的エネル ギー回収法の開発	環境エネルギー科	A-STEP トライ アウト（JST）
継続 R2～	駿河湾由来カロテノイド生産微生物ライブラリ ーの構築とサプリメント開発への応用	環境エネルギー科	マリンバイオテ クノロジーを核 としたシーズ創 出研究業務委 託（県産業イノ ベ課）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	連続式賦活炉により製造した木質活性炭の性能 評価	工芸科	
新規	皮革製品に適したツキ板加工技術の開発	工芸科	

注）学振：（独）日本学術振興会、産総研：（国研）産業技術総合研究所、経産省：経済産業省、
JST：（国研）科学技術振興機構、MaOI財団：（一財）マリンオープンイノベーション機構、
県新産課：静岡県新産業集積課、県産業イノベ課：県産業イノベーション推進課

(b) 沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	バイオ科	
一般共同研究			
新規	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	バイオ科	
新規	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	機械電子科	
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 R2～	酵素－抗体融合体の作製と評価	バイオ科	産学官連携研究 開発助成事業 （財団）
継続 R2～	医師や患者の負担を大幅に軽減する高精度・高品質医療器具（手術用鉗子）の温間プレス成形法の研究開発	機械電子科	新成長産業戦略 的育成事業・事 業化推進助成事 業（財団）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□	バイオ科	

注）財団：（公財）静岡県産業振興財団

(c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	CNF科	
県単独研究			
新規	段ボール古紙を使用した「茶色いトイレトーパー」の開発	製紙科	
一般共同研究			
継続 R1～	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	CNF科	
継続 R1～	CNF製造に関する解繊エネルギーの低減	CNF科	
継続 R1～	古紙等のパルプ繊維を複合化したハイブリッド樹脂におけるCNF分散制御技術の確立	CNF科	
継続 R2～	プラズマ照射による樹脂表界面の新規収質技術の開発	機械電子科	
新規	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	機械電子	科学研究費助成事業(学振)

注) 学振：(独)日本学術振興会

(d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	繊維高分子材料科	
新規	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	光科	
県単独研究			
継続 R2～	3D熱変形計測技術を応用した次世代自動車用部品の開発プロセスの効率化	機械電子	
継続 R2～	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	機械電子	
新規	多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発	光科	科学研究費助成事業(学振)
新規	材料評価・解析における技術継承を目指した技術資料集の作成	材料科	
新規	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	材料科	
一般共同研究			
継続 R2～	ダイヤモンド焼結体(PCD)工具のレーザー加工技術の開発	光科	
受託研究(競争的資金による研究)			
継続 R1～	マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微粒パウダー製造技術の開発	材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業(経産省)
継続 R2～	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱	光科	A-STEP(JST)
新規	高周波焼人口ボットの研究開発	機械電子科	産学官連携研究開発助成事業(財団)
受託研究(競争的資金以外の研究)			
新規	母材表面の外観を維持したレーザー溶着技術の研究	光科	
新規	熱による多層めっきの拡散挙動の検証	材料科	
新規	コイル圧縮成形による絶縁皮膜への影響	材料科	
新規	画像判定AIによる各種異物の判定・分類等に関する研究	材料科	

注) 学振：(独)日本学術振興会、経産省：経済産業省、JST：(国研)科学技術振興機構、財団：(公財)静岡県産業振興財団、

(イ) 外部研究員招へい事業

(目的)

職員の高度技術分野の研究開発能力を向上させ、高度技術関連の研究開発の円滑な推進を図るために、外部研究員を招へいしている。

(実績・計画)

実績及び計画は下表のとおりである。

	令和2年度		令和3年度(7月31日現在)	
	人数	指導時間	人数	指導時間
工業技術研究所	15	77	2(14)	14(78)
沼津工業技術支援センター	3	21	0(6)	0(26)
富山工業技術支援センター	4	30	0(3)	0(37)
浜松工業技術支援センター	6	54	1(6)	24(54)
合計	28	182	3(29)	38(195)

※ 括弧内は計画

a 令和2年度外部研究員
 (a) 工業技術研究所外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
□□□□	京都大学	化学工学	効率的なフェントン反応の発生法に関する指導	4
□□□□	関東学院大学	材料工学	高密着な樹脂めっき作製方法に関する指導	8
□□□□	(株) 不二越	金属材料	射出成形機金属部材の磨耗・腐食メカニズム	8
□□□□	常葉大学	食品栄養学	栄養と食品機能の科学	4
□□□□	静岡県立大学	応用糖質科学、食品物性	調理加工の科学	4
□□□□	静岡県立大学	食品科工学、食品工学	乳製品の加工による物性変化について	4
□□□□	静岡大学	メタン発酵農学	地域自立システム型植物バイオマス利活用の構築について	4
□□□□	静岡大学	地球微生物学	温泉メタンガス発電システムと地下温水に含まれる微生物群集を利用したメタン及び水素ガス生成リアクターの開発について	4
□□□□	静岡文化芸術大学	人間工学、生理人類学	人間工学評価実験の測定手法に関する指導	8
□□□□	東京大学大学院	木質材料炭化	木質材料を原料とした高付加価値製品の開発	4
□□□□	(株) イセンシャル	電子回路	電子回路シミュレーション技術	8
□□□□	はまなこ環境ネットワーク	経済、材料技術	地域産業活性化のための支援施策について	2
□□□□	INPIT静岡県知財総合支援窓口	知的財産	先行技術調査の手法と留意点について	4
□□□□	(地独) 大阪産業技術研究所	高分子材料、有機光化学	高密着な樹脂めっき作製方法に関する指導	8
□□□□	(一社) 静岡県発明協会	知的財産	研究者が知っておくべき特許の要点	3
合計 15 人			合計 77 時間	

(b) 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
□□□□	理化学研究所	バイオエンジニアリング	生体力学シミュレーションに関する指導	10
□□□□	東京農業大学	醸造学	酒類製造技術及び関連試験手法について	7
□□□□	東京農業大学	醸造学	麹菌関連研究手法について	4
合計 3 人			合計 21 時間	

(c) 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
□□□□	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	再生紙の低密度化のための製紙技術、トイレ紙のほぐれやすさ試験機開発に必要な技術について	12
□□□□	東京農工大学大学院	紙パルプ科学、セルロース科学、ナノ材料学	再生紙の低密度化のための製紙技術、トイレ紙のほぐれやすさ試験機開発に関する研究内容について	4
□□□□	沼津工業高等専門学校	振動工学、情報処理技術	深層学習 (CNN、RNN) の基礎等について	7
□□□□	愛知工科大学	情報処理技術	深層学習を用いた動物の行動推定等について	7
合計 4 人			合計 30 時間	

(d) 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
□□□□	大阪大学レーザー科学研究所	レーザー工学	レーザー染色におけるレンズ表面の温度制御方法について	8
□□□□	今田技術士事務所	着色材料	レーザー染色の凝集ムラの原因と低減対策について	8
□□□□	EMCDOC	EMC 関連	車載機器の EMC 測定技術	8
□□□□	静岡理工科大学	高分子化学	フッ素系ポリマーの合成方法と撥水層の形成方法について	6
□□□□	スギテクノ	電気電子情報通信	材料評価・解析における A I ・ I o T の活用について	1 2
□□□□	福島テック	高分子材料、複合材料	熱可塑性樹脂を母材とした繊維強化複合材の成形加工に関する研究	1 2
合計 6 人			合計 5 4 時間	

b 令和3年度外部研究員（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間 (計画)
□□□□	関東学院大学	材料工学	高密着な樹脂めっき作製方法について	(4)
□□□□	福井大学	材料工学	樹脂めっき作製のための樹脂表面の改質方法について	(4)
□□□□	大阪大学大学院	有機合成化学	樹脂めっき作製のための樹脂表面の改質方法について	(4)
□□□□	ND精工株式会社	光放射測定	固体照明光源の全光束測定	10 (10)
□□□□	実践女子大学	食品加工学	豆乳中の主要タンパク質分画及び分析方法について	(4)
□□□□	武庫川女子大学	繊維	CNFによる香り徐放性についての研究指導	(4)
□□□□	信州大学	界面化学、コロイド化学	乳化剤を使用しない乳化技術について	(6)
□□□□	宮城大学	分子調理学	次世代食品素材の開発と解析技術	(6)
□□□□	静岡大学	微生物学	微生物燃料電池技術の基礎と現状について	(4)
□□□□	(株)プロテクティア	生体化学, ゲノム生物学	茶カテキンの抗ウイルス効果の評価方法について	(4)
□□□□	田中特許事務所	知的財産	知的財産と研究について	4 (10)
□□□□	敬愛技術士事務所	触媒	水素エネルギーの利用技術	(8)
□□□□	東京大学大学院	木質材料炭化	木質材料を原料とした炭化技術	(8)
□□□□	(一社)静岡県発明協会	知的財産	先行技術調査を意識した公開公報の読み方	(2)
合計 2 人 (計画 14 人)			合計 14 時間 (計画 78 時間)	

(b) 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間 (計画)
□□□□	東北大学	生体適合性材料	チタン合金等の医療用材料の加工技術について	(7)
□□□□	呉工業高等専門学校	環境都市工学	ゲノム編集に関する指導	(3)
□□□□	東京農工大学大学院	塑性加工法	塑性変形特性のモデル化について	(4)
□□□□	東京農業大学	醸造学	酒類製造技術及び関連試験手法について	(3)
□□□□	理化学研究所	バイオエンジニアリング	内部組織の形状情報を含んだ生体の3次元データ構築技術について	(6)
□□□□	東京農業大学	醸造学	製麴試験に関する指導	(3)
合計 0 人 (計画 6 人)			合計 0 時間 (計画 26 時間)	

(c) 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間 (計画)
□□□□	沼津工業高等専門学校	振動工学、情報処理技術	深層学習 (CNN、RNN 等) について	(13)
□□□□	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	段ボール古紙を原料に用いた時に発生する問題とその改善方法及び適正な評価方法について	(12)
□□□□	東京農工大学大学院	紙パルプ科学、セルロース科学、ナノ材料学	加温熟成により紙が低密度化する現象のメカニズム解明について	(12)
合計 0 人 (計画 3 人)			合計 0 時間 (計画 37 時間)	

(d) 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間 (計画)
□□□□	大阪大学レーザー 科学研究所	レーザー工学	レーザーの波形整形技術と制御方法の指導	(4)
□□□□	今田技術士事務所	着色材料	レーザー染色の原理の指導	(4)
□□□□	静岡文化芸術大学	機械設計・デザイン	3次元形状の精密測定技術、SolidWorksの基礎及びFDMによる3D造形についての指導	24 (24)
□□□□	スギテクノ	電気電子情報通信	簡便に活用できるAI・IoT技術に関する指導	(6)
□□□□	福島テック	高分子材料、複合材料	高分子材料の成形加工技術	(8)
□□□□	理化学研究所	高分子材料	高分子材料の成形加工技術	(8)
合計 1 人 (計画 6 人)			合計 24 時間 (計画 54 時間)	

(ウ) 特許等の登録及び出願

令和3年7月31日現在出願中の特許等は20件、登録は40件

a 研究所及び各支援センターの出願及び登録件数

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	11	22 ¹⁾
沼津工業技術支援センター	1	1
富士工業技術支援センター	2	3
浜松工業技術支援センター	6 ²⁾	14 ³⁾
合計	20	40

1) 意匠登録2件を含む。(内1件は外国での意匠登録)

2) 外国で特許出願中の4件を含む。

3) 外国登録特許6件を含む。

b 令和2年度及び令和3年度の特許等出願、登録及び消滅件数

	令和2年度			令和3年度(7月31日現在)		
	出願件数	登録件数	消滅件数	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	4	2	1	0	0	0
沼津工業技術支援センター	0	1	0	1	0	0
富士工業技術支援センター	0	0	1	0	0	1
浜松工業技術支援センター	4	2	2	0	0	0
合計	8	5	4	1	0	1

c 特許等出願・登録の内訳

(a) 工業技術研究所が所有する特許等一覧表

(令和3年7月31日現在)

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H14. 7. 26	2002-218279	H18. 9. 1	第 3845673 号	観察履歴記録プログラム	県単
特許	H15. 3. 19	2003-76529	H19. 3. 16	第 3928058 号	給湯器のリモコン装置	共同
特許	H15. 4. 16	2003-111211	H20. 11. 7	第 4213985 号	めっき処理システム	共同
特許	H18. 1. 10	2006-2927	H20. 2. 22	第 4084821 号	アルミニウム合金鋳造素材の製造方法	共同
特許	H18. 3. 31	2006-97778	H26. 1. 10	第 5445886 号	改質された固体表面を形成する方法および改質された固体表面	県単
特許	H18. 4. 19	2006-115842	H23. 11. 4	第 4852679 号	チェックアウト装置	共同
特許	H18. 8. 31	2006-235622	H23. 12. 16	第4882058号	作業支援装置	共同
特許	H18. 8. 31	2006-235623	H24. 8. 3	第5050170号	作業支援装置	共同
特許	H18. 8. 31	2006-235624	H23. 12. 16	第4882059号	袋詰め作業台	共同
特許	H19. 3. 27	2007-81398	H24. 10. 5	第5097925号	人間の眼の分光感度特性の簡易推定方法及び簡易測定システム	共同
特許	H20. 12. 10	2008-313874	H25. 12. 20	第5438954号	入浴用リフト装置	共同
特許	H21. 5. 14	2009-117449	H26. 7. 18	第5578463号	湿球温度と WBGT の予測方法、WBGT 計、および熱中症危険度判定装置	県単
特許	H21. 9. 14	2009-211174	H25. 4. 5	第5234468号	インジケータ機能を有する消臭剤	県単
特許	H22. 1. 6	2010-855	H26. 9. 5	第5604877号	体躯接触具	共同
特許	H22. 9. 6	2010-198731	H27. 4. 10	第5724102号	室内照度シミュレーション方法およびシステム	共同
特許	H24. 4. 4	2012-85130	H28. 12. 2	第6048639号	マットレスの製造方法及びマットレスの設計方法	共同
特許	H24. 9. 3	2012-193633	H29. 2. 10	第6086677号	揮発性成分の計測方法及び装置	共同
特許	H28. 3. 30	2016-69585	R2. 8. 14	第6749554号	弾性構造体の製造方法	共同
特許	H28. 8. 3	2016-152600	R2. 9. 7	第6759494号	吸音パネル	共同
特許	H29. 6. 30	2017-129696	—	—	香料組成物並びにその製造方法並びに化粧品	共同
特許	H29. 7. 28	2017-146065	—	—	熱可塑性複合樹脂、該樹脂を用いた3Dプリンタ用フィラメント及びそれらの製造方法	共同
特許	H29. 9. 1	2017-168394	R1. 12. 27	第6634579号	セルロースナノファイバー濃縮、乾燥品の製造方法とセルロースナノファイバー再分散液の製造方法	共同
特許	H30. 3. 7	2018-40490	—	—	活性炭の製造方法	共同

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H30. 3. 7	2018-40491	—	—	活性炭の製造方法	共同
特許	R1. 9. 25	2019-174106	—	—	セルロースナノファイバー濃縮、乾燥品の製造方法とセルロースナノファイバー再分散液の製造方法	共同
特許	R1. 10. 15	2019-188658	—	—	廃石膏ボードの石膏を利用したリサイクル技術	共同
特許	R2. 2. 18	2020-252238	—	—	冷爽感持続性薬液並びにこれを含浸させた清拭用シート並びにそれらの製造方法	共同
特許	R2. 12. 23	2020-213685	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	共同
特許	R3. 2. 19	2021-25341	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□□	県単
特許	R3. 2. 25	2021-29000	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□	共同
特許	R3. 3. 10	2021-38788	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □	共同
意匠	H29. 3. 22	2017-500697	H30. 3. 9	第1601162号	Lever knob for a toggle clamp ※1	共同
意匠 (欧州)	H29. 3. 22	DM/096553	H29. 9. 28	DM/096553	Lever knob for a toggle clamp ※2	共同

注) 県単：県単独出願、共同：企業等との共同出願

※1、※2はハーグ協定のジュネーブ改正協定に基づく意匠の国際登録制度を利用し、1回の手続で2カ国（日本と欧州）へ出願

(b) 沼津工業技術支援センターが所有する特許等一覧表

(令和3年7月31日現在)

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H28. 2. 17	2016-27547	R2. 6. 15	第6716814号	伸縮セルモジュールおよび緩衝デバイス	共同
特許	R3. 6. 30	2021-108277	—	—	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	県単

注) 県単：県単出願、共同：企業等との共同出願

(c) 富士工業技術支援センターが所有する特許等一覧表

(令和3年7月31日現在)

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H23. 3. 25	2011-68446	H27. 4. 10	第5725339号	熱板溶着用治具およびその製造方法、金属部材	共同
特許	H26. 1. 23	2014-10328	H30. 10. 26	第6421304号	撥水性を有する多孔質材及びこれを用いた音響透過材	共同
特許	H27. 9. 26	2015-189029	R2. 2. 7	第6656513号	生体情報監視システム	共同
特許	H29. 9. 13	2017-175462	—	—	四足歩行動物分娩判断システム	共同
特許	H31. 2. 21	2019-28955	—	—	セルローズナノファイバーを含んだ紙とセルローズナノファイバーを含んだ紙の製造方法	共同

注) 共同：企業等との共同出願

(d) 浜松工業技術支援センターが所有する特許等一覧

(令和3年7月31日現在)

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H17. 3. 31	2005-102818	H23. 8. 12	第 4799893 号	被加工系のレーザーマーキング方法及び装置	共同
特許	H18. 7. 7	2006-188703	H23. 7. 15	第 4782626 号	レーザーマーキング方法	共同
特許	H20. 3. 31	2008-89869	H26. 2. 7	第 5467670 号	染色方法及び染色装置	共同
特許	H21. 8. 10	2009-185647	H21. 12. 25	第 4430131 号	レーザー溶融接合用ベルト素材及びレーザー接合方法	共同
特許	H22. 1. 26	2010-548511	H26. 5. 30	第 5548886 号	レーザーマーキング方法	共同
特許	H24. 6. 4	2012-126739	H28. 9. 23	第 6010349 号	染色方法及び染色装置	共同
特許	H26. 4. 23	2014-088824	H29. 9. 15	第 6205674 号	微細繊維の製造方法	共同
特許	H28. 6. 20	2016-121855	R2. 7. 13	第 6733904 号	焼結体およびその製造方法	共同
特許	H29. 2. 6	2017-19162	—	—	染色装置及び染色方法	共同
特許	R1. 7. 30	2019-140233	—	—	染色装置及び染色方法	共同
特許 (欧州)	H21. 3. 23	09728217. 2	H24. 6. 20	EP2261419B1	染色方法及び染色装置	共同
特許 (米国)	H22. 9. 21	12/933, 801	H29. 1. 3	9, 534, 344	染色方法及び染色装置	共同
特許 (米国)	H22. 1. 26	13/145, 847	H28. 8. 16	9, 415, 463	レーザーマーキング方法	共同
特許 (中国)	H22. 1. 26	201080005649 . 2	H27. 9. 30	102300717. B	レーザーマーキング方法	共同
特許 (欧州)	H24. 6. 4	12171233. 5	H26. 10. 16	EP2532781B1	染色方法及び染色装置	共同
特許 (米国)	H30. 1. 3	15/861136	R3. 1. 12	10, 889, 935	染色方法及び染色装置	共同
特許 (米国)	R2. 12. 3	17/110767	—	—	染色方法及び染色装置	共同
特許 (欧州)	R1. 7. 30	20188556. 3	—	—	染色方法及び染色装置	共同
特許 (中国)	R1. 7. 30	202010744402 . 8	—	—	染色方法及び染色装置	共同
特許 (タイ)	R1. 7. 30	2001004258	—	—	染色方法及び染色装置	共同

注) 共同：企業等との共同出願

イ 技術相談等

(ア) 技術相談

(目的)

中小企業が直面している生産技術の問題や新素材・新製品開発、先端技術応用など広い範囲にわたり現場あるいは所内において技術指導を実施する。

(実績)

令和2年度及び令和3年度（7月31日現在）の実績は下表のとおりである。

	工業技術研究所		沼津工業技術支援センター		富士工業技術支援センター		浜松工業技術支援センター		合 計	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
技術相談	13,427	5,273	2,695	910	4,601	1,367	10,602	3,812	31,325	11,362
実地指導	774	299	100	36	131	93	152	76	1,157	504
合 計	14,201	5,572	2,795	946	4,732	1,460	10,754	3,888	32,482	11,866

a 工業技術研究所の相談件数

所 属	金属材料科		化学材料科		機械電子科		照明音響科	
年 度	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
技術相談	1,271	396	2,043	836	1,304	462	1,404	657
実地指導	6	21	73	25	56	21	14	14
合 計	1,277	417	2,116	861	1,360	483	1,418	671
所 属	食品科		環境エネルギー科		エニバーサルデザイン科		工芸科	
年 度	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
技術相談	1,872	665	1,426	459	1,885	829	1,948	868
実地指導	172	61	213	89	131	38	63	15
合 計	2,044	726	1,639	548	2,016	867	2,011	883
所 属	その他		合計					
年 度	R2	R3	R2	R3				
技術相談	274	101	13,427	5,273				
実地指導	46	15	774	299				
合 計	320	116	14,201	5,572				

b 沼津工業技術支援センター相談件数

所 属	バイオ科		機械電子科		その他		合計	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
技術相談	325	97	2,331	781	39	32	2,695	910
実地指導	32	7	42	18	26	11	100	36
合 計	357	104	2,373	799	65	43	2,795	946

c 富士工業技術支援センター相談件数

所 属	製紙科		C N F 科		機械電子科		その他	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
技術相談	1,918	575	840	288	1,783	488	60	16
実地指導	40	13	48	45	31	25	12	10
合 計	1,958	588	888	333	1,814	513	72	26
所 属	合計							
年 度	R2	R3						
技術相談	4,601	1,367						
実地指導	131	93						
合 計	4,732	1,460						

d 浜松工業技術支援センター相談件数

所 属	光科		機械電子科		材料科		繊維高分子材料科	
	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3
技術相談	748	325	2,752	1,120	4,961	1,762	1,993	479
実地指導	13	8	27	14	61	31	22	10
合 計	761	333	2,779	1,134	5,022	1,793	2,015	489
所 属	その他		合計					
年 度	R2	R3	R2	R3				
技術相談	148	126	10,602	3,812				
実地指導	29	13	152	76				
合 計	177	139	10,754	3,888				

(イ) 依頼試験、機器使用及び研修施設等使用

(目的)

企業からの依頼により、製品及び原材料などの各種試験・分析・測定などを行い、試験成績書を発行する。
また、企業自ら研究所の設備機器を利用して試験を行う。

(実績)

令和2年度及び令和3年度（7月31日現在）の実績は下表のとおりである。

a 依頼試験

	令和2年度		令和3年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
依頼試験	52,008 (19,526)	53,682,250 (20,099,560)	17,001 (0)	14,005,180 (0)

※（ ）の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

b 機器使用及び研修施設等使用

		令和2年度		令和3年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		60,223 (15,476)	74,589,560 (17,207,830)	17,939 (9)	24,783,830 (11,400)
研修施設等使用	研修施設	138 (61)	187,300 (89,900)	83 (44)	100,600 (47,400)
	無響室	202 (26)	862,500 (97,500)	91 (0)	341,250 (0)
	電波暗室	638 (123)	4,788,550 (854,850)	195 (0)	1,355,250 (0)
	車載機器用EMS電波暗室	185 (77)	1,166,400 (415,800)	94 (0)	507,600 (0)
	車載機器用EMI電波暗室	527 (66)	2,767,400 (333,300)	387 (0)	1,954,350 (0)
	BCI試験室（シールドルーム）	155 (24)	604,500 (93,600)	88 (0)	343,200 (0)
	車載機器試験用シールドルーム	217 (113)	865,800 (440,700)	61 (0)	249,600 (0)
合計		62,285 (15,966)	85,832,010 (19,533,480)	18,941 (53)	29,635,680 (588,800)

※（ ）の数字は実績に含まれている減免の時間数及び金額

c 依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）（令和3年度は7月31日まで）

		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析	2,278 (462)	12,796,920 (3,284,850)	500 (0)	2,632,710 (0)
	定量分析	431 (142)	4,224,220 (2,257,900)	177 (0)	1,184,300 (0)
2 工業用材料	材料強度試験	2,685 (58)	4,999,990 (134,020)	901 (0)	1,866,050 (0)
	長期性能試験	42,626 (17,086)	11,054,840 (4,707,430)	14,132 (0)	3,107,070 (0)
	特殊試験	798 (114)	6,722,440 (1,759,610)	185 (0)	1,978,660 (0)
3 木材工業	木材試験	68 (12)	334,750 (87,000)	19 (0)	102,710 (0)
	塗料試験	20 (20)	31,000 (31,000)	14 (0)	19,740 (0)
	製品試験	429 (218)	1,692,820 (727,970)	122 (0)	496,980 (0)
4 化学工業	金属表面処理試験	154 (60)	870,120 (388,500)	27 (0)	150,350 (0)
	プラスチック及びゴム試験	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	微生物試験	13 (0)	61,360 (0)	0 (0)	0 (0)
	セラミックス試験	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	熱勘定試験	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
5 機械金属工業	精密測定	92 (24)	201,740 (27,360)	26 (0)	82,050 (0)
	機械器具の検査及び試験	936 (936)	5,213,520 (5,213,520)	120 (0)	668,400 (0)
	金属試験	245 (72)	1,383,210 (444,000)	152 (0)	743,510 (0)
	電気試験	15 (0)	48,150 (0)	0 (0)	0 (0)
6 包装材料	包装材料試験	49 (0)	65,170 (0)	23 (0)	30,590 (0)

7 繊維工業	繊維材料試験	1 (0)	3,570 (0)	0 (0)	0 (0)
	編織試験	56 (0)	150,640 (0)	16 (0)	43,040 (0)
	染色試験	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	整理仕上加工試験	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
8 製紙工業	原材料試験	25 (0)	445,440 (0)	7 (0)	109,460 (0)
	紙質試験	428 (0)	1,479,300 (0)	68 (0)	197,790 (0)
	製紙及び紙加工試験	13 (0)	125,580 (0)	2 (0)	21,840 (0)
9 加工	塗装加工	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	木竹材加工	2 (0)	6,460 (0)	0 (0)	0 (0)
10 設計及び調整	機械等の設計及び調整	296 (75)	1,137,780 (458,800)	103 (0)	484,390 (0)
	繊維デザイン	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	商業及び工業デザイン	202 (195)	569,100 (549,230)	19 (0)	66,880 (0)
11 写真及び複写	123 (52)	50,900 (28,370)	376 (0)	12,780 (0)	
12 成績書の複本	23 (0)	13,230 (0)	12 (0)	5,880 (0)	
合 計		52,008 (19,526)	53,682,250 (20,099,560)	17,001 (0)	14,005,180 (0)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(a) 工業技術研究所の依頼試験実績

(令和3年度は7月31日まで)

		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析	273 (58)	3,103,460 (446,120)	83 (0)	934,960 (0)
	定量分析	170 (8)	605,760 (39,760)	108 (0)	404,070 (0)
2 工業用材料	材料強度試験	2,349 (18)	4,279,270 (94,740)	751 (0)	1,594,690 (0)
	長期性能試験	12,038 (6,482)	4,024,380 (2,243,540)	3,224 (0)	652,290 (0)
	特殊試験	488 (6)	3,302,400 (35,580)	114 (0)	1,317,500 (0)
3 木材工業	木材試験	68 (12)	334,750 (87,000)	19 (0)	102,710 (0)
	塗料試験	20 (20)	31,000 (31,000)	14 (0)	19,740 (0)
	製品試験	429 (218)	1,692,820 (727,970)	122 (0)	496,980 (0)
4 化学工業	金属表面処理試験	32 (14)	233,280 (102,060)	10 (0)	72,900 (0)
	プラスチック及びゴム試験	()	()	()	()
	微生物試験	()	()	()	()
	セラミックス試験	()	()	()	()
	熱勘定試験	()	()	()	()
5 機械金属工業	精密測定	51 (24)	58,140 (27,360)	3 (0)	3,420 (0)
	機械器具の検査及び試験	()	()	()	()
	金属試験	82 (24)	515,760 (161,280)	13 (0)	87,360 (0)
	電気試験	()	()	()	()
6 包装材料	包装材料試験	()	()	()	()

7 繊維工業	繊維材料試験	()	()	()	()
	編織試験	()	()	()	()
	染色試験	()	()	()	()
	整理仕上加工試験	()	()	()	()
8 製紙工業	原材料試験	()	()	()	()
	紙質試験	()	()	()	()
	製紙及び紙加工試験	()	()	()	()
9 加工	塗装加工	()	()	()	()
	木竹材加工	2 (0)	6,460 (0)	()	()
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	()	()	()	()
	繊維デザイン	()	()	()	()
	商業及び工業デザイン	202 (195)	569,100 (549,230)	19 (0)	66,880 (0)
11 写真及び複写	15 (0)	450 (0)	32 (0)	960 (0)	
12 成績書の複本	5 (0)	2,450 (0)			
合 計		16,224 (7,079)	18,759,480 (4,545,640)	4,512 (0)	5,754,460 (0)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(b) 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績

(令和3年度は7月31日まで)

		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析	2 (0)	11,140 (0)	9 (0)	54,770 (0)
	定量分析	2 (0)	3,220 (0)	2 (0)	2,540 (0)
2 工業用材料	材料強度試験	10 (0)	27,300 (0)	9 (0)	16,950 (0)
	長期性能試験	5,855 (1,623)	1,435,690 (395,980)	3,996 (0)	905,280 (0)
	特殊試験	26 (2)	176,620 (56,000)	5 (0)	7,050 (0)
3 木材工業	木材試験	()	()	()	()
	塗料試験	()	()	()	()
	製品試験	()	()	()	()
4 化学工業	金属表面処理試験	()	()	()	()
	プラスチック及びゴム試験	()	()	()	()
	微生物試験	13 (0)	61,360 (0)	()	()
	セラミックス試験	()	()	()	()
	熱勘定試験	()	()	()	()
5 機械金属工業	精密測定	41 (0)	143,600 (0)	23 (0)	78,630 (0)
	機械器具の検査及び試験	936 (936)	5,213,520 (5,213,520)	120 (0)	668,400 (0)
	金属試験	8 (8)	36,120 (36,120)	39 (0)	106,680 (0)
	電気試験	15 (0)	48,150 (0)	()	()
6 包装材料	包装材料試験	()	()	()	()

7 繊維工業	繊維材料試験	()	()	()	()
	編織試験	()	()	()	()
	染色試験	()	()	()	()
	整理仕上加工試験	()	()	()	()
8 製紙工業	原材料試験	()	()	()	()
	紙質試験	()	()	()	()
	製紙及び紙加工試験	()	()	()	()
9 加工	塗装加工	()	()	()	()
	木竹材加工	()	()	()	()
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	1 (0)	5,490 (0)	()	()
	繊維デザイン	()	()	()	()
	商業及び工業デザイン	()	()	()	()
11 写真及び複写	8 (0)	240 (0)	72 (0)	2,160 (0)	
12 成績書の複本	()	()	()	()	
合 計		6,917 (2,569)	7,162,450 (5,701,620)	4,275 (0)	1,842,460 (0)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(c) 富士工業技術支援センターの依頼試験実績

(令和3年度は7月31日まで)

		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析	()	()	()	()
	定量分析	()	()	()	()
2 工業用材料	材料強度試験	34 (0)	51,430 (0)	()	()
	長期性能試験	5,090 (855)	1,145,570 (211,660)	1,814 (0)	435,360 (0)
	特殊試験	()	()	()	()
3 木材工業	木材試験	()	()	()	()
	塗料試験	()	()	()	()
	製品試験	()	()	()	()
4 化学工業	金属表面処理試験	()	()	()	()
	プラスチック及びゴム試験	()	()	()	()
	微生物試験	()	()	()	()
	セラミックス試験	()	()	()	()
	熱勘定試験	()	()	()	()
5 機械金属工業	精密測定	()	()	()	()
	機械器具の検査及び試験	()	()	()	()
	金属試験	()	()	()	()
	電気試験	()	()	()	()
6 包装材料	包装材料試験	49 (0)	65,170 (0)	23 (0)	30,590 (0)

7 繊維工業	繊維材料試験	()	()	()	()
	編織試験	()	()	()	()
	染色試験	()	()	()	()
	整理仕上加工試験	()	()	()	()
8 製紙工業	原材料試験	25 (0)	445,440 (0)	7 (0)	109,460 (0)
	紙質試験	428 (0)	1,479,300 (0)	68 (0)	197,790 (0)
	製紙及び紙加工試験	13 (0)	125,580 (0)	2 (0)	21,840 (0)
9 加工	塗装加工	()	()	()	()
	木竹材加工	()	()	()	()
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	()	()	()	()
	繊維デザイン	()	()	()	()
	商業及び工業デザイン	()	()	()	()
11 写真及び複写	4 (0)	120 (0)	()	()	
12 成績書の複本	18 (0)	10,780 (0)	12 (0)	5,880 (0)	
合 計		5,661 (855)	3,323,390 (211,660)	1,926 (0)	800,920 (0)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(d) 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績

(令和3年度は7月31日まで)

		令和2年度		令和3年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析	2,003 (404)	9,682,320 (2,838,730)	408 (0)	1,642,980 (0)
	定量分析	259 (134)	3,615,240 (2,218,140)	67 (0)	777,690 (0)
2 工業用材料	材料強度試験	292 (40)	641,990 (39,280)	141 (0)	254,410 (0)
	長期性能試験	19,643 (8,126)	4,449,200 (1,856,250)	5,098 (0)	1,114,140 (0)
	特殊試験	284 (106)	3,243,420 (1,668,030)	66 (0)	654,110 (0)
3 木材工業	木材試験	()	()	()	()
	塗料試験	()	()	()	()
	製品試験	()	()	()	()
4 化学工業	金属表面処理試験	122 (46)	636,840 (286,440)	17 (0)	77,450 (0)
	プラスチック及びゴム試験	()	()	()	()
	微生物試験	()	()	()	()
	セラミック試験	()	()	()	()
	熱勘定試験	()	()	()	()
5 機械金属工業	精密測定	()	()	()	()
	機械器具の検査及び試験	()	()	()	()
	金属試験	155 (40)	831,330 (246,600)	100 (0)	549,470 (0)
	電気試験	()	()	()	()
6 包装材料	包装材料試験	()	()	()	()

7 繊維工業	繊維材料試験	1 (0)	3,570 (0)		
	編織試験	56 (0)	150,640 (0)	16 (0)	43,040 (0)
	染色試験	()	()	()	()
	整理仕上加工試験	()	()	()	()
8 製紙工業	原材料試験	()	()	()	()
	紙質試験	()	()	()	()
	製紙及び紙加工試験	()	()	()	()
9 加工	塗装加工	()	()	()	()
	木竹材加工	()	()	()	()
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	295 (75)	1,132,290 (458,800)	103 (0)	484,390 (0)
	繊維デザイン	()	()	()	()
	商業及び工業デザイン	()	()	()	()
11 写真及び複写	96 (52)	50,090 (28,370)	272 (0)	9,660 (0)	
12 成績書の複本	()	()	()	()	
合 計		23,206 (9,023)	24,436,930 (9,640,640)	6,288 (0)	5,607,340 (0)

※ () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

d 機器使用等の内訳

(a) 工業技術研究所の機器使用等の実績

(令和3年度は7月31日まで)

		令和2年度		令和3年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		12,652 (5,011)	12,277,020 (4,133,780)	5,716 (9)	5,195,910 (11,400)
研修 施設等 使用	研修施設	13 (13)	14,300 (14,300)	43 (40)	47,300 (4,400)
	無響室	54 (0)	202,500 (0)	19 (0)	71,250 (0)
	電波暗室 ¹⁾	—	—	—	—
合 計		12,719 (5,024)	12,493,820 (4,148,080)	5,778 (49)	5,314,460 (55,400)

1) 電波暗室の施設はない

2) () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(b) 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績

(令和3年度は7月31日まで)

		令和2年度		令和3年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		8,393 (2,212)	9,499,630 (3,182,560)	1,392 (0)	1,795,340 (0)
研修 施設等 使用	研修施設	8 (8)	9,600 (9,600)	4 (4)	3,400 (3,400)
	無響室 ¹⁾	—	—	—	—
	電波暗室 ²⁾	—	—	—	—
合 計		8,401 (2,220)	9,509,230 (3,192,160)	1,396 (4)	1,798,740 (3,400)

1) 無響室の施設はない

2) 電波暗室の施設はない

3) () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(c) 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績 (令和3年度は7月31日まで)

		令和2年度		令和3年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		7,574 (720)	11,238,690 (189,590)	1,392 (0)	2,523,770 (0)
研修施設等使用	研修施設	88 (40)	129,200 (66,000)	22 (0)	31,500 (0)
	無響室 ¹⁾	—	—	—	—
	電波暗室 ²⁾	—	—	—	—
合 計		7,662 (760)	11,367,890 (255,590)	1,414 (0)	2,555,270 (0)

1) 無響室の施設はない

2) 電波暗室の施設はない

3) () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(d) 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績 (令和3年度は7月31日まで)

		令和2年度		令和3年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		31,604 (7,533)	41,574,220 (9,701,900)	9,439 (0)	15,268,810 (0)
研修施設等使用	研修施設	29 (0)	34,200 (0)	14 (0)	18,400 (0)
	無響室	148 (26)	660,000 (97,500)	72 (0)	270,000 (0)
	電波暗室	638 (123)	4,788,550 (854,850)	195 (0)	1,355,250 (0)
	車載機器用EMS電波暗室	185 (77)	1,166,400 (415,800)	94 (0)	507,600 (0)
	車載機器用EMI電波暗室	527 (66)	2,767,400 (333,300)	387 (0)	1,954,350 (0)
	B C I 試験室 (シールドルーム)	155 (24)	604,500 (93,600)	88 (0)	343,200 (0)
	車載機器試験用シールドルーム	217 (113)	865,800 (440,700)	64 (0)	249,600 (0)
合 計		33,503 (7,962)	52,461,070 (11,937,650)	10,353 (0)	19,967,210 (0)

1) () の数字は実績総額に含まれる減免の件数及び金額

(ウ) 研究会の育成

(目的)

講習会や講演会、工場見学会等を通じて技術向上に努める研究会を支援する。

a 工業技術研究所（令和3年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
静岡県プレス技術研究会	昭和44年 6月	37社
静岡県食品技術研究会	昭和47年12月	113社・個人・団体
静岡県資源環境技術研究会	昭和44年11月	75社・人
静岡県プラスチック技術研究会	平成 2年 6月	33社
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成 7年 5月	37社

b 沼津工業技術支援センター（令和3年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
静岡県東部精密技術研究会	平成 2年 6月	36社・団体
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和59年 9月	28社

c 富士工業技術支援センター（令和3年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和62年 9月	10社

d 浜松工業技術支援センター（令和3年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
浜松機械技術研究会	昭和39年12月	61社
表面技術研究会	昭和60年 8月	38社
浜松繊維加工技術研究会	平成 7年 7月	13社
浜松品質工学研究会	平成 9年 3月	25人
浜松EMC研究会	平成20年 6月	21社
浜松地域CFRP事業化研究会	平成21年 4月	52社
はままつ超ハイテン研究会	平成28年 6月	15社

(エ) 研修生の受入れ

(目的)

民間及び学生、大学院生等を研修生として受け入れることで、民間企業等の人材育成、学生の就業体験、試験研究機関の研究業務活性化及び大学教育の一層の拡充を図るとともに、県内産業の発展及び本県の科学技術進展に寄与する。

(実績)

令和2年度及び令和3年度の研修生受入れは以下のとおりである。

単位：人

	令和2年度			令和3年度 (7月31日現在)		
	一般 研修	就業体験 研修	連携 大学院	一般 研修	就業体験 研修	連携 大学院
工業技術研究所	4	0	0	5	0	0
沼津工業技術 支援センター	0	0	0	2	0	0
富士工業技術 支援センター	0	0	0	0	0	0
浜松工業技術 支援センター	0	0	0	0	0	0
合計	4	0	0	7	0	0

a 令和2年度研修生の詳細
 (a) 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	海洋性乳酸菌を用いた食品開発	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	県内大学 □□□□□
工芸科	ナノファイバーの3次元構造を維持した乾燥方法 ナノファイバーの精密炭素化	令和2年8月24日～ 令和3年3月31日	県内大学 □□□□
工芸科	ナノファイバーの3次元構造を維持した乾燥方法 ナノファイバーの精密炭素化	令和2年8月21日～ 令和3年3月31日	県内大学 □□□□
食品科	海洋性乳酸菌を用いた食品開発	令和2年12月1日～ 令和3年3月31日	県内大学 □□□□
就業体験研修 (インターンシップ)			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

b 令和3年度研修生の詳細（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	海洋性乳酸菌を用いた食品開発	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□
工芸科	タッピング法による木質材料の損失係数測定法の習得	令和3年6月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□
工芸科	タッピング法による木質材料の損失係数測定法の習得	令和3年6月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□
工芸科	タッピング法による木質材料の損失係数測定法の習得	令和3年6月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□
食品科	鹿肉のアミノ酸分析、GCにおい嗅ぎ分析、操作型電子顕微鏡による組織観察	令和3年7月2日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

(b) 沼津工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
バイオ科	リアルタイムPCRの操作および解析手法の習得 遺伝子抽出操作および検量線の作成方法の習得	令和3年5月24日～ 令和4年3月31日	県内企業 □□□□
バイオ科	リアルタイムPCRの操作および解析手法の習得 遺伝子抽出操作および検量線の作成方法の習得	令和3年5月24日～ 令和4年3月31日	県内企業 □□□□
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ 技術情報提供

(目的)

当研究所の業務内容又は職員が収集した技術情報及び研究成果等を、県内企業に役立つ形で提供する。

(実績)

令和2年度及び令和3年度実績は以下のとおりである。

(ア) 研究報告関係

(令和3年度は7月31日現在)

項 目 等	令和2年度	令和3年度
研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会 等で配布 ホームページに掲載	展示会での閲覧及び協議会 等で配布 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	1,100部	1,100部 (予定)

(イ) 研究発表会関係

項 目 等		令和2年度		令和3年度	
研 究 発 表 会	工業技術研究所	開催年月日	R2. 8. 21	R3. 3. 9-10	R4. 3(予定)
		参加者数	287人	165人	—
		要旨集	Webで公開	Webで公開	—
	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	工技研と合同開催		R4. 3(予定)
		参加者数	—		—
		要旨集	—		—
	富士工業技術 支援センター	開催年月日	R2. 10. 28	R3. 3. 11	R4. 3(予定)
		参加者数	62人	69人	—
		要旨集	62部	Webで限定公開	—
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	R3. 3. 8		R4. 3(予定)
		参加者数	99人		—
		要旨集	Webで公開		—

※ 工業技術研究所及び富士工業技術支援センターについては、新型コロナウイルスの影響により延期していた、令和元年度の研究発表会を令和2年に開催した。

a 令和2年度の研究発表会の実績

(a) 令和元年度静岡県工業技術研究所研究発表会の実績（令和2年8月21日）

テーマ名	発表者
車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	豊田敏裕
表面の光学特性に影響する粗さパラメータの解明	柳原 亘
ヘッドアップディスプレイにおける凹面鏡の形状が光学性能に与える影響の評価	志智 亘
屋外の光環境下でのヘッドアップディスプレイの照明シミュレーション	豊田敏裕
次世代自動車の軽量化に貢献する3D熱変形等計測・評価技術の開発	針幸達也
環境に優しい樹脂めっきプロセスの開発	綿野哲寛
熔融樹脂と金属部材表面の剥離性評価	小泉雄輔
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 －プラズマ照射効果の分析－	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発 －接着性向上について－	稲葉彩乃
静岡県IoT推進ラボの開設	赤堀 篤
ポータブルIoT導入パックの開発	望月建治
プレス加工現場のIoT導入支援の実例 －生産出来高のリアルタイム監視と生産計画の最適化への取組み－	岩崎清斗
鍍金加工工場のIoT導入支援の実例 －稼働状況の見える化とLPWA通信による管理工数の削減－	山口智之
携帯情報端末を活用した酸素ボンベ残量モニタの開発 －深層学習を用いた医療用酸素流量調整器の自動読み取りについて－	竹居 翼
鍛造シミュレーションの高精度化に向けた取り組み －生体適合性材料（チタン合金）の材料特性データの活用－	是永宗祐
鍛造シミュレーションの高度化 －進化的計算手法と機械学習の活用－	松下五樹
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 －研究の背景と概要－	大竹正寿
マイクロX線CTによるCNF複合材のCNF分散性評価	田中翔悟
赤外分光イメージングを用いたPP/CNF複合材中のCNF分散性の評価 －試料間の数値的な比較－	菅野尚子
マスターバッチを使用したPP/CNF複合材の混練・成形・評価	志田英士
PP/CNF複合材に対するめっき密着性の評価	田中宏樹
セルロースナノファイバーを添加したモルタルのひび割れと収縮	村松重緒
セルロースナノファイバーによる香り放散機構の解明	石橋佳奈
静岡県産アカモクの機能性成分及び微生物評価	浅沼俊倫
緑茶葉の微細化素材開発	松野正幸
新マイクロ波抽出技術による魚節フレーバー濃縮エキスの開発	渡瀬隆也

新規なこんにやくハンバーグの開発	三宅健司
機能向上を狙った静岡県産農産物の乳酸菌発酵	袴田雅俊
しずおか有用微生物ライブラリーを活用した静岡サワービールの開発（Ⅱ） －最適微生物株の選抜－	望月玲於
しずおか有用微生物ライブラリーを活用した静岡サワービールの開発（Ⅲ） －試作品の製造及び評価－	勝山 聡
県オリジナル酒造好適米新系統の醸造適性評価	鈴木雅博
静岡版メタン発酵プラントの実証化試験について	太田良和弘
メタン発酵処理に適する食品廃棄物の性状に関する考察	室伏敬太
木工プレス機の荷重管理状況調査	渡邊雅之
衝撃荷重を想定した椅子の耐久性試験の提案	菊池圭祐
発泡体の構造解析に向けた材料特性パラメータの導出	船井 孝
搾乳作業における身体負担を軽減するしゃがみ姿勢の提案	大賀久美

(b) 令和元年度富士工業技術支援センター研究発表会の実績（令和2年10月28日）

テーマ名	発表者
「ふじのくに CNF 研究開発センター」の紹介	大竹正寿
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ～研究の背景と概要～	大竹正寿
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 ～マイクロX線CTによるCNF複合材のCNF分散性評価～	田中翔悟
CNFによる地域産業の活性化支援研究 ～CNFの繊維製品への活用の検討～	河部千香
繊維長分布測定装置の概要と利用例	齊藤和明
段ボール古紙の印刷用紙への活用可能性の検討	齊藤将人
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（総論）	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（プラズマ照射効果の分析）	高木 誠
異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発（接着性向上について）	稲葉彩乃
深層学習を利用した牛分娩検知システムの開発	井出達樹

(c) 令和2年度浜松工業技術支援センター研究発表会の実績（令和3年3月8日）

テーマ名	発表者
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立	鈴木重好
CFRPの基材となるUDテープ製造技術の確立	長房秀幸
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立～開発中の成形材料の成形条件の確立について～	森田達弥
材料評価・解析のための効果的・効率的な試料調製方法のご紹介	吉岡正行
めっき法によるラフネス構造の形成と撥水化への応用	田光伸也
X線回折による硬さ測定に及ぼす鋼種の影響	小粥基晴
機器分析による薄膜の評価解析方法について	長田貴将
マイクロチップレーザーによるレーザーピーンフォーミングの変形モード	鷺坂芳弘
試料表面の色から粗さを推定する	中野雅晴
光散乱解析を用いた偏光計測の可否判定	太田幸宏
EMC試験設備の紹介と試験時の留意点	上野貴康
摩擦攪拌接合したアルミニウム合金鋳造材継手の組織と機械的性質	岩澤 秀
非接触三次元ひずみ・変形測定機の測定事例紹介	長津義之
計測用X線CTの精度評価	針幸達也

(d) 令和2年度静岡県工業技術研究所研究発表会の実績（令和3年3月9日～令和3年3月10日）

テーマ名	発表者
静岡県 IoT 推進ラボのリニューアル	赤堀 篤
IoT導入のための企業向け実習について	山口智之
自作型IoTシステムの使いやすさについて	岩崎清斗
データ圧縮アルゴリズムを活用した画像認識AIにおける効率的学習手法の開発	松下五樹
医療用チタン合金の鍛造条件を探索するためのシミュレーションシステムの構築	是永宗祐
小児・嚥下困難者のための錠剤粉碎技術の開発 —病院・薬局での調剤作業簡易化を目指して—	松野正幸
静岡県産品を活用した化粧品の開発支援 —収集・素材化および機能性の探索・向上研究の取組み—	山下里恵
CNFを活用したアロマ基礎化粧品の開発	石橋佳奈

マクロ未利用部位機能性成分抽出技術の検討 —食品・化粧品素材開発—	三宅健司
新マイクロ波抽出技術によるかつお節フレーバー濃縮エキスの開発	渡瀬隆也
駿河湾由来乳酸菌を用いた乳酸発酵甘酒の開発	浅沼俊倫
チーズ製造に適した駿河湾由来乳酸菌の選抜	袴田雅俊
海洋資源からのサワービール及び生酏系清酒用乳酸菌の選抜	勝山 聡
静岡酵母HD-1と麹菌の組み合わせが清酒の酒質に及ぼす影響	鈴木雅博
家畜ふん尿の乾燥及び燃料化技術の開発	岡本哲志
静岡版メタン発酵技術の普及支援	太田良和弘
デザインを活用した課題解決について —デザインマッチング事業の紹介—	大賀久美
介護動作指導支援システムのユーザビリティ評価	易 強
衝撃荷重を想定した椅子の背もたれの試験方法の提案	菊池圭祐
木工プレス機の荷重管理状況調査 —プレス荷重の「見える化」について—	渡邊雅之
積層板の音響特性における接着剤の影響	村松重緒
車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	豊田敏裕
照明シミュレーションによるヘッドアップディスプレイの設計評価	豊田敏裕
表面性状測定データを用いた切削加工面の表面散乱光予測	志智 亘
車載光学機器部品における微細構造評価について	柳原 亘
機械電子科に新たに整備した高精度自由曲面測定機の紹介	大澤洋文
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —CNFがPP/CNF複合材に及ぼす影響—	人竹正寿
高濃度CNFのマスターバッチを用いたPP/CNF複合材料の試作と評価	菅野尚子
CNFマスターバッチのブロー成形への適用とその評価	小泉雄輔
溶融樹脂と金属部材表面の剥離性評価 —第2報—	稲葉彩乃
PP/CNF複合材に対するめっき密着性の評価（Ⅱ）	田中宏樹
環境に優しい樹脂めっきプロセスの開発（Ⅱ）	望月玲於
金属材料科の機器の紹介 —鋼種推定を中心に—	鈴木洋光

(e) 令和2年度富士工業技術支援センター研究発表会の実績（令和3年3月11日）

テーマ名	発表者
次世代自動車軽量化のための CNF 複合材の開発 -背景と今年度の研究概要-	大竹正寿
次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 -X線CTによるPP/CNF複合材の分散性評価-	田中翔悟
リファイナーを用いたCNT製造の試み	河部千香
再生紙の低密度化に関する研究	齊藤和明
ほぐれやすさ試験機の技術開発	齊藤将人
新型プラズマ照射装置とその応用事例	高木 誠
深層学習を利用した牛分娩検知システムの開発	井出達樹

(ウ) 研究所情報等の提供

(令和3年度は7月31日現在)

刊行物名	令和2年度		令和3年度	
	発行部数 (部)	ホームページ 掲載	発行部数 (部)	ホームページ 掲載
工業技術研究所各科紹介チラシ	—	○	—	○
沼津工業技術支援センターニュース	—	○	—	○ (予定)
富士工業技術支援センターニュース	400	○	200	○
富士工業技術支援センター利用案内	400	—	200	—
浜松工業技術支援センターニュース	2,000	○	2,000	○
静岡県工業技術情報	—	○	—	○
静岡県工業技術研究所年報	—	○	—	○ (予定)
静岡県工業技術研究所メールマガジン (2週間に1回発行)	23回	—	8回	—

(エ) 研究所の事業広報等

(目的)

一般県民に当研究所の業務を理解してもらうとともに、科学技術への興味を持ってもらうため、見学者の受入れや「工業技術研究所フェア」を開催する。

(実績)

令和2年度及び令和3年度の実績・結果は以下のとおりである。

(令和3年度は7月31日現在)

項 目 等		令和2年度	令和3年度	
見学の受入	工業技術研究所	499人	157人	
	沼津工業技術支援センター	29人	3人	
	富士工業技術支援センター	143人	11人	
	浜松工業技術支援センター	18人	91人	
「県民の日」	工業技術研究所	開催年月日	—	R3. 8. 6—R3. 8. 31 (予定)
		参加者数	—	
研究所 フェア	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	—	R3. 8. 6—R3. 8. 31 (予定)
		参加者数	—	
及び センター フェア	富士工業技術 支援センター	開催年月日	—	R3. 8. 6—R3. 8. 31 (予定)
		参加者数	—	
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	—	R3. 8. 6—R3. 8. 31 (予定)
		参加者数	—	

※ 令和2年度の研究所フェア及びセンターフェアについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。また、令和3年度は、4機関合同でオンライン開催を予定。

(オ) 講習会等

(目的)

企業経営者及び技術者に新技術等の情報を提供するよう、外部講師の招へい等により、講習会及び講演会を実施する。

(実績)

令和2年度及び令和3年度の実績は以下のとおりである。(令和3年度は7月31日現在)

	令和2年度		令和3年度	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
工業技術研究所	15	878	3	117
沼津工業技術支援センター	5	167	1	21
富士工業技術支援センター	4	31	2	37
浜松工業技術支援センター	2	337	7	172
合計	26	1,413	13	347

a 令和2年度

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	件名		会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R2. 9. 14	自立分散型エネルギー生産に関する学習会と発酵プラントやIoT推進ラボの設備見学		工業技術研究所 小瀬戸バイオリアクター	16	静岡県資源環境技術研究会
R2. 10. 8	食品技術研修会	第264回	Web開催	51	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R2. 10. 30		第265回	Web開催	124	静岡県食品技術研究会 静岡大学 静岡県食品産業協議会
R2. 12. 17		第266回	Web開催	36	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R3. 2. 24		第267回	Web開催	112	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R2. 12. 1	IoT環境構築のため技術知識		静岡県産業経済会館	42	静岡県IoT活用研究会
R2. 12. 1	第9回排水処理技術セミナー		Web開催	64	静岡県資源環境技術研究会 静岡県環境保全協会 静岡市資源環境保全推進協力会
R2. 12. 16	初心者でも良くわかるIoT体験セミナー		工業技術研究所	10	(公財)浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター
R2. 12. 22	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座		工業技術研究所	10	静岡県IoT活用研究会
R2. 12. 23	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	第1回	Web開催	13	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
R3. 3. 3		第2回	Web開催	26	
R3. 2. 9	分析技術Webセミナー		Web開催	49	静岡県資源環境技術研究会
R3. 2. 18	「IoT大学連携講座」成果発表会		静岡県産業経済会館	34	静岡県IoT活用研究会
R3. 3. 3	自立分散型エネルギー生産に関するWeb学習会		Web開催	30	静岡県資源環境技術研究会
R3. 3. 22	化粧品開発に役立つ基礎研究フォーラム		Web開催	261	静岡県立大学 静岡県産業振興財団
実施回数 15回				参加者数 878人	

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R2. 10. 6	HACCP webセミナー	Web開催	15	沼津センター協議会
R2. 11. 13	静岡県東部精密技術研究会 第31回総会・設立30周年特別 講演会	沼津工業技術支援セン ター	63	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
R2. 12. 8	ものづくりに活かす強度試 験の技術と動向	Web開催	15	沼津センター協議会
R3. 2. 9	ローカル5G・IoTセミナー	Web開催	29	沼津センター協議会
R3. 2. 26	信頼性評価のための振動試 験と最新規格動向	Web開催	45	沼津センター協議会
実施回数 5回			参加者数 167人	

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 3. 5	静岡県紙パ技術研究フォー ラム第1回オンライン技術 勉強会	Web開催	6	静岡県紙パ技術研究フォーラム
R3. 3. 22	CNF実践セミナー	富士工業技術支援セン ター	5	工業技術研究所富士センター協 議会
R3. 3. 23			6	富士市CNFプラットフォーム 富士市
R3. 3. 1~3. 31	ふじのくにCNFプロジェ クトCNF技術者研修	富士工業技術支援セン ター	14	工業技術研究所富士センター協 議会
実施回数 4回			参加者数 31人	

※) Web開催については、接続端末数

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 3. 15- R3. 4. 30	FT-IR (フーリエ変換赤外分 光分析装置) セミナー	Web開催	287	浜松センター協議会
R3. 2. 10	温度測定の基礎	Web開催	50	浜松機械技術研究会
実施回数 2回			参加者数 337人	

※) Web開催については、接続端末数

b 令和3年度（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 6. 22	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT活用研究会
R3. 7. 16	食品技術研修会	オンライン及び札の辻クロスホール	92	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R3. 7. 29	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会第1回講習会	Web開催	15	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
実施回数 3 回			参加者数 117 人	

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 6. 30	令和3年度静岡県バイオテクノロジー研究会特別講演会	Web開催	21	静岡県バイオテクノロジー研究会
実施回数 1 回			参加者数 21 人	

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
R3. 6. 11	静岡県紙パ技術研究フォーラム勉強会	富士工業技術支援センター	6	静岡県紙パ技術研究フォーラム
R3. 7. 15	紙関連技術講演会	富士工業技術支援センター	31	静岡県紙パルプ技術協会
実施回数 2 回			参加者数 37 人	

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 4. 23	浜松品質工学研究会定例会	Web開催	15	浜松品質工学研究会
R3. 5. 28			13	
R3. 6. 18			15	
R3. 7. 30			16	
R3. 6. 9	パラメータ設計入門講座	Web開催	18	浜松品質工学研究会
R3. 6. 30	ロボット導入を成功させるために重要なこと	Web開催	28	浜松機械技術研究会
R3. 7. 16	目視外観検査の自動化	Web開催	67	浜松機械技術研究会
実施回数 7 回			参加者数 172 人	

※) Web開催については、接続端末数

(カ) 講師活動

(目的)

企業経営者及び技術者等に新技術等の情報を提供するよう、講習会及び講演会等で職員が講演を実施する。

(実績)

令和2年度及び令和3年度の実績は以下のとおりである。(令和3年度は7月31日現在)

	令和2年度		令和3年度	
	活動回数	参加者数	活動回数	参加者数
工業技術研究所	12	380	0	0
沼津工業技術支援センター	7	273	0	0
富士工業技術支援センター	4	341	0	0
浜松工業技術支援センター	8	455	2	170
合計	31	1,449	2	170

a 令和2年度

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称		会場	参加者数	主催	講師氏名
R2. 9. 29	初心者向けIoTセミナー		工業技術研究所	10	静岡県	山口智之
R2. 10. 15	総合食品学講座	微生物検査技術 I	静岡県立大学	33	(公財) 静岡県産業振興財団	袴口雅俊
R2. 10. 22		小型食品加工機器実習		26		渡瀬隆也
R2. 10. 29		食品の機器分析実習 (GC, LC)	工業技術研究所	31		浅沼俊倫 松野正幸 石橋佳奈
R2. 11. 26		微生物基礎実習		9		山下里恵 渡瀬隆也 浅沼俊倫 松野正幸 三宅健司 袴田雅俊 石橋佳奈
R2. 11. 20	第10回産業振興フェア in いわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会		Web開催	55	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	鈴木敬明 鬼久保郁雄 田中伸佳
R2. 12. 1	IoT環境構築のため技術知識		静岡県産業経済会館	42	静岡県産業経済会館	山口智之
R2. 12. 3	地域食材学		Web開催	107	静岡県立大学	渡瀬隆也
R2. 12. 16	初心者でも良くわかるIoT体験セミナー		工業技術研究所	10	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構フォトンバレーセンター	山口智之
R2. 12. 22	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座		工業技術研究所	10	静岡県IoT活用研究会	山口智之
R2. 12. 23	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会第1回講習会		Web開催	13	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	小松 剛 村松重緒
R3. 2. 18	「IoT大学連携講座」成果発表会		静岡県産業経済会館	34	静岡県	山口智之
活動回数 12回				参加者数 380人		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R2. 9. 18	幾何公差	沼津工業技術支援センター	3	沼津技術専門校	本多正計 船井 孝
R2. 11. 20	第10回産業振興フェアinいわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会	Web開催	55	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	三浦 清
R2. 12. 8	ものづくりに活かす強度試験の技術と動向	Web開催	15	沼津センター協議会	松下五樹
R3. 2. 23	令和2年度誉富士セミナー	Web開催	70	静岡県誉富士普及推進協議会	勝山 聡
R3. 2. 26	信頼性評価のための振動試験と最新規格動向	Web開催	45	沼津センター協議会	本多正計
R3. 3. 20	食品技術士センター3月例会・講演会	Web開催	33	食品技術士センター	黒瀬智英子
R3. 3. 26	グリーン科学技術研究所共同機用機器セミナー	Web開催	52	静岡大学	高木啓詞
活動回数 7 回			参加者数 273 人		

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R2. 11. 20	第10回産業振興フェアinいわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会	Web開催	55	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	飯野 修
R2. 11. 25	静岡県高等学校理科教育研究会東部支部物理部会研修会	静岡県立吉原高等学校	16	静岡県高等学校理科教育研究会東部支部物理部会	飯野 修
R3. 2. 26	ビジネスマッチング交流会	富士市交流センター	18	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会	高木 誠
R3. 3. 11- R3. 3. 21	ふじのくにCNF総合展示会CNF技術講演会	Web開催	252	静岡県	河部千香
活動回数 4 回			参加者数 341 人		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R2. 6. 4	静岡大学 経営システム工学 科講義	Web開催	30	静岡大学	針幸達也
R2. 9. 24	生産性向上在職者訓練「3D- CAD&3Dプリンター活用法」	浜松工業技術センタ ー	6	浜松技術専門校	伊藤芳典
R2. 9. 29	生産性向上在職者訓練「チ タンとその加工技術」	浜松技術専門校	8		植松俊明
R2. 10. 6	生産性向上在職者訓練「TIG 溶接と試験・検査法」	浜松工業技術センタ ー	5		伊藤芳典
R2. 11. 20	第10回産業振興フェアinい わた 静岡県研究所と企業 のオンライン交流会	Web開催	55	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	松田 稔
R3. 1. 27	2020年度航空宇宙中核人材 育成講座	浜松技術専門校	17	浜松商工会議所	植松俊明
R3. 2. 18	マイクロ固体フォトニクス 研究会	分子科学研究所&W e b	47	マイクロ固体フォ トニクス研究会	鷺坂芳弘
R3. 3. 15- R3. 4. 30	FT-IR (フーリエ変換赤外分 光分析装置) セミナー	ふじのくにネットテ レビ・YouTube	287	浜松センター協議 会	吉岡正行
活動回数 8 回			参加者数 455 人		

b 令和3年度（7月31日現在）

（a）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R3. 6. 25	ポスター作成スキルアップ講座	浜松工業高校	20	浜松工業高校	吉岡正行
R3. 6. 29	第41回機器分析講座（赤外分光法の基礎と応用）	静岡理工科大学 （Web配信）	150	静岡理工科大学	吉岡正行
活動回数 2 回			参加者数 170 人		

(キ) 委員派遣

(目的)

委嘱を受けた場合に職員を委員として出席させ、知見や新技術の情報等を提供する。

(実績)

令和2年度及び令和3年度の実績は以下のとおりである。(令和3年度は7月31日現在)

	令和2年度		令和3年度	
	派遣回数	延べ派遣者数	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	67	71	23	23
沼津工業技術支援センター	14	18	7	13
富士工業技術支援センター	41	42	19	19
浜松工業技術支援センター	84	85	47	55
合計	206	216	96	110

a 令和2年度

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会場	主催	派遣者氏名
R2.4.13	令和2年度マーケティング課関係事業担当者会議	静岡県庁	静岡県	渡瀬隆也
R2.4.14	令和2年度食品等開発助成事業及び化粧品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	山下里恵
R2.6.26				
R2.4.17	医療機器等開発可能性調査審査会	(電子メール)	(公財)ふじのくに医療城下町推進機構	田中伸佳
R2.7.9		静岡県産業経済会館		
R2.7.16		(電子メール)		
R2.4.24	ISO/TC213C国内委員会、JIS原案作成委員会	(Web)	(一財)日本規格協会	柳原 亘
R2.6.9				
R2.12.18				
R3.2.15				
R2.5.14	(一財)日本塗料検査協会委員会	(書面)	(一財)日本塗料検査協会	渡邊雅之
R2.5.19- R2.5.25	経営革新計画促進事業費補助金(新商品等開発)審査	(書面)	静岡県	望月一男

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 6. 4	次世代自動車技術革新対応促進助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	望月一男
R2. 6. 4	先端企業育成プロジェクト事業化推進助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	望月一男
R2. 6. 4	産学共同研究委託事業選考審査会	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R2. 6. 19				
R2. 6. 5	静岡県健康食ビジネスモデル創出業務委託企画提案審査委員会	(Web)	静岡県	望月一男
R2. 6. 5- R2. 6. 15	経営革新計画促進事業費補助金(販路開拓・生産性向上)審査	(書面)	静岡県	望月一男
R2. 6. 9	新成長産業戦略的育成事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	望月一男
R2. 6. 11				
R2. 6. 12				
R2. 6. 10	機能性表示食品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	望月一男
R2. 6. 10	加工食品輸出スタートアップ支援事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	望月一男
R2. 7. 14	経営革新計画承認審査	県庁	静岡県	田中伸佳
R2. 7. 31				田中伸佳 鬼久保郁雄
R2. 8. 19				
R2. 10. 30				
R2. 11. 30				鈴木敬明
R2. 12. 10				
R3. 1. 29				
R3. 3. 12				鬼久保郁雄
R3. 3. 26				田中伸佳
R2. 7. 21- R2. 7. 22	医療機器産業基盤強化推進事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	静岡県	望月一男
R2. 7. 21	静岡県支援機関等連絡促進会議	(Web)	(公財) 静岡県産業振興財団	鈴木敬明
R2. 7. 22	マリンオープンイノベーション事業化促進事業費補助金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳
R3. 3. 16				

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 7. 27	中部地域産学連携コーディネータ会議		静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R2. 12. 11					
R2. 8. 21	海洋技術開発促進事業費補助金審査会		(Web)	静岡県	田中伸佳
R3. 3. 15					
R2. 8. 27	日本食品化学工学会中部支部運営委員会		(Web)	日本食品科学工学会中部支部	渡瀬隆也
R2. 9. 2	グッドデザイン	1次審査	(Web)	静岡県	望月一男
R2. 10. 8		2次審査	県庁		
R2. 11. 16		表彰式			
R2. 9. 3	静岡大学FSSコンソーシアム会議		(Web)	静岡大学	鈴木敬明
R2. 9. 11	科学技術振興表彰審査		(Web)	静岡県	望月一男
R2. 9. 25	中部公設試験研究機関長会議		(Web)	(公財) 中部科学技術センター	望月一男
R2. 9. 30	静岡地域産学連携コーディネータ会議		工業技術研究所	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R2. 10. 16	第16回静岡県水産加工品総合品評会審査会		水産・海洋技術研究所	静岡県水産加工工業協同組合連合会	望月一男
R2. 10. 20	第68回静岡県学生児童発明くふう展		静岡県産業経済会館	(一社) 静岡県発明協会	人賀久美
R2. 10. 26	静岡県先端産業創出プロジェクト連携会議		工業技術研究所	静岡県	鈴木敬明
R2. 10. 27	緊急時医療用ガウン等生産体制構築事業実証委託審査会		県庁	静岡県	望月一男
R2. 11. 5	型技術ワークショップ第1回実行員会		沼津工業技術支援センター	(一社) 型技術協会	杉山 治
R2. 11. 17	第1回静岡・シンガポールアグリフードフォーラム		(Web)	静岡県	望月一男 田中伸佳 山下里恵
R2. 11. 20	産業振興フェアinいわた県研究所オンライン交流会		(Web)	磐田商工会議所	望月一男 鈴木敬明
R2. 11. 20	第16回静岡県水産加工品総合品評会表彰式		中島屋グランドホテル	静岡県水産加工工業協同組合連合会	望月一男
R3. 1. 28	第8回世界お茶まつりポスターデザイン選定委員会		しずおか0 - C H A プラザ	静岡県	大賀久美
R3. 2. 5	令和3年度新成長産業戦略的育成事業 第1回事業推進委員会		静岡産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	望月一男

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 2. 12	マリンオープンイノベーション戦略推進委員会	(Web)	静岡県	望月一男
R3. 2. 22	静岡市福祉用具検討会	(書面)	静岡市	小松 剛
R3. 3. 2	FHCaOI 令和 2 年度 第 2 回 産学官金連携会議	(Web)	静岡県	山下里恵
R3. 3. 3	令和 2 年度総合食品学講座 事業推進委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	山下里恵
R3. 3. 4	CNF ラボ入居共同研究中間 評価委員会	(Web)	静岡県	望月一男
R3. 3. 12	新成長産業戦略的育成事業 助成事業審査会	静岡産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	望月一男
R3. 3. 12	次世代自動車技術革新対応 促進助成事業審査会	静岡産業経済会館	(公財) 静岡県産 業振興財団	望月一男
R3. 3. 22	健康食ビジネスモデル創出 業務委託の継続審査	(Web)	静岡県	望月一男
R3. 3. 29	フーズ・ヘルスケアオープ ンイノベーション戦略検討 委員会	(Web)	静岡県	望月一男
派遣回数 67 回			派遣人数 (延べ)	71 人

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 5. 18	型技術ワークショップ第1回実行委員会	(書面)	(一社)型技術協会	大川勝正 本多正計
R2. 6. 23	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	(書面)	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	大川勝正
R2. 6. 23	静岡県東部精密技術研究会役員会	沼津工業高等専門学校	静岡県東部精密技術研究会	三浦 清 本多正計
R2. 7. 1	静岡化学工学懇話会令和2年度総会	(書面)	静岡化学工学懇話会事務局	三浦 清
R2. 7. 22	静岡県東部地域技術振興協議会	(書面)	静岡県東部地域技術振興協議会	大川勝正
R2. 9. 11	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	(Web)	静岡県	大川勝正
R2. 9. 29	令和2年度名古屋国税局酒類鑑評会品質評価会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	黒瀬智英子
R2. 9. 30				勝山 聡
R2. 11. 5	令和2年度名古屋国税局酒類鑑評会製造技術研究会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	勝山 聡
R2. 11. 5	型技術ワークショップ第2回実行委員会	沼津工業技術支援センター	(一社)型技術協会	大川勝正 本多正計
R2. 12. 3- R2. 12. 4	型技術ワークショップ2020 inふじのくに	プラサヴェルデ	(一社)型技術協会	大川勝正 本多正計
R3. 2. 17	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	(Web)	静岡県	大川勝正
R3. 2. 18	第1回富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財)ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	飯塚千佳世
R3. 3. 11	令和2年度三重県新酒品評会	三重県工業研究所	名古屋国税局	勝山 聡
派遣回数 14回			派遣人数(延べ)	18人

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 4. 21	岳南地域地下水利用対策協議会第1回委員・幹事合同会議		(書面)	岳南地域地下水利用対策協議会	佐野禎彦
R2. 4. 28	静岡県創業者育成施設入居審査委員会		県庁	静岡県	佐野禎彦
R2. 4. 30	富士市セルロースナノファイバー関連産業創出事業に係る審査委員会		富士市役所	富士市	佐野禎彦
R2. 5. 13	紙パルプ技術協会理事会	第1回	ホテルグランド富士	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R2. 8. 19		第2回			
R2. 12. 10		第3回			
R3. 3. 18		第4回			
R2. 5. 13	紙パルプ技術協会運営委員会		ホテルグランド富士	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R2. 6. 3	機能紙研究会 第1回理事会		(書面)	(特非)機能紙研究会	佐野禎彦
R2. 6. 9	CNF活用試作品開発事業費補助金に係る審査委員会		県庁	静岡県	佐野禎彦
R2. 6. 10	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会運営会議	第1回	富士市役所	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会	飯野 修
R2. 8. 25		第2回			
R2. 12. 9		第3回	富上市交流プラザ		
R3. 3. 12		第4回	富士市役所		
R2. 6. 10- R2. 6. 12	繊維学会年次大会実行委員会		(書面)	繊維学会	深沢博之
R2. 7. 6	富士市工業振興会議		(書面)	富士市	佐野禎彦
R2. 10. 6			富士市役所		
R2. 7. 10	富士市産業経済問題懇話会	第1回	富士商工会議所	富士市産業経済問題懇話会	佐野禎彦
R3. 2. 12		第2回			
R2. 7. 20	富士ブランド推進会議	第1回	富士商工会議所	富士商工会議所	佐野禎彦
R2. 9. 18		第2回			
R2. 8. 26	インキュベーションセンター入居審査		県庁	静岡県	佐野禎彦
R2. 9. 30					

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 9. 1	国際森林製紙団体協議会若手研究者表彰選考委員会	(Web)	紙パルプ技術協会 木材科学委員会	佐野禎彦
R2. 9. 4	富士市CNF関連産業推進懇話会	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R2. 9. 8	新型コロナウイルス対応補助金の公募に係る審査委員会	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R2. 9. 9 R3. 3. 3	木材科学委員会	(Web)	紙パルプ技術協会 木材科学委員会	佐野禎彦
R2. 9. 11	県科学技術振興表彰審査会	(Web)	静岡県	佐野禎彦
R2. 10. 27	サンフロント21懇話会第26回伊豆地区分科会	(Web)	サンフロント21懇話会	佐野禎彦
R2. 11. 5	機能紙研究会企画委員会	(Web)	(特非) 機能紙研究会	深沢博之
R2. 11. 9	富士地域再生家庭紙利用促進協議会総会	富士市役所	富士地域再生家庭紙利用促進協議会	佐野禎彦
R2. 11. 25	「紙パルプの技術」編集委員会	(書面)	県紙パルプ技術協会	佐野禎彦 杉本芳邦
R2. 11. 27	富士市立博物館協議会	富士山かぐや姫ミュージアム	富士市立博物館	佐野禎彦
R3. 1. 28	サンフロント21懇話会第26回全体会	(Web)	サンフロント21懇話会	佐野禎彦
R3. 2. 10	機能紙研究会通常総会	(書面)	(特非) 機能紙研究会	佐野禎彦
R3. 2. 17	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	(Web)	静岡県	佐野禎彦
R3. 2. 18	第1回富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	本間信行
R3. 2. 24	サンフロント21懇話会東部・富士山地区合同分科会	(Web)	サンフロント21懇話会	佐野禎彦
R3. 3. 26	富士市CNF関連産業創出事業報告・審査会	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R3. 3. 31	日本木材学会パルプ・紙研究会幹事会	(Web)	日本木材学会パルプ・紙研究会	深沢博之
派遣回数 41回			派遣人数 (延べ) 42人	

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名	
R2. 4. 13	電線総合技術センター適合性評価委員会	第41回	(・社) 電線総合技術センター	松田 稔	
R2. 4. 17		第42回			
R2. 4. 30		第43回			
R2. 5. 22		第44回			(電子メール)
R2. 6. 15		第45回			
R2. 6. 19		第46回			
R2. 7. 10		第47回			
R2. 7. 17		第48回			電線総合技術センター
R2. 8. 21		第49回			(電子メール)
R2. 9. 3		第50回			
R2. 9. 18		第51回			電線総合技術センター
R2. 10. 7		第52回			(電子メール)
R2. 10. 22		第53回			
R2. 11. 19		第54回			
R2. 12. 10		第55回			(Web)
R2. 12. 18		第56回			
R3. 1. 14		第57回			(電子メール)
R3. 1. 25		第58回			(Web)
R3. 2. 10		第59回			(電子メール)
R3. 2. 25		第60回			(Web)
R3. 3. 24	第61回	(電子メール)			
R3. 3. 25	第62回	電線総合技術センター			
R2. 4. 21	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業運営委員会ワーキング会議	第72回	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下清光	
R2. 6. 16		第73回			
R2. 9. 16		第74回			浜松医科大学
R2. 11. 17		第75回			
R3. 1. 19		第76回			

年月日	委員会等の名称		会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 4. 21	HFP定例会	第1回	浜松商工会議所会館	(一社) 静岡県繊維協会	鈴木一之
R2. 5. 19		第2回			
R2. 6. 26		第3回			
R2. 7. 28		第4回			
R2. 5. 1	A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業 第5期採択審査会		静岡大学浜松キャンパス	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	杉山直人
R2. 5. 20	鋳造工学会 軽合金研究部会		(Web)	鋳造工学会	岩澤 秀
R2. 10. 19					
R2. 12. 23					
R3. 1. 15					
R3. 2. 5					
R2. 5. 22	地域産学官共同研究拠点「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」令和2年度 第1回事業運営委員会		浜松医科大学	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	杉山直人 山下清光
R2. 5. 25	戦略的基盤技術高度化支援事業(テーマ:次世代自動車向け軸付きはすば歯車の冷間鍛造新製法にかかる研究開発) 研究実務者会議	第1回	金田工業(株)	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典
R2. 7. 20		第2回			
R2. 10. 14		第3回			
R2. 11. 18		第4回			
R3. 2. 22		第5回			
R2. 5. 26	先端精密技術研究会幹事会		(Web)	先端精密技術研究会	渥美博安
R2. 5. 29	塑性加工学会会報誌編集委員会		(Web)	塑性加工学会	鷺坂芳弘
R2. 7. 2					
R2. 9. 3					
R2. 11. 5					
R2. 12. 1					
R2. 12. 17					
R3. 1. 28					
R3. 2. 7					
R3. 2. 21					
R3. 3. 18					

年月日	委員会等の名称		会場	主催	派遣者氏名
R2. 6. 2	戦略的基盤技術高度化支援事業（テーマ：難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発）研究実務者会議	第1回	浜松工業技術支援センター	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典
R2. 7. 14		第2回	(株) 南部製作所		
R2. 11. 10		第3回			
R3. 2. 24		第5回			
R2. 6. 9	静岡化学工学懇話会役員会		(電子メール)	静岡化学工学懇話会	杉山直人
R2. 6. 11	はままつ知財研究会幹事会		(Web)	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	杉山直人
R2. 6. 11	車載EMC計測技術開発WG		(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R2. 7. 11			KEC関西電子工業振興センター		
R2. 9. 11			(Web)		
R2. 6. 12	中小企業等危機克服チャレンジ支援事業費補助金（マスク等生産設備導入事業）審査委員会		県庁	静岡県	杉山直人
R2. 6. 23	静岡県創業者育成施設入居審査委員会		県庁	静岡県	杉山直人
R2. 7. 29					
R2. 7. 7	令和2年度医工連携スタートアップ支援事業	審査会	浜松医科大学医工連携拠点棟	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	松田 稔
R2. 8. 24			(電子メール)		
R3. 2. 24		成果報告会	ホテルクラウンパレス浜松		
R2. 7. 14	鋳造工学会東海支部会議		(Web)	鋳造工学会東海支部	岩澤 秀
R2. 8. 3	令和2年度光・電子技術活用促進事業費補助金審査会		(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 フォトンバレーセンター	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R3. 3. 19	令和2年度光・電子技術活用促進事業費補助金成果報告会		(電子メール)		
R2. 8. 20	技術委員会 第一分科会		(Web)	中部エレクトロニクス振興会	山田浩文
R3. 3. 29					

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 9. 25	KECシェアードミーティング	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R3. 3. 17				
R2. 11. 17	レーザー中核人材企画運営会議	遠鉄百貨店貸会議室	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘
R3. 3. 2				
R2. 12. 3	型技術ワークショップ2020 inふじのくに	プラサヴェルデ	(一社)型技術協会	伊藤芳典
R2. 12. 3	鋳造工学会 東海支部 若手技術者討論会	(株)武村鋳造所	鋳造工学会 東海支部	岩澤 秀
R2. 12. 10	車載EMC計測技術開発WG	テュフラインドジャパン (株)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R3. 1. 28		(Web)		
R3. 2. 26	鋳造工学会 東海支部 技術講習会	(Web)	鋳造工学会 東海支部	岩澤 秀
R3. 3. 26	先端精密技術研究会 幹事会	(Web)	先端精密技術研究会	渥美博安
派遣回数 84回			派遣人数(延べ)	85人

b 令和3年度（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 4. 15	経営革新計画承認審査	県庁	静岡県	鈴木敬明
R3. 4. 21	(公社) 日本鑄造工学会軽合金研究部会	(Web)	(公社) 日本鑄造工学会軽合金研究部会	岩澤 秀
R3. 4. 28	令和3年度総合食品学講座推進委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	山下里恵
R3. 5. 21	静岡情報産業協会総会	(Web)	静岡県情報産業協会	杉山直人
R3. 5. 27	機能性表示食品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 3	食品等開発助成事業及び化粧品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	山下里恵
R3. 6. 7	ISO国内委員会	(Web)	(一社) 日本規格協会	柳原 亘
R3. 6. 8	新成長産業戦略的育成事業助成事業審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 9	令和3年度大学発ベンチャー事業化加速・推進事業費補助金審査委員会	(Web)	商工振興課	田中仲佳
R3. 6. 11	加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 14	医療機器産業基盤強化推進事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 17				
R3. 6. 15	静岡市産学共同研究委託事業選考審査会	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R3. 6. 16	次世代自動車技術革新対応促進助成事業審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 18	(公社) 日本鑄造工学会東海支部工場見学部会	(Web)	(公社) 日本鑄造工学会東海支部工場見学部会	岩澤 秀
R3. 6. 23	静岡市産学交流センター運営委員会	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R3. 6. 24	第1回静岡県環境放射能測定技術会	(Web)	静岡県	杉山直人
R3. 6. 25	日本食品化学工学会中部支部運営委員会	(Web)	日本食品科学工学会中部支部	渡瀬隆也
R3. 7. 1	静岡地域産学連携コーディネータ会議 (第1回)	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 7. 2	文献情報委員会	(Web)	(一社) 照明学会	田代知範
R3. 7. 9	令和3年度海洋技術開発促進事業費補助金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳
R3. 7. 13	令和3年度マリンオープンイノベーション事業化促進事業費補助金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳
R3. 7. 29	(公社) 日本鑄造工学会東海支部工場見学部会	(Web)	(公社) 日本鑄造工学会東海支部工場見学部会	岩澤 秀
派遣回数 23回			派遣人数(延べ) 23人	

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 7	令和3年静岡県杜氏研究会	ホテルアソシア静岡	静岡県杜氏研究会	勝山 聡 鈴木雅博
R3. 5. 14	令和3年静岡県清酒鑑評会	沼津工業技術支援センター	静岡県酒造組合	大川勝正 勝山 聡 鈴木雅博
R3. 5. 19	令和3年度第1回富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	飯塚千佳世
R3. 5. 21	令和3年静岡県清酒鑑評会表彰式	ホテルアソシア静岡	静岡県酒造組合	大川勝正 鬼久保郁雄 勝山 聡 鈴木雅博
R3. 6. 17	静岡県誉富上普及推進会議幹事会	(書面)	静岡県誉富上普及推進会議幹事会	大川勝正
R3. 6. 18	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア第1回実行委員会	(Web)	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	飯塚千佳世
R3. 7. 2	令和3年度静岡化学工学懇話会	(書面)	静岡化学工学懇話会	鬼久保郁雄
派遣回数 7 回			派遣人数 (延べ)	13 人

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 4. 22	岳南地域地下水利用対策協議会令和3年度第1回委員・幹事合同会議	富士市役所	岳南地域地下水利用対策協議会	飯野 修
R3. 4. 22	静岡県紙パルプ技術協会運営委員会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R3. 4. 28	CNF関連産業創出事業委託事業提案に係るアドバイザーリーボード	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R3. 5. 12	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R3. 7. 13				
R3. 5. 13	富土地域再生家庭紙利用促進協議会総会	富士市役所	富土地域再生家庭紙利用促進協議会	佐野禎彦
R3. 5. 13	富士市SDGsものづくり補助金公募に係る審査委員会	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R3. 5. 19	静岡県紙パルプ技術協会理事会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R3. 5. 19	令和3年度第1回富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	三宅健司
R3. 5. 26	静岡県紙業協会総会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙業協会	佐野禎彦
R3. 6. 3	岳南地域地下水利用対策協議会総会	ふじさんめっせ	岳南地域地下水利用対策協議会	佐野禎彦
R3. 6. 4	静岡県紙パルプ技術協会総会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R3. 6. 14	富士ブランド推進会議	富士商工会議所	富士商工会議所	佐野禎彦
R3. 6. 14	CNF活用試作品開発事業費補助金に係る審査委員会	(Web)	静岡県	佐野禎彦
R3. 6. 18	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア第1回実行委員会	(Web)	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	三宅健司
R3. 6. 23	機能紙研究会理事会	(書面)	特定非営利活動法人機能紙研究会	佐野禎彦
R3. 6. 23- R3. 6. 24	紙パルプ技術協会研究発表会審査	(Web)	紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R3. 6. 30	富士市工業振興会議	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R3. 7. 8	富士市CNF関連産業推進懇話会	富士市消防防災庁舎	富士市	佐野禎彦
派遣回数 19 回			派遣人数 (延べ)	19 人

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名	
R3. 4. 15	電線総合技術センター適合性評価委員会	第63回	(電子メール)	(一社) 電線総合技術センター	宮原鐘一
R3. 4. 26		第64回	(Web)		
R3. 5. 24		第65回	(Web)		
R3. 5. 31		第66回	(電子メール)		
R3. 6. 21		第67回	(Web)		
R3. 7. 9		第68回	(電子メール)		
R3. 7. 21		第69回	(Web)		
R3. 4. 20	HFP定例会	第1回	浜松商工会議所会館	(一社) 静岡県繊維協会	鈴木一之
R3. 5. 21		第2回			
R3. 6. 23		第3回			
R3. 7. 21		第4回			
R3. 4. 20	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業運営委員会ワーキング会議	第78回	浜松医科大学	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下清光
R3. 6. 15		第79回			
R3. 4. 28	塑性加工学会編集委員会	(Web)	塑性加工学会編集委員会	鷺坂芳弘	
R3. 5. 21					
R3. 5. 12	戦略的基盤技術高度化支援事業(テーマ: 難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発) 研究実務者会議	第1回	(株) 南部製作所	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	木野浩成
R3. 6. 15		第2回			
R3. 5. 19	KECシェアードミーティング	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文	
R3. 6. 9					
R3. 7. 8					
R3. 7. 16					

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 20	随時級・基礎級技能検定実 技試験検定委員	(株) ヤマテ工業	静岡県職業能力開 発協会	鈴木一之 田光伸也
R3. 6. 4		(株) 村松製作所		
R3. 6. 7		(有) 太陽メッキ工 業所		
R3. 7. 12		三美鍍金工業 (株)		
R3. 7. 12		丸長鍍金 (株)		
R3. 7. 14		タイコエレクトロニ クスジャパン合同会 社		
R3. 7. 21		電化工業 (株)		
R3. 7. 26		(有) 鷺津メッキ工 業所		
R3. 5. 25	A-SAP第9期採択審査会	(公財) 浜松地域イ ノベーション推進機 構フォトンバレーセ ンター	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	松田 稔
R3. 5. 27	はままつ次世代光・健康医 療産業創出拠点令和3年度 第1回事業運営委員会	浜松商工会議所会館	はままつ次世代 光・健康医療産業 創出拠点	山下清光
R3. 6. 3	戦略的基盤技術高度化支援 事業 (テーマ: 次世代自動 車向け軸付きはすば歯車の 冷間鍛造新製法にかかる研 究開発) 第1回研究実務者 会議	金田工業 (株)	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	木野浩成
R3. 6. 10	はままつ知財研究会 2021 年度総会	(書面)	はままつ知財研 究会	松田 稔
R3. 6. 11	レーザー中核人材企画会議	(Web)	光産業創成大学院 大学	鷺坂芳弘
R3. 6. 15	静岡化学工学懇話会 令和 3年度役員会	(書面)	静岡化学工学懇話 会	松田 稔
R3. 6. 15	第一分科会	(Web)	中部エレクトロニ クス振興会	山田浩文
R3. 6. 17				
R3. 6. 22	令和3年度光・電子技術活用 促進事業費補助金審査会	静岡大学イノベーシ ョン社会連携推進機 構	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	宮原鐘一
R3. 7. 1	令和3年度医工連携スター トアップ支援事業審査会	アクトシティ浜松 コンgresセンター	はままつ次世代 光・健康医療産業 創出拠点	宮原鐘一
R3. 7. 2	静岡化学工学懇話会 令和 3年度総会	(書面)	静岡化学工学懇話 会	松田 稔
R3. 7. 5	塑性加工学会編集委員会	(Web)	塑性加工学会編集 委員会Webでの対応	鷺坂芳弘

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 7. 12	次世代自動車センター浜松 試作部品等製作委託制度 審査会	(公財) 浜松地域イ ノベーション推進機 構次世代自動車セン ター浜松	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	松田 稔
R3. 7. 16	戦略的基盤技術高度化支援 事業(テーマ:次世代自動 車向け軸付きはすば歯車の 冷間鍛造新製法にかかる研 究開発) 第1回研究推進委 員会	金田工業(株)	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	木野浩成
R3. 7. 20	戦略的基盤技術高度化支援 事業(テーマ:難加工材の 微細・高精度成形を可能に する温間順送プレス工法の 開発) 第1回研究推進委員 会	(株) 南部製作所	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	木野浩成
R3. 7. 26	静岡理工科大学モータード ライブ応用研究会役員会	静岡理工科大学	静岡理工科大学	吉岡正行
R3. 7. 28	静岡理工科大学金型研究会 役員会及び総会	静岡理工科大学	静岡理工科大学	吉岡正行
R3. 7. 30	静岡理工科大学モータード ライブ応用研究会総会	静岡理工科大学	静岡理工科大学	吉岡正行
派遣回数 47回			派遣人数(延べ) 55人	

(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣

(目的)

(国研)産総研及び他都道府県公設試との協力体制を強化し、機関相互の試験研究を効果的に推進するため、職員を委員として派遣する。

(実績)

令和2年度及び令和3年度の実績は以下のとおりである。(令和3年度は7月31日現在)

	令和2年度		令和3年度	
	派遣回数	延べ派遣者数	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	29	42	8	12
沼津工業技術支援センター	4	4	1	1
富士工業技術支援センター	8	13	1	1
浜松工業技術支援センター	10	10	5	9
合計	51	69	15	23

a 令和2年度
 (a) 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 5. 20	産総研IC会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R2. 6. 19	つながる工場テストベッド 事業	(web)	産総研	赤堀 篤
R2. 7. 27			工業技術研究所	鬼久保郁雄 赤堀 篤
R2. 12. 14		工業技術研究所	工業技術研究所	赤堀 篤
R2. 7. 1	産技連東海北陸地域産技連、産技連東海・北陸地域部会総会	(書面)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	望月 一男
R2. 7. 20	中部イノベネット2020年度運営委員会	(Web)	中部イノベネット	望月 一男
R2. 7. 27- R2. 7. 28	第7回地域イノベーションコーディネータ会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R2. 7. 28	公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	(書面)	公立鉦工業試験研究機関長協議会	望月一男
R2. 9. 25	令和2年度中部公設試験研究機関長会	(Web)	中部科学技術センター	望月一男
R2. 10. 13	産技連製造プロセス部会 塗装工学分科会	(電子メール)	産技連 製造プロセス部会塗装工学分科会	渡邊雅之
R2. 10. 15	産技連東海・北陸地域部会 物質・エネルギー・環境分科会	(Web)	産技連東海・北陸地域部会 物質・エネルギー・環境分科会	望月一男 田中仲佳
R2. 10. 16	TKF/MTEP会議	(Web)	TKF/MTEP	鈴木敬明 増井裕久
R2. 10. 20	令和2年度 静岡・香川地方創生事業調整会議	(Web)	静岡県	山下里恵
R2. 11. 5- R2. 11. 6	産技連ライフサイエンス部会第27回デザイン分科会	(Web)	産技連ライフサイエンス部会	小松 剛 多々良哲也
R2. 11. 24	産技連関東甲信越静地域部会総会	(Web)	産技連	望月 一男
R2. 11. 25	産技連東海・北陸地域部会 機械・金属分科会	(Web)	産技連東海・北陸地域部会 機械・金属分科会	望月一男 鬼久保郁雄 長谷川和宏 鈴木洋光 田中宏樹 望月玲於
R2. 11. 27	産技連ナノテクノロジー・材料部会第14回木質科学分科会	(書面)	産技連ナノテクノロジー・材料部会 木質科学分科会	長澤 正

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 12. 3	第48回計測分科会光放射計測研究会	(Web)	産技連知的基盤部会	豊田敏裕 志智 亘 柳原 亘
R3. 1. 18	産総研第3回地域ICウェビナー	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 1. 20	AI道場ミニキャンプ	(Web)	産総研	竹居 翼
R3. 1. 21	Kansai-3D 公設試験研究機関勉強会	(Web)	産総研	大澤洋文
R3. 1. 22	産技連東海・北陸地域部会情報・電子デバイス分科会	(Web)	産技連東海・北陸地域部会情報・電子デバイス分科会	鬼久保郁雄 赤堀 篤
R3. 2. 2	第5回静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 2. 15	産総研第8回地域IC会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 2. 24	AI道場ミーティング	(Web)	産総研	竹居 翼
R3. 3. 2	令和2年度産技連 環境・エネルギー部会・分科会・研究会合同総会	(Web)	産技連	宮原鐘一 太田良和弘
R3. 3. 3	第61回産技連総会	(Web)	産技連	望月一男
R3. 3. 15	令和2年度 食品試験研究推進会議	(Web)	農研機構	山下里恵
R3. 3. 17	産技連関東甲信越静地域部会企画調整分科会	(Web)	産技連	鈴木敬明
派遣回数 29 回			派遣人数 (延べ)	42 人

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所
農研機構：(国研)農業・食品産業技術総合研究機構
TKF：首都圏テクノナレッジフリーウェイ
MTEP：広域首都圏輸出製品技術支援センター

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 7. 1	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会	(書面)	産技連 東海北陸地域産技連 産技連 東海・北陸地域部会	大川勝正
R2. 9. 25	令和2年度中部公設試験研究機関長会	(Web)	中部科学技術センター	大川勝正
R2. 11. 24	産技連 関東甲信越静部会 関東甲信越静産技連 合同総会	(Web)	産技連 関東甲信越静地域産技連 産技連 関東甲信越静地域部会 関東経産局 産総研	大川勝正
R3. 3. 3	第61回産技連総会	(Web)	産技連	大川勝正
派遣回数 4 回			派遣人数 (延べ) 4 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研) 産業技術総合研究所

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 5. 11	第1回産技連ナノテクノロジー・材料部会総会	(書面)	産技連ナノテクノロジー・材料部会	佐野禎彦
R2. 7. 1	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会	(書面)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	佐野禎彦
R2. 9. 25	令和2年度中部公設試験研究機関長会	(Web)	(公財) 中部科学技術センター	佐野禎彦
R2. 10. 15	産技連東海・北陸地域部会 物質・エネルギー・環境分科会	(Web)	産技連東海・北陸地域部会	佐野禎彦 飯野 修 大竹正寿
R2. 11. 24	産技連 関東甲信越静地域産業技術連携推進会議 産技連 関東甲信越静地域部会合同総会	(Web)	産技連関東甲信越静地域産業技術連携推進会議 産技連関東甲信越静地域部会 関東経済産業局 産総研	佐野禎彦
R2. 11. 26- R2. 11. 27	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	(書面)	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	佐野禎彦 飯野 修 深沢博之 齊藤将人
R3. 1. 29	産技連ナノテクノロジー・材料部会総会	(Web)	産技連ナノテクノロジー・材料部会	佐野禎彦
R3. 3. 3	産技連推進会議総会	(Web)	産技連	佐野禎彦
派遣回数 8 回			派遣人数 (延べ) 13 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R2. 4. 16	産技連ナノテクノロジー・ 材料部会繊維分科会 東海 地域連絡会総会	(電子メール)	産技連ナノテクノ ロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R2. 6. 2	令和2年度 産技連 臨時総 会	(書面)	産技連	杉山直人
R2. 6. 3	産技連東海・北陸地域部会 機械・金属分科会 炭素繊維高度利活用技術研 究会	(電子メール)	産技連東海・北陸 地域部会 機械・ 金属分科会 炭素 繊維高度利活用技 術研究会	鈴木一之
R2. 6. 9	産技連ナノテクノロジー・ 材料部会繊維分科会 総会	(電子メール)	産技連ナノテクノ ロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R2. 7. 1	産技連 東海北陸地域産技 連 東海・北陸地域部会総 会	(書面)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	杉山直人
R2. 8. 27	平成3年度第1回デジタルも のづくり研究会	(Web)	中部経済産業局	伊藤芳典
R2. 12. 15	Digmat-AM 3Dプリンタ勉 強会 (平成3年度第3回デジ タルものづくり研究会)	(Web)	「Digmat体験勉強 会」事務局	小粥基晴
R3. 1. 15	産技連知的基盤部会電磁環 境分科会 第18回関東甲 信越静EMC研究交流会	(Web)	産技連知的基盤部 会電磁環境分科会	山田浩文
R3. 1. 15	MTEP EMCパートナーグルー プ会	(Web)	栃木県産業技術セ ンター	山田浩文
R3. 1. 27	平成26年度地域オープンイ ノベーション促進事業(航 空)に係る連絡会議(第8回)	(Web)	静岡県	松田 稔
派遣回数 10 回			派遣人数 (延べ) 10 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議

b 令和3年度（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会場	主催	派遣者氏名	
R3. 4. 28	産技連 関東甲信越静地域部会 企画調整分科会	第2回	(Web)	産技連	鈴木敬明 油上 保
R3. 7. 8		第3回	(Web)		
R3. 5. 24	つながる工場テストベッド 事業打合せ	(Web)	工業技術研究所	赤堀 篤	
R3. 5. 27	産技連LS-BT分科会	(Web)	農研機構	渡瀬隆也	
R3. 6. 10	第28回デザイン分科会	(Web)	山口県	小松 剛 易 強 多々良哲也	
R3. 6. 21	中部イノベネット運営委員会	(Web)	中部イノベネット	杉山直人	
R3. 7. 7	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	杉山直人	
R3. 7. 22	令和3年度 関東甲信越地 区食品醸造研究会	(Web)	農研機構	袴田雅俊	
派遣回数 8 回			派遣人数 (延べ)	12 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議

農研機構：(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会場	主催	派遣者氏名
R3. 7. 7	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	大川勝正
派遣回数 1 回			派遣人数 (延べ)	1 人

注) 産技連：産業技術連携推進会議

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 7. 7	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	佐野禎彦
派遣回数 1 回			派遣人数 (延べ) 1 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 28	産技連 繊維分科会 東海 地域連絡会総会	(電子メール)	産技連ナノテクノ ロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R3. 6. 3	第8回コンポジットハイウ ェイコンソーシアム カン ファレンス	(Web)	コンポジットコン ソーシアムハイウ ェイ事務局	松田 稔
R3. 6. 18	産技連 繊維分科会 総会	(電子メール)	産技連ナノテクノ ロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R3. 6. 22	炭素繊維高度利活用技術研 究会	(Web)	産技連東海・北陸 地域部会 機械・ 金属分科会 炭素 繊維高度利活用技 術研究会	鈴木一之 針幸達也 鈴木重好 森田達弥 大木結以
R3. 7. 7	2021年度産業技術連携推進 会議 東海北陸地域産業技 術連携推進会議および東海 北陸地域部会 合同会議	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	松田 稔
派遣回数 5 回			派遣人数 (延べ) 9 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議

(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

(目的)

研究者や技術者及び企業経営者等に新技術等の情報を提供するため、学会や展示会等で発表するとともに、学会誌や専門誌等に投稿する。

(実績)

令和2年度及び令和3年度の実績は以下のとおりである。(令和3年度は7月31日現在)

	令和2年度				令和3年度			
	学会等発表回数 (ポスター発表含む)	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展	学会等発表回数 (ポスター発表含む)	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展
工業技術研究所	5	3	2	6	3	2	1	0
沼津工業技術支援センター	4	2	0	10	0	0	0	0
富士工業技術支援センター	1	0	0	8	0	0	0	0
浜松工業技術支援センター	7	5	1	1	2	1	1	0
合計	17	10	3	25	5	3	2	0

a 令和2年度の学会発表及び投稿等の実績

(a) 工業技術研究所の実績 (※はポスター発表)

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R2.6.17	赤外分光イメージングを用いたPP/CNF複合材料のCNF分散性評価-試料間の数値的比較-	プラスチック成形加工学会第31回年次大会	年次大会予稿集	菅野尚子他
R2.8.6	Metrology of Non-Planar Light Sources Using Near-Field Goniometric Measurement Method	DISPLAY WEEK 2020	—	豊田敏裕
R2.11.16	切削加工面の三次元表面性状測定による反射光分布の予測	一般社団法人日本光学会	年次学術講演開予稿集	志智 亘
R2.11.24	高濃度CNFのマスターバッチを用いたPP/CNF複合材料の試作と評価	プラスチック成形加工学会成形加工シンポジア'20	シンポジア予稿集	菅野尚子他

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R2. 12. 9	体積比キャパシタンスのために最適化した脱灰コーヒー残さの水蒸気賦活	第30回日本MRS年次大会	—	菊池圭祐
学会誌及び専門誌への投稿				
R2. 10. 1	脱灰処理による竹活性炭の細孔構造変化と電気二重層キャパシタ特性の向上	—	木質炭化学会誌	菊池圭祐
R3. 3. 2	Proposal and validation of polyconvex strain-energy function for biological soft tissues	—	Bio-Medical Material and Engineering	鈴木敬明
R3. 3. 26	Efficient conversion of organic nitrogenous wastewater to nitrate solution driven by comammox Nitrospira	—	Water Research	室伏敬太
一般誌等への投稿				
R2. 7. 20	連載「果樹研究最前線」：「柑橋の機能性に着目した加工品開発」～食品の機能性を取り巻く静岡県の取組～	—	月刊誌『果実日本』8月号	浅沼俊倫 松野正幸
R3. 2. 26	令和元年度優良研究・指導業績表彰：「茶（チャ）未利用資源「茶の実油」利用技術の確立と製品化支援」	—	『食品の試験と研究』 No. 55	渡瀬隆也
展示会への出展				
R2. 11- R3. 3	静岡県工業技術研究所概要（材料部門、機械電子部門） 静岡県工業技術研究所概要（食品環境部門、ユニバーサルデザイン・工芸部門）	第10回産業振興フェア in いわた (Web)	—	鬼久保郁雄 田中仲佳
R2. 11. 24- R3. 3. 31	赤外分光イメージングを用いたCNF分散性の数値的評価 マスターバッチを使用したPP/CNF複合材の混練・成形・評価 セルロースナノファイバーによる香りの放散機構の解明 セルロースナノファイバーを添加したモルタルのひび割れと収縮	2020ふじのくにCNF総合展示会 (Web)	—	菅野尚子 志田英士 石橋佳奈 村松重緒
合計件数 16 件		学会等発表 5 件・投稿等 5 件・展示会 6 件		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R2. 9. 14	振動・動画刺激によって生起される運動錯覚減少の強化過程	日本機械学会2020年度年次大会 (Web)	—	本多正計
R2. 10. 21- R2. 10. 27	県内分離微生物のサワービール醸造特性評価	令和2年度日本醸造学会大会 (Web)	令和2年度日本醸造学会大会要旨集 (オンラインでの公開)	勝山 聡
R2. 12. 3	医療用チタン合金の最適鍛造条件探索のためのシミュレーションシステムの構築	型技術ワークショップ2020inふじのくに	型技術 2020 Vol.35 No.12	是永宗祐
R2. 12. 3	鍛造シミュレーションの高度化 —進化的計算手法と機械学習の活用—			松下五樹
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 3. 2	Proposal and validation of polyconvex strain-energy function for biological soft tissues	—	Bio-Medical Material and Engineering	船井 孝
R3. 3. 26	Efficient conversion of organic nitrogenous wastewater to nitrate solution driven by comammox Nitrospira	—	Water Research	高木啓詞
一般誌等への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
R2. 11- R3. 3	沼津工業技術支援センター概要	第10回産業振興フェアinいわた (Web)	—	大川勝正 三浦 清 岩原健二 本多正計 飯塚千佳世
R2. 12. 2	沼津工業技術支援センター概要	第15回静岡県東部テクノフォーラムin沼津高専	—	三浦 清 本多正計 飯塚千佳世
	しずおか有用微生物ライブラリを活用した静岡サワービールの開発			
	鍛造シミュレーションの高精度化に向けた取り組み			
	鍛造シミュレーションの高度化			
	携帯情報端末を活用した酸素ボンベ残量モニタの開発			

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R3. 3. 10	沼津工業技術支援センター 概要	富士山麓産学官金連携 フォーラム2020	—	三浦 清 本多正計 飯塚千佳世
	しずおか有用微生物ライブ ラリを活用した静岡サワー ビールの開発			
	鍛造シミュレーションの高 精度化に向けた取り組み			
	携帯情報端末を活用した酸 素ボンベ残量モニタの開発			
合計件数 16 件		学会等発表 4 件・投稿等 2 件・展示会 10 件		

(c) 富士工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R2. 6. 12	段ボール古紙の印刷用紙への利用の検討	2020年度繊維学会年次大会	年次大会予稿集	齊藤将人
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌等への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
R2. 10. 26	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	第1回CNF実用化セミナー (Web)	—	大竹正寿
	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —X線CTによるPP/CNF複合材の分散性評価—			田中翔悟
R2. 11- R3. 3	富士工業技術支援センター概要	第10回産業振興フェア in いわた (Web)	—	飯野 修
R2. 11. 24- R3. 3. 31	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	2020ふじのくにCNF総合展示会 (Web)	—	大竹正寿
	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発 —マイクロX線CTによるCNF複合材の評価—			田中翔悟
	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化支援研究 —繊維製品への活用の検討—			河部千香
R3. 3. 10	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センターの紹介	富士山麓産学官金連携フォーラム2020	—	本間信行
	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発—マイクロX線CTによるCNF複合材の評価—			本間信行
合計件数 9 件		学会等発表 1 件・投稿等 0 件・展示会 8 件		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R2. 9. 10- R2. 9. 11	ニッケルめっきの2層化によるラフネス構造の作製	表面技術協会第142回講演大会	—	田光伸也
R2. 9. 23	半熔融成形したAl-7%Si-0.5%Mg-1%Cu合金摩擦攪拌接合材の組織と特性	第176回 鑄造工学会全国講演大会	第176回全国講演大会講演概要集	岩澤 秀
R2. 11. 14	サブナノ秒マイクロチップレーザーを用いたレーザーピーンフォーミング (第五報 純チタンの変形モード)	第71回塑性加工連合講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
	サブナノ秒マイクロチップレーザーを用いたレーザーピーンフォーミング (第六報 走査条件の影響)			
R3. 3. 4- R3. 3. 5	金めっきによるラフネス構造の評価と撥水化の検証	表面技術協会第143回講演大会	—	田光伸也
R3. 3. 16- R3. 3. 18	サブナノ秒マイクロチップレーザーによるレーザーピーンフォーミング (第5報) - 走査方法による成形効率向上 -	2021年度精密工学会春季大会学術講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
	反射像の色の違いを利用した表面粗さ測定法の開発			中野雅晴
学会誌及び専門誌への投稿				
R2. 11. 1	塩化ニッケルめっき浴によるラフネス構造を利用した撥水性皮膜の作製	—	表面技術, 第71巻, 第11号	田光伸也
R2. 11. 25	静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター - 静岡県の「次世代自動車研究開発支援拠点」としての活動 -	—	日本塑性加工学会誌「ぶらすとす」	松田 稔
R3. 2. 20	シアン化金めっき浴によるラフネス構造の形成と撥水化	—	材料の科学と工学, 第58巻, 第1号	田光伸也
R3. 1	サブナノ秒マイクロチップレーザーによるレーザーピーンフォーミングの変形特性	—	塑性と加工	鷺坂芳弘
R3. 3. 1	Water-repellency and surface roughness with the structures of double layers using electroplated nickel deposit from a chlorid e bath	—	Transactions of the IMF, Vol. 99, No. 2	田光伸也

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
一般誌等への投稿				
R2. 8. 1	特集※型づくりと金属AM (付加製造)の最新動向 事例3 静岡県工業技術研 究所浜松工業技術支援セン ターにおけるチタンの金属 粉末射出成形(MIM)技術と AM技術への取組み	—	型技術第35巻 第8号	伊藤芳典
展示会への出展				
R2. 11- R3. 3	浜松工業技術支援センター 概要	第10回産業振興フェアi nいわた(Web)	—	松田 稔
合計件数 14 件		学会等発表 7 件・投稿等 6 件・展示会 1 件		

b 令和3年度の学会発表及び投稿等の実績（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所の実績（※はポスター発表）

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3. 5. 14	植物抽出物の有する光保護作用のスクリーニングおよび皮膚透過性改善を指向した製剤の開発	日本薬剤学会第36年会	—	袴田雅俊 三宅健司 山下里恵
R3. 5. 26	チーズ製造に適した駿河湾由来乳酸菌の選抜※	IS-BT合同研究発表会	—	袴田雅俊
R3. 5. 27	ロコモ改善加工食品の開発			渡瀬隆也
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 4. 8	Carotenoid Nostoxanthin Production by Sphingomonas sp. SG73 Isolated from Deep Sea Sediment	—	Mrine Drugs	室伏敬太
R3. 6. 15	互跪姿勢による疲労感の軽減効果—酪農業における搾乳中の作業姿勢の提案—	—	人間工学	大賀久美
一般誌等への投稿				
R3. 7. 22	スマートフォンを活用した酸素ボンベ残量モニタの開発	—	月刊 J E T I	竹居 翼
展示会への出展				
実績なし				
合計件数 6 件		学会等発表 3 件・投稿等 3 件・展示会 0 件		

(b) 浜松工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3. 5. 26	マイクロチップレーザーによる高張力鋼の残留応力と疲労特性の改善	ショットピーニング技術協会2021年度学術講演会	講演資料	鷺坂芳弘
R3. 6. 4	サブナノ秒マイクロチップレーザーを用いたレーザーピーンフォーミング (第7報 照射密度の影響)	2021年度塑性加工春季講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 6. 1	「金型づくりにおける熱ひずみ・熱変形の計測」	金型づくりにおける計測技術の再前線	型技術誌 2021年6月号	長津義之 針幸達也
一般誌等への投稿				
R3. 7. 22	共焦点顕微鏡と接触式測定機で測定した表面粗さの等価性評価	—	月刊 J E T I	中野雅晴
展示会への出展				
実績なし				
合計件数 4 件		学会等発表 2 件・投稿等 2 件・展示会 0 件		

エ その他

(ア) 産学官連携コーディネート体制強化事業

(目的)

公益財団法人静岡県産業振興財団を中心に実施する地域企業、大学、支援機関の連携強化事業に参加し、技術情報の共有化や研究開発、産業振興を図る。

(実績)

実績は下表のとおりである。

(令和3年度は7月31日現在)

項目	令和2年度	令和3年度
他支援機関等へのコーディネートによる支援	24件	25件
他支援機関からの技術支援要請への対応	58件	36件
研究開発助成事業など支援事業の申請に関わるコーディネート	61件	14件
工業技術研究所や大学等のシーズ紹介、事業への共同申請等のコーディネート	122件	38件
他支援機関等より依頼された事業評価、審査等への対応	93件	26件
新産業集積クラスターなど重点分野への技術支援	200件	52件
合計	558件	191件

注) 各項目の件数は研究所及び3支援センターの数値を合計したものである。

(イ) 資質向上研修

(目的)

研修を通して研究職員の技術や知識を向上させることで、研究の推進を図るとともに、中小企業等の技術相談に対応できるようにする。

(実績・計画)

下表のとおり資質向上研修を実施した。

(令和3年度は7月31日現在)

	令和2年度	令和3年度
	件数	件数(計画)
工業技術研究所	20件	8件(17件)
沼津工業技術支援センター	5件	1件(5件)
富士工業技術支援センター	2件	2件(4件)
浜松工業技術支援センター	9件	3件(9件)
合計	36件	14件(35件)

オ 評価・改善

(ア) 工業技術研究所

a 試験研究

令和2年度は、一般共同研究、受託研究（競争的資金（国、国立研究開発法人、財団法人等が実施する研究開発助成事業等）を含む）が約7割を占めており、地域のニーズ、産業界の要望に応える課題設定ができたものと考えている。

また、新成長戦略研究について、県中部地域に集積する照明関連産業の振興を目指して実施する「車載光学機器産業を支援する設計・評価・産業支援技術の開発」（平成30年度開始）や、生産管理の効率化や人手不足に対応するツールとして期待されるI o Tの導入促進を目指して実施する「I o T導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築」（令和元年度開始）は、順調に取り組みが進んでいる。令和2年度からは、本県の海洋生物資源を活用した産業振興を目的とした「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」に参画し、研究を進めている。

このように、企業の要望に合わせた研究や地域企業・業界の発展を支援する波及性の高い研究課題を設定し実施している。

b 技術相談等

令和2年度の技術相談は14,201件実施し、前年度に比べて1,294件減少した。現場における技術相談件数が774件で前年度と比べて994件減少しており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により企業訪問が難しくなったことが、減少の主な要因と考えられる。

各科の状況を見ると、全体の技術相談件数が減少する中でも化学材料科、機械電子科は件数が増加し、環境エネルギー科は実地指導を除いた技術相談件数が増加している。化学材料科は、セルロースナノファイバーに関する研究活動や新たに導入した機器によるものと考えられる。また機械電子科は、企業のI o T関連機器を展示し「稼動状況の見える化」、「生産工程の省力化」、「予知保全」、「遠隔監視・制御」など製造現場で役立つ仕組みを中小企業者が気軽に体験できる「I o T推進ラボ」を開設したことによる効果が大きいと考えられる。環境エネルギー科は、研究成果を活用した新たなメタン発酵に関する試験への対応や機器更新によるものと考えられる。

新型コロナウイルス感染拡大が続く中でも、中小企業への支援活動を継続的に行なうため、令和2年度にWeb会議システムを導入し、研究所へ来所することなく技術相談に対応できる環境を整備した。令和2年度は、421件のWebによる技術相談を行った。

c 依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

令和2年度の依頼試験件数は16,224件で、前年度に比べ1,546件減少した。また、収入額は18,759千円で、531千円の減少となった。これは材料強度試験、特殊試験は増加したものの、長期性能試験、定量分析が減少したことが主な要因と考えられる。

また令和2年度の機器等使用及び研修施設等については、使用時間数が12,719時間、収入は12,493千円で、前年度に比べそれぞれ14,659時間、7,857千円の減少した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、企業活動が低下したことや来所自粛要請を行ったことが依頼試験、機器等使用及び研修施設等使用の実績低下につながったものとする。

また、令和2年5月から令和3年3月まで、新型コロナウイルスによる影響を受けた企業を対象とする減免措置を実施した。減免措置の実績は、依頼試験が7,079件、4,545千円、機器等使用及び研修施設等使用が5,011件、4,148千円であった。

今後も地域企業・業界のニーズに応えられるよう機器の導入・更新、維持管理に努めていく。

d 研修生の受入れ

令和2年度は、大学から4人の研修生を受け入れ、前年度から6人減少した。今後も研究所が持つ技術を普及させるため、企業に研修生制度を紹介するとともに、就業体験研修生や大学院生も積極的に受入れていく。

e 技術情報提供

令和2年度の講習会・講演会については、15件開催し参加者数は延べ878人で、前年度よりも開催件数が9件、参加者が9人減少した。また研究発表会については、新型コロナウイルス感染防止の観点から開催を延期した令和元年度分を含め、令和2年度は2回開催した。集合型の講習会・講演会、研究発表会の開催が難しいことから、Web会議システムを活用した開催を進めている。これにより、これまで参加が難しかった遠方からの参加を受け入れることが可能になった。

講師活動は、令和2年度は12回実施し、参加者数は380人で、前年度と比較して17回、749人減少した。学会・専門誌・展示会における発表・投稿・展示については、令和2年度は16件で、前年度と比

較して32件減少した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、講習会・講演会、講師活動については、Webによる開催を推進したもののこれまで通りとはいかず、開催件数、活動回数は大きく減少した。同様に学会・展示会についても、開催が中止されるなどが影響し減少した。

今後も講習会・講演会については、地域企業・業界の要望に合わせた幅広い分野で実務的なテーマを設定し、参加者数の増加に努めるとともに、研究所の技術や研究成果を企業等へPRするよう、講師活動や学会発表・展示会出展を積極的に実施していく。

その他、ホームページによる各種情報提供に加え、2週間に一度程度の頻度で研究所や県の最新情報を記したメールマガジンを配信している。登録者数は順調に増加し1,000を超え、いち早く企業に必要な情報を提供できていると考えている。

f 産学官連携の促進

研究所全体で、産学官連携推進コーディネータの活動は、令和2年度は558件で、前年度から60件減少した。Web会議システムの活用など、新型コロナウイルスが感染拡大する中でも他支援機関等と連携した企業支援活動を継続し、新たな産業創出にむけた取り組みができていていると考えている。

また、公益財団法人静岡県産業振興財団が実施する新成長産業分野への助成事業について、助成先への技術的な助言やコーディネート活動による支援を行っている。今後も引き続き産学官連携の促進を図っていく。

(イ) 沼津工業技術支援センター

a 試験研究

機械電子科で平成28年度から開始した戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）の「骨端用プレートの高品質・低コスト成形加工技術の開発」は平成30年度までの3年間で実施し、製品の品質、低コスト化につながる成果を得た。また、平成30年度から3年間で実施した新成長戦略研究「次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発」では整形外科用インプラントの型鍛造成形を実現させる上で必要不可欠な、金型や成形条件探索等に費やす開発費を削減させることが出来る独自の設計支援技術（一部は特許出願中）を開発した。この設計支援技術を活用することで、試験用インプラントの開発期間を3年から1年へ、また試作開発費を7割以上削減させることが可能となった。このようにファルマバレープロジェクトの促進に積極的に取り組んでいる。

バイオ科では水産・海洋技術研究所が中核研究機関となっている新成長戦略研究「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」に参画し、海洋資源の有効活用についての取り組みも開始し、微生物産業の持続的発展と新たな展開に力を入れている。また、従来から取り組んできた有用微生物を用いた日本酒・ビール等の新規発酵食品開発については、開発した酵母株を企業、団体等へ分譲し順調に実績を伸ばしている。さらに令和3年度からは3年間の計画で麴に関する研究も開始し、本県の清酒造りに適した独自の麴菌株選抜基準を設定し、これまでに無かった本県独自の清酒醸造用種麴の開発フローを構築する。

競争的資金による受託研究は令和3年度は7月末までに両科各1課題計2課題、地域のニーズや産業界の要望による受託研究（競争的資金以外の研究）はバイオ科で1件実施している。

b 技術相談等

令和元年度は2,832件の実施に対して令和2年度は2,795件であり、ほぼ横ばいである。令和3年度の7月末までの実績は946件であり、年間換算すると令和3年度も同程度の件数となる見込みである。ただし、コロナ禍の影響で現地指導については令和元年度の202件に対し、令和2年度は100件と半減しており、令和3年度は7月末現在で36件となっている。一方、オンラインでの相談対応は令和2年度から開始しており、令和2年度の年間実績は17件であった。令和3年度は7月末現在で13件となっている。広く地域産業界の技術的な課題の解決などに役立つことを目標に、オンラインでの指導を積極的に取り入れながら、コロナ対策を講じたうえで、状況が許せば企業にも訪問するなどして、業界ニーズ・要望に対応していく。

c 依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

依頼試験については、令和2年度は令和元年度と比べ、件数では3,620件減少したが、収入では3,258千円の増加となった。

また、機器等使用及び研修施設等使用については、令和2年度は前年度と比べ、延べ使用時間で4,641時間、収入では960千円の増加となった。ただし、令和2年度はコロナ禍で事業活動に支障をきたした県内中小企業等を対象に機器使用料等の減免措置制度を設けたところ、収入実績で当センター分の半数はこの制度を利用した結果となった（R2. 5. 1～R3. 3. 31）。従来から、依頼試験・機器等使用

についての企業のニーズに対しては可能な限り積極的に対応するようにしている。今後も機器の維持管理や導入・更新に積極的に取り組み、地域ニーズや業界の要望に応えられるよう努めるとともに、利用促進のためにもセンターのPRを実施していく。

d 研修生の受入れ

近年、継続して一定数の受入れを行っているが、令和2年度は受入事案がなかった。令和3年度については民間企業から2名を受け入れている。コロナ禍により、企業訪問や展示会への出展が制限される可能性があるが、機会をとらえ、かつオンラインも活用しながら積極的なPRに努め、地域人材の育成に貢献していく。

e 技術情報提供

講習会・講演会については、令和2年度の実施回数は5回、参加者数は167人であった。コロナ禍により、令和2年度は全5回のうち4回をオンライン開催とした。対面方式での開催を重要視した酒造研修等は中止せざるを得なかった。コロナ禍以前とは開催方式を大きく変える必要が出ている反面、オンラインでの運用経験が十分ではないことから、情報提供方法の改善要素を模索しつつ、地域企業のニーズに対応した新技術等の情報を積極的に発信していく。

学会・専門誌・展示会への発表・投稿・出展については、令和2年度は9件であり、令和元年度より3件減少した。型技術ワークショップ2020inふじのくに（令和2年12月3、4日沼津市で開催）においては当センター職員の講演が高く評価され、（一社）型技術協会の第31回型技術協会賞「奨励賞」を受賞した。成果については今後も引き続き積極的に発信していく。

f 産学官連携の促進

産学官連携コーディネータを中心に幅広く連携を支援している。ファルマバレーセンターをはじめとした地域の支援機関との連携も深めており、令和2年度からは（一財）マリンオープンイノベーション推進機構との新たな協働が本格的に始動しており、引き続き産学官連携の促進を図っていく。

(ウ) 富士工業技術支援センター

a 試験研究

製紙科では、地域の製紙会社が共通して抱えている問題に対応するため、『古紙原料のリサイクル』の視点で課題設定を行っている。令和元年度からは特殊更紙の低密度化に取り組んでおり、原料の選択や加工条件の調整により、低密度化できる要因を明らかにし、地域の企業が実践して効果を上げている。また、令和2年度には家庭紙の水洗トイレでのほぐれやすさを評価するJISに準じた「ほぐれやすさ試験機」を開発し、協力企業から販売されている。CNF科では、セルロースナノファイバー（CNF）に関する新成長戦略研究に取り組んでいる。令和元年度からはCNFの樹脂への応用を進める新成長戦略研究を開始し、引き続き大学や地域企業との連携により、CNF複合材の実用化を目指して研究開発を進めている。また、令和元年度に開設した新たな産学官連携拠点「ふじのくにCNF研究開発センター」において、CNFラボに入居する企業3社と共同研究を進め、早期の事業化・実用化を目指している。機械電子科では、畜産技術研究所など関係機関と連携して、AI技術を応用した牛分娩検知システムの新たな実用化に日処をつけた他、得られた知見を「牛の疾病検知システム」の開発に発展させている。また、次世代自動車、航空・宇宙産業等の成長分野での利用が見込まれる異種材料接合部品の製造に利用できるプラズマ照射技術を開発した。最適な照射条件や材料毎の特性をまとめ、試作品開発に取り組む企業に開放している。

各科のテーマとも、地域のニーズ・産業界の要望に応える課題であり、地域振興に役立つものと考えている。

b 技術相談等

令和2年度の相談件数は4,732件で、令和元年度と比較してほぼ同じ（3%増）であった。コロナ禍で当初は面談が減ったものの、遠隔技術相談システムの導入で前年度と同水準に回復した。技術相談の内容としては、製紙・機械金属・電子機器等の地域産業の技術的な問題に関する相談が大半であるが、全国的に希少な専門部署である製紙とCNFは県外からの相談が合わせて645件であり、両分野全体の23%を占め、工業技術研究所全体の11%と比べて県外比率が高い。また、令和3年度の相談実績は、令和2年度同時期と比較してやや（5%）増加した。これはCNFへの関心の高まりからこの分野に関する相談が増えたことによる。今後も、企業の課題や技術的なニーズの把握に努め、要望に応じていきたい。

c 依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

依頼試験については、令和2年度は令和元年度と比較して、件数で855件（13%）減少し、金額で1,156千円（26%）減少した。これは、新型コロナウイルスによる県境をまたぐ移動制限等から県外利用者の多い製紙分野で、依頼が大幅に減少したことによるものである。令和3年度は、令和2年度の同時期より金額で327千円（29%）減少している。これは、引き続き新型コロナウイルスの影響によるものである。

機器等使用については、令和2年度は令和元年度と比較して、時間数は701時間（10%）、金額で947千円（10%）の増加であった。これは、品質管理を強化した機械電気分野の企業における分析機能付き走査型電子顕微鏡や複合マイクロX線CTの利用が多かったため、増加となった。

令和3年度は、前年の同時期とほぼ同じ2524千円で推移している。今年度4～7月は新型コロナウイルスの影響により県内企業の利用が主であったが、前年度と同水準であった。

研修施設等の使用実績については、令和2年度（88時間）は令和元年度（206時間）と比較して、118時間（57%）の減少であり、年間を通じて新型コロナウイルスによる、セミナー・講演会等の中止の影響が見られた。

d 研修生の受入れ

令和2年度は、例年実施している就業体験実習生（高校生）と製紙分野の中期技術者研修が、新型コロナウイルスの影響でいずれも中止となった。令和3年度においてもすでに中止となっている。

地元高校生への職業体験や製紙業界への技術習得のための施設として、コロナ収束後は研修を再開したいと考えている。

e 技術情報提供

講習会・講演会については、令和2年度は令和元年度と比較して、実施回数、参加人数ともに新型コロナウイルスの影響で大きく減少した。令和3年度はオンライン対応に移行できるよう進めている。

講師活動は、令和2年度は令和元年度と比較して、実施回数は同じ4回、参加人数は118名増えて341名となった。これは、CNF分野で全国規模のweb講演会に講師を派遣したことによる。

学会・専門誌・展示会における発表・投稿・展示の実績は、令和2年度は令和元年度より20件減少して9件であった。新型コロナウイルスの影響で多くの展示会が中止されたことが要因である。令和3年度も展示会の開催は不透明であるが、新成長戦略研究による研究成果の情報発信に力を入れていく。

f 産学官連携の促進

産学官連携コーディネータを中心に地域の産業支援機関や富士市・富士宮市の産業支援担当課との連携を図っている。また、沼津高専や専門家から外部研究員を招聘して指導を受け、研究員の資質向上を図るとともに、シーズ把握の場としても活用している。また、静岡県産業振興財団の新成長産業戦略的育成事業の助成案件毎の事業推進チームのメンバーとして事業化に導くための支援を行っている。今後も国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携を強化し、産総研の高度なシーズを活用し、先端産業の育成推進を積極的に進めていく。

(エ) 浜松工業技術支援センター

a 試験研究

令和2年度に実施した研究テーマは19件のうち、14件のテーマが一般共同研究、または企業等が獲得した競争的資金（国、独立行政法人、財団法人等が実施する研究開発事業等）に関連した受託研究と、競争的資金以外の受託研究に属するものであり、アウトプットを見据えたテーマ設定と、企業からの要望への柔軟な対応ができていると考えている。

それ以外の県単独研究と新成長戦略研究の5件についても、地域企業・産業の発展を支援するための技術開発及びスキルアップに繋がる研究であることから、全体的に見ても地域ニーズ・産業界ニーズに応える研究が実施できたと考えている。

b 技術相談等

令和2年度の技術相談数は10,754件（そのうち現地相談は152件）であり、令和元年度の12,192件（そのうち現地相談は356件）に対しておよそ1,500件の減少であった。

新型コロナウイルス感染拡大の対策として、年度当初に行った来客制限や出勤調整の影響によるものと考えられるが、制限等の解除後は回復傾向にあった。そのような中で、年度当初に整備された遠隔技術相談システムによりウェブ会議システムを使用した技術相談が50件あった。ウェブ会議システムによる技術相談対応の令和3年度実績（7月31日現在）は48件となっている。

今後も県西部地域産業界を中心に、相談対応による課題・問題点の解決、新製品開発等への提案に

努めることはもちろん、平行して積極的に産業界ニーズの収集と相談対応の利便性・レベルアップを図り、利用者の増加に努めていく。

c 依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

令和2年度に実施した依頼試験の件数・金額は23,206件・24,437千円（令和元年度は24,987件・19,112千円）で、件数はおよそ1,800件減少したが、金額は5,325千円と増加した。（減免対応実績も含む。）

依頼試験の件数の大幅な減少に対して金額が大きく増えたのは、単価の安価な長期性能試験が大きく減少したことに対し、単価が高価な分析が増加したことによると考えられる。「分析」の実績が上がっていることについては、研究課題として、評価・解析業務のスキルアップを図っていることも要因であると考えられる。また、減免対応（実質手数料無料）を行ったことにより、企業が分析サンプル量を増やしたことの影響も考えられる。

設備（機器・施設）使用については33,503時間・52,461千円（令和元年度は39,585時間・47,224千円）で時間数が6,082時間の減少、金額が5,237千円と増加した。依頼試験と同様に、時間数の減少に対して金額が大きく増えたのは、単価が比較的安価な長期信頼性試験関連機器の時間数が大きく減少し、使用時間で見るとは減少傾向になっているのに対し、車載機器用EMC試験施設や計測用X線CT等の、令和元年度中に導入した機器の利用実績が順調に伸びたことが要因と考えられる。

d 研修生の受入れ

令和2年度は、研修生の受入がなかった。例年実施されている技術習得のための指導は、対面で行われることがほとんどのため、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、実施するのが難しかった。

e 技術情報提供

令和2年度に実施した講習会・講演会は2回、参加者数は337名であった。（令和元年度は26回、参加者数は889名）

開催した講習会は、オンライン及びオンデマンドによる2件で、温度測定の基礎をテーマとしたもの、新規導入機器の紹介を兼ねたフーリエ変換赤外分光分析に関する動画セミナーを実施した。

講師活動は8回、参加者数は455名であった。（令和元年度は14回・525名）引き続き受講機会拡大に努めていく。

学会発表数は7件、投稿は6件であった。

展示会出展は例年、一般・企業への情報提供などを目的として積極的に参加しているが、新型コロナウイルス感染拡大のため、展示会の開催も少なかった中、1件に参加した（令和元年度は8件）。

f 産学官連携の促進

令和2年度も、企業が計画する公募競争型資金助成研究開発への申請支援及び研究・指導による協力を実施してきた。今後も産学官が連携した共同研究の推進、研究・開発成果発表会等を通じた研究者間の交流、さらには公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構が事務局として運営する浜松地域産業支援ネットワーク会議等に参画すること等により、地域の大学や各支援機関との連携強化を積極的に進めていく。

(3) 事業の根拠法令調

(工業技術研究所及び各工業技術支援センター共通)

事業名	根拠法令
新成長戦略研究事業 (H23年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ・新成長戦略研究推進要綱 ・新成長戦略研究実施要領
受託研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県工業技術研究所受託研究実施要綱 ・静岡県工業技術研究所受託研究取扱要領
外部研究員招へい事業 資質向上研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県試験研究機関における研究員の資質向上プログラムの取扱い
依頼試験・研修室等使用業務	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県工業技術研究所使用料及び手数料条例 ・静岡県工業技術研究所研修施設等の使用等に関する規則
機器等使用業務	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県工業技術研究所の設置、管理及び使用料に関する条例 ・同条例施行規則
産学官連携	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータ設置要領
連携大学院制度	<ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人静岡大学と静岡県試験研究機関との教育研究協力に関する協定 ・静岡県試験研究機関及び静岡県公立大学法人静岡県立大学の教育・研究協力に関する協定 ・静岡県と静岡理工科大学との研究分野での連携に関する協定 ・連携大学院制度における大学院生受入要領

(注)1 根拠法令は、法律、政令、規則、条例及び要綱を全て記入する。

2 法律のみ適用条項を () 内に記入する。

1 職員調

(1) 工業技術研究所(静岡)

(令和3年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	所長(技)	杉山 直人	所全体総括	□□□	□年 □月	□□□□
2	次長(事)	鈴木 加江	総務総括	□□□	□年 □月	総務課長兼務、□□□□
3	研究統括官(技)	田中 伸佳	食品科、環境科、ユニバーサルデザイン科、工芸科総括	□□□	□年 □月	
4	研究調整官(技)	中山 洋	金属材料科、化学材料科、機械電子科、照明音響科総括	□□□	□年 □月	□□□□
<総務課>						
5	総務班長(事)	糸田 界一	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□ □□□□、□□□□
6	主査(事)	執行 賀名子	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
7	主任(事)	武田 府美緒	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
8	主任(技)	一瀬 将平	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
<企画調整部>						
9	企画調整部長(技)	鈴木 敬明	部総括	□□□	□年 □月	□□□□
10	企画調整班長(技)	油上 保	企画調整	□□□	□年 □月	
11	上席研究員(技)	増井 裕久	企画調整	□□□	□年 □月	
12	主査(事)	白輪 真也	企画調整	□□□	□年 □月	
13	主任(事)	笠井 慶子	企画調整	□□□	□年 □月	
14	主任研究員(技)	望月 智文	企画調整	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
<金属材料科>						
15	科長(技)	長谷川 和宏	科総括	□□□	□年 □月	
16	上席研究員(技)	岩澤 秀	金属材料技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
17	上席研究員(技)	鈴木 洋光	金属材料技術	□□□	□年 □月	□□□□
18	主任研究員(技)	田中 宏樹	金属材料技術	□□□	□年 □月	
19	研究員(技)	望月 玲於	金属材料技術	□□□	□年 □月	
<化学材料科>						
20	科長(技)	真野 毅	科総括	□□□	□年 □月	
21	上席研究員(技)	菅野 尚子	化学材料科技術	□□□	□年 □月	
22	主任(技)	菅沼 広行	化学材料科技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
23	主任研究員(技)	稲葉 彩乃	化学材料科技術	□□□	□年 □月	
24	主任研究員(技)	小泉 雄輔	化学材料科技術	□□□	□年 □月	
<機械電子科>						
25	科長(技)	赤堀 篤	科総括	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
26	上席研究員(技)	望月 紀寿	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
27	上席研究員(技)	望月 建治	機械電子技術	□□□	□年 □月	
28	上席研究員(技)	大澤 洋文	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
29	上席研究員(技)	竹居 翼	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
30	主任研究員(技)	松下 五樹	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
31	主任研究員(技)	岩崎 清斗	機械電子技術	□□□	□年 □月	
<照明音響科>						
32	科長(技)	木野 直樹	科総括	□□□	□年 □月	
33	上席研究員(技)	豊田 敏裕	照明音響技術	□□□	□年 □月	□□□□
34	主任研究員(技)	柳原 H	照明音響技術	□□□	□年 □月	
35	研究員(技)	田代 知範	照明音響技術	□□□	□年 □月	

＜食品科＞						
36	科長(技)	山下 単恵	科総括	□□□	□年 □月	
37	上席研究員(技)	渡瀬 隆也	食品技術	□□□	□年 □月	
38	上席研究員(技)	淺沼 俊倫	食品技術	□□□	□年 □月	
39	上席研究員(技)	松野 正幸	食品技術	□□□	□年 □月	
40	主任研究員(技)	袴田 雅俊	食品技術	□□□	□年 □月	
41	主任研究員(技)	長房 秀幸	食品技術	□□□	□年 □月	
42	主任研究員(技)	石橋 佳奈	食品技術	□□□	□年 □月	
＜環境エネルギー科＞						
43	科長(技)	太田良 和弘	科総括	□□□	□年 □月	□□□□、 □□□□
44	上席研究員(技)	鈴木 光彰	環境技術	□□□	□年 □月	
45	上席研究員(技)	岡本 哲志	環境技術	□□□	□年 □月	
46	上席研究員(技)	室伏 敬太	環境技術	□□□	□年 □月	
47	研究員(技)	井口 大輔	環境技術	□□□	□年 □月	
＜ユニバーサルデザイン科＞						
48	科長(技)	小松 剛	科総括	□□□	□年 □月	□□□□、 □□□□
49	上席研究員(技)	易 強	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□年 □月	
50	主任(技)	多々良 哲也	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□年 □月	□□□□
51	主任(技)	深谷 謙一	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□年 □月	
52	主任研究員(技)	大賀 久美	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□年 □月	
＜工芸科＞						
53	科長(技)	長澤 正	科総括	□□□	□年 □月	
54	上席研究員(技)	村松 重緒	工芸技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
55	上席研究員(技)	渡邊 雅之	工芸技術	□□□	□年 □月	□□□□
56	主任(技)	八木 淳一	工芸技術	□□□	□年 □月	□□□□
57	主任研究員(技)	菊池 幸祐	工芸技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	前羽 英雄	総合案内	□□□	□年 □月	
2	会計年度任用職員	坂田 真弓	総合案内	□□□	□年 □月	
3	会計年度任用職員	長倉 加代子	総合案内	□□□	□年 □月	
4	会計年度任用職員	羽倉 伸洋	依頼試験等の補助	□□□	□年 □月	
5	会計年度任用職員	内山 辰彦	工芸技術	□□□	□年 □月	
平均年数（会計年度任用職員を除く）					□年 □月	

(2) 沼津工業技術支援センター

(令和3年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	センター長(技)	大川 勝正	センター総括	□□□	□年 □月	□□□□
2	研究統括官(技)	鬼久保 郁雄	研究業務総括	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□ □□□□
＜総務課沼津分室＞						
3	分室長(事)	神谷 弘樹	総務総括	□□□	□年 □月	□□□□ □□□□
4	主査(事)	小泉 由美	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
＜技術支援担当＞						
5	上席研究員(技)	飯塚 千佳世	企画・情報	□□□	□年 □月	□□□□
＜バイオ科＞						
6	科長(技)	岩原 健二	科総括	□□□	□年 □月	□□□□
7	主任研究員(技)	勝山 聡	バイオ技術	□□□	□年 □月	
8	主任研究員(技)	高木 啓詞	バイオ技術	□□□	□年 □月	□□□□
9	主任研究員(技)	鈴木 雅博	バイオ技術	□□□	□年 □月	
10	研究員(技)	横澤 賢	バイオ技術	□□□	□年 □月	
＜機械電子科＞						
11	科長(技)	本多 正計	科総括	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
12	上席研究員(技)	岡田 慶雄	機械電子技術	□□□	□年 □月	
13	上席研究員(技)	船井 孝	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
14	主任(技)	佐藤 廣美	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□、□□□□
15	主任研究員(技)	是永 宗祐	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	佐野 かほり	総務事務補助	□□□	□年 □月	
2	会計年度任用職員	古瀬 寿通	依頼試験・技術相談等の補助	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
平均年数(会計年度任用職員を除く)					□年 □月	

(3) 富士工業技術支援センター

(令和3年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	センター長(技)	佐野 禎彦	センター総括	□□□	□年 □月	□□□□
2	研究統括官(技)	飯野 修	研究業務総括	□□□	□年 □月	
＜総務課富士分室＞						
3	分室長(事)	高松 彰	総務総括	□□□	□年 □月	□□□□
4	主査(事)	長野 佐和子	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
＜技術支援担当＞						
5	上席研究員(技)	三宅 健司	企画・情報	□□□	□年 □月	
＜製紙科＞						
6	科長(技)	杉本 芳邦	製紙技術総括	□□□	□年 □月	
7	上席研究員(技)	深沢 博之	製紙技術	□□□	□年 □月	□□□□
8	上席研究員(技)	齊藤 和明	製紙技術	□□□	□年 □月	
＜CNF科＞						
9	科長(技)	大竹 正寿	CNF技術総括	□□□	□年 □月	
10	上席研究員(技)	口中 翔悟	CNF技術	□□□	□年 □月	
11	主任研究員(技)	河部 千香	CNF技術	□□□	□年 □月	□□□□
12	主任研究員(技)	前田 研司	CNF技術	□□□	□年 □月	□□□□
＜機械電子科＞						
13	科長(技)	本間 信行	機械電子技術総括	□□□	□年 □月	
14	上席研究員(技)	高木 誠	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
15	主任研究員(技)	中島 大介	機械電子技術	□□□	□年 □月	
16	主任研究員(技)	井出 達樹	機械電子技術	□□□	□年 □月	
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	石川 真澄	総務事務補助	□□□	□年 □月	
2	会計年度任用職員	佐野 重光	製紙に関する依頼試験・研究等の補助	□□□	□年 □月	
3	会計年度任用職員	佐野 知恵	製紙に関する依頼試験・研究補助・窓口業務	□□□	□年 □月	
4	会計年度任用職員	松永 良美	製紙に関する依頼試験・研究補助・窓口業務	□□□	□年 □月	
5	会計年度任用職員	鎌田 直樹	データ入力、書類作成補助、研究補助	□□□	□年 □月	
平均年数(会計年度任用職員等を除く)					□年 □月	

(4) 浜松工業技術支援センター

(令和3年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	センター長(技)	松田 稔	センター総括	□□□	□年 □月	□□□
2	研究統括官(技)	宮原 鐘一	研究業務総括	□□□	□年 □月	□□□、□□□、□□□
＜総務課浜松分室＞						
3	分室長(事)	橋本 充夫	総務総括	□□□	□年 □月	□□□ □□□、□□□
4	主査(事)	内藤 由衣希	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□
5	主任(事)	増田 敏之	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□、□□□
＜技術支援担当＞						
6	上席研究員(技)	及川 貴康	企画・情報	□□□	□年 □月	
＜光科＞						
7	科長(技)	植田 浩安	科総括	□□□	□年 □月	
8	上席研究員(技)	鷺坂 芳弘	光技術	□□□	□年 □月	
9	上席研究員(技)	山下 清光	光技術	□□□	□年 □月	
10	上席研究員(技)	中野 雅晴	光技術	□□□	□年 □月	
11	上席研究員(技)	志智 亘	光技術	□□□	□年 □月	
＜機械電子科＞						
12	科長(技)	渥美 博安	科総括	□□□	□年 □月	
13	上席研究員(技)	増田 康利	機械電子技術	□□□	□年 □月	
14	上席研究員(技)	山田 浩文	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□、□□□
15	上席研究員(技)	太田 幸宏	機械電子技術	□□□	□年 □月	
16	上席研究員(技)	長津 義之	機械電子技術	□□□	□年 □月	
17	上席研究員(技)	上野 貴康	機械電子技術	□□□	□年 □月	
18	主任(技)	長谷川 茂	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□
19	主任研究員(技)	鈴木 悠介	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□、□□□、□□□、□□□
＜材料科＞						
20	科長(技)	木野 浩成	科総括	□□□	□年 □月	
21	上席研究員(技)	吉岡 正行	材料技術	□□□	□年 □月	
22	上席研究員(技)	田光 伸也	材料技術	□□□	□年 □月	□□□
23	上席研究員(技)	植松 俊明	材料技術	□□□	□年 □月	□□□
24	研究員(技)	長田 貴将	材料技術	□□□	□年 □月	
25	研究員(技)	小粥 基晴	材料技術	□□□	□年 □月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
＜繊維高分子材料科＞						
26	科長(技)	鈴木 一之	科総括	□□□	□年 □月	
27	上席研究員(技)	針幸 達也	繊維高分子材料技術	□□□	□年 □月	□□□
28	上席研究員(技)	鈴木 重好	繊維高分子材料技術	□□□	□年 □月	□□□
29	主任研究員(技)	森田 達弥	繊維高分子材料技術	□□□	□年 □月	□□□、□□□、□□□
30	研究員(技)	大木 結以	繊維高分子材料技術	□□□	□年 □月	
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	竹村 博美	総務事務補助	□□□	□年 □月	
2	会計年度任用職員	岡野 加寿代	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
3	会計年度任用職員	本間 由美子	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
4	会計年度任用職員	野沢 英年	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
5	会計年度任用職員	鈴木 有一	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
6	会計年度任用職員	萩田 博	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
7	会計年度任用職員	小野田 泰之	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
8	会計年度任用職員	二口 順夫	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
9	会計年度任用職員	中川 幸子	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
10	会計年度任用職員	平山 章子	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
11	会計年度任用職員	木村 吉延	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
12	会計年度任用職員	石原 彰浩	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
平均年数 (会計年度任用職員・臨時職員を除く)					□年 □月	

職 員 の 年 齢 調

(令和3年7月31日現在)

年 齢	工業技術研究所 (静岡)		沼津工業技術 支援センター		富士工業技術 支援センター		浜松工業技術 支援センター		合 計	
	人 員	摘 要	人 員	摘 要	人 員	摘 要	人 員	摘 要	人 員	摘 要
20歳未満	人		人		人		人		0 人	
20歳以上30歳未満	3 人		1 人		1 人		3 人		8 人	
30歳以上40歳未満	16 人		4 人		5 人		3 人		28 人	
40歳以上50歳未満	9 人		2 人		1 人		8 人		20 人	
50歳以上56歳未満	20 人		4 人		4 人		6 人		34 人	
56歳以上61歳未満	5 人		3 人		5 人		8 人		21 人	
61歳以上	4 人	再任用4	1 人	再任用1	人		2 人	再任用2	7 人	
計	57 人	平均年齢 45.7 歳	15 人	平均年齢 46.3 歳	16 人	平均年齢 46.6 歳	30 人	平均年齢 48.2 歳	118 人	平均年齢 46.5 歳

健 康 管 理

1 令和3年度受診状況

区 分		内 容				合計
		工業技術研究所(静岡)	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター	
受診状況	受診者数	57人	15人	15人	28人	115人
	職員数	57人	15人	15人	29人	116人
受診率		100.0%	100.0%	100.0%	96.6%	99.1%
県平均受診率		100.0%				

(1) 未受診の理由

自己都合による未受診 1人

2 令和3年度在籍者の健康管理区分結果

(令和3年7月31日現在)

健 康 管 理 区 分		人 数				合計	
		工業技術研究所(静岡)	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター		
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	() 人	() 人	(1) 1人	() 人	(1) 1人	
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人	
B2		要経過観察	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人
C1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	(1) 1人	() 人	() 人	() 人	(1) 1人	
C2		要経過観察	() 人	() 人	() 人	() 人	() 人
D1	平常の勤務でよい。	(22) 22人	(5) 5人	(6) 6人	(8) 8人	(41) 41人	
D2		要経過観察	(17) 17人	(5) 5人	(3) 3人	(13) 13人	(38) 38人
D3		治療不要	(16) 16人	(4) 4人	(6) 6人	(7) 7人	(33) 33人
区分者計		(56) 56人	(14) 14人	(16) 16人	(28) 28人	(114) 114人	
未区分者数		() 1人	() 1人	() 0人	() 2人	() 4人	
合 計		(56) 57人	(14) 15人	(16) 16人	(28) 30人	(114) 118人	

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

面談等を行いながら業務調整の必要性や健康状態の確認を行っている。

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 3人
 ウ 自己都合による未受診 1人
 エ その他 人

職 員 配 置 調 査

(令和3年7月31日現在)

区 分	工業技術研究所										沼津工業技術支援センター				富士工業技術支援センター				浜松工業技術支援センター						合 計					
	総務課	企画調整部	金属材料科	化学材料科	機械電子科	照明音響科	食品科	環境エネルギー科	ユニバーサルデザイン科	工芸科	小 計	総務課沼津分室	技術支援担当	バイオ科	機械電子科	小 計	総務課富士分室	技術支援担当	製紙科	C N F 科	機械電子科	小 計	総務課浜松分室	技術支援担当		光科	機械電子科	材料科	繊維高分子材料科	小 計
所在地	静岡市葵区牧ヶ谷										沼津市大岡				富士市大岡				浜松市北区新都田											
担当区域																														
職員(専)	3	2									5	2					2					2								2
職員(技)	4	4	5	4	7	4	7	5	4	4	48	2	1	5	4	12	2	1	3	4	4	14	2	1	5	7	6	5	26	100
再任用職員(専)	1										1												1							2
再任用職員(技)									1	1	3				1	1										1				5
合計年度任用職員	()	(3)	()	()	()	()	()	()	(2)	(5)	(1)	(1)	()	()	(1)	(2)	(1)	()	(3)	(1)	()	(5)	(1)	(2)	()	(2)	(4)	(3)	(12)	(24)
臨時的任用職員	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
計	8	6	5	5	7	4	7	5	5	5	57	4	1	5	5	15	4	1	3	4	4	16	5	1	5	8	6	5	30	118
	()	(3)	()	()	()	()	()	()	(2)	(5)	(1)	(1)	()	()	(1)	(2)	(1)	()	(3)	(1)	()	(5)	(1)	(2)	()	(2)	(4)	(3)	(12)	(24)

*所属長は総務課に、センター長は総務課分室に、研究統括官及び研究調整官は総務課、総務課分室に記載

余 白

第 2 工業技術研究所(静岡市)

[財務事務]

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A	収 入 済 額	
		納 期 内 B	納 期 後 C
	円	円	円
款 08使用料及び手数料	21,480	24,480	0
項 01使用料	24,480	24,480	0
目 06経済産業使用料	24,480	24,480	0
13庁舎等使用料	24,480	24,480	0
款 10財産収入	443,300	443,300	0
項 01財産運用収入	144,100	144,100	0
目 01財産貸付収入	144,100	144,100	0
03建物貸付料	144,100	144,100	0
項 02財産売払収入	299,200	299,200	0
目 02物品売払収入	299,200	299,200	0
01不用品売払収入	299,200	299,200	0
備品	299,200	299,200	0
款 14諸収入	11,494,383	11,188,897	305,486
項 05受託事業収入	9,061,859	8,762,288	299,571
目 04経済産業受託事業収入	9,061,859	8,762,288	299,571
01工業技術研究受託料	9,061,859	8,762,288	299,571
項 08雑入	2,432,524	2,426,609	5,915
目 02雑入	2,432,524	2,426,609	5,915
72保険料負担金	1,416,245	1,416,245	0
非常勤職員	1,416,245	1,416,245	0
75雑収	1,016,279	1,010,364	5,915
雑収	809,714	809,714	0
特許実施料等収入	206,565	200,650	5,915
計	11,962,163	11,656,677	305,486

執 行 状 況 調

(令和 2年度)
(令和 3年 5月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合	納 期 内 収 入 率
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計	$\frac{B+C}{A-D-F}$	$\frac{B}{A-D-F}$
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	97.3
0	0	0	0	100.0	96.6
0	0	0	0	100.0	96.6
0	0	0	0	100.0	96.6
0	0	0	0	100.0	99.7
0	0	0	0	100.0	99.7
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.4
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	97.1
0	0	0	0	100.0	97.4

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	24,480	24,480	0
項 01使用料	24,480	24,480	0
目 06経済産業使用料	24,480	24,480	0
13庁舎等使用料	24,480	24,480	0
款 10財産収入	144,100	144,100	0
項 01財産運用収入	144,100	144,100	0
目 01財産貸付収入	144,100	144,100	0
03建物貸付料	144,100	144,100	0
款 14諸収入	3,499,996	3,499,312	0
項 05受託事業収入	2,008,738	2,008,738	0
目 04経済産業受託事業収入	2,008,738	2,008,738	0
01工業技術研究受託料	2,008,738	2,008,738	0
項 08雑入	1,491,258	1,490,574	0
目 02雑入	1,491,258	1,490,574	0
76保険料負担金	408,755	408,755	0
非常勤職員	408,755	408,755	0
79雑収	1,082,503	1,081,819	0
雑収	973,248	972,564	0
特許実施料等収入	109,255	109,255	0
計	3,668,576	3,667,892	0

執 行 状 況 調

(令和 3年度)
(令和 3年 7月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	684	684	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	684	684	100.0	100.0
0	0	684	684	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	684	684	100.0	100.0
0	0	684	684	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	684	684	100.0	100.0

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和2年度		令和3年度 (令和3年7月31日現在)	
	件 数		件 数	
分析等の依頼試験手数料	9,145 件 14,213,840 円		4,512 件 5,754,460 円	
機械器具及び装置使用料	7,641 時間 8,143,240 円		5,707 時間 5,184,510 円	
研修施設等使用料	54 時間 202,500 円		22 時間 74,550 円	

現 金 出 納 調

(令和2年度)
(令和3年3月31日現在)

区 分	受 入 額			払出額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚数	現金払込調書兼 領収書総額及び枚 数
	越 高	受 高	計				
02 雑入	0円	50円	50円	50円	0円	50円 1枚	50円 1枚

※令和3年度は該当なし(令和3年7月31日現在)

保 管 現 金 有 高 調

(令和3年度)
(令和3年7月31日現在)

現 金 保 管 者	区 分	金 額 円
静岡県工業技術研究所長	駐車場利用料金及び 有料道路通行料継続的資金前渡	26,700円

預 金 調

(令和3年度)
(令和3年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残高 円	摘 要
静岡銀行 安西支店	無利息型 普通預金	0560529	静岡県工業技術研究所 資金前渡者 杉山 直人	0	負担金等の支払
静岡銀行 安西支店	無利息型 普通預金	0560530	(自振口) 静岡県工業技術研究所 資金前渡者 杉山 直人	0	公共料金支払
残 高 合 計				0	

調 査 受 付 等 券 郵

(令和3年7月31日現在)
(単位:枚、円)

区分	種類	2 年 度						3 年 度						備 考		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差 引 現 在 高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
	1円券	4	4	0	0	3	3	1	1	0	0	1	1	0	0	書類送用 及び返信用
	2円券	14	28	0	0	0	0	14	28	0	0	3	6	11	22	"
	5円券	5	25	0	0	0	0	5	25	0	0	0	0	5	25	"
	10円券	40	400	0	0	11	110	29	290	0	0	5	50	24	240	"
	63円券	3	189	1	63	3	189	1	63	0	0	1	63	0	0	"
	84円券	27	2,268	1	84	12	1,008	16	1,344	0	0	0	0	16	1,344	"
	120円券	14	1,680	0	0	0	0	14	1,680	0	0	0	0	14	1,680	"
	140円券	15	2,100	0	0	2	280	13	1,820	0	0	3	420	10	1,400	"
	200円券	29	5,800	0	0	1	200	28	5,600	0	0	0	0	28	5,600	"
	205円券	5	1,025	0	0	0	0	5	1,025	0	0	0	0	5	1,025	"
	ハガキ (50円)	1	50	0	0	0	0	1	50	0	0	0	0	1	50	通信用
	ハガキ (52円)	1	52	0	0	0	0	1	52	0	0	0	0	1	52	"
	往復ハガキ (100円)	6	600	0	0	0	0	6	600	0	0	0	0	6	600	"
	往復ハガキ (104円)	3	312	0	0	0	0	3	312	0	0	0	0	3	312	"
計			14,533		147		1,790		12,890		0		510		12,350	
タクシ-	静岡市タクシ-事業(協)	18		0		0		18		0		0		18		出張用
チケット						0						0				無効処理分
計		18		0		0		18		0		0		18		

歳入歳出外現金調

(令和2年度)

区 分	越高	受高	払高	残高	摘要
保証金	円 17,211	円 0	円 2,801	円 14,410	
計	17,211	0	2,801	14,410	

歳入歳出外現金調

(令和3年度)

(令和3年7月31日現在)

区 分	越高	受高	払高	残高	摘要
保証金	円 14,410	円 0	円 0	円 14,410	
計	14,410	0	0	14,410	

歳出予算執行状況調

(令和 2年度)
(令和 3年 5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 04 経営管理費	8,124,145	8,124,145	0	
項 01 経営管理費	8,124,145	8,124,145	0	
目 01 一般総務費	2,952,755	2,952,755	0	
01 報酬	1,258,041	1,258,041	0	
03 非常勤職員報酬	1,258,041	1,258,041	0	
03 職員手当等	284,658	284,658	0	
01 その他の職員手当等	284,658	284,658	0	
04 共済費	1,356,664	1,356,664	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,356,664	1,356,664	0	
09 旅費	53,392	53,392	0	
01 その他の旅費	53,392	53,392	0	
目 03 行政経営費	2,608,390	2,608,390	0	
09 旅費	111,390	111,390	0	
02 普通旅費	111,390	111,390	0	
15 工事請負費	2,497,000	2,497,000	0	
目 05 資産経営費	2,563,000	2,563,000	0	
15 工事請負費	2,563,000	2,563,000	0	
款 08 経済産業費	343,373,432	343,373,432	0	
項 01 経済産業費	11,460	11,460	0	
目 02 経済産業企画費	11,460	11,460	0	
09 旅費	11,460	11,460	0	
02 普通旅費	11,460	11,460	0	
項 02 産業革新費	145,913,824	145,913,824	0	
目 01 産業革新費	145,913,824	145,913,824	0	
08 報償費	82,000	82,000	0	
01 その他の報償費	82,000	82,000	0	
09 旅費	342,870	342,870	0	
01 その他の旅費	25,670	25,670	0	

一般会計

(令和 2年度)
(令和 3年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
02 普通旅費	317,200	317,200	0	
11 需用費	22,368,855	22,368,855	0	
01 その他の需用費	22,368,855	22,368,855	0	
12 役務費	2,922,444	2,922,444	0	
13 委託料	27,086,005	27,086,005	0	
18 備品購入費	92,674,670	92,674,670	0	
19 負担金、補助及び交付金	436,980	436,980	0	
項 04 商工業費	197,448,148	197,448,148	0	
目 01 商工業費	197,448,148	197,448,148	0	
01 報酬	6,277,196	6,277,196	0	
03 非常勤職員報酬	6,277,196	6,277,196	0	
03 職員手当等	1,290,513	1,290,513	0	
01 その他の職員手当等	1,290,513	1,290,513	0	
04 共済費	2,431,949	2,431,949	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,431,949	2,431,949	0	
08 報償費	836,175	836,175	0	
01 その他の報償費	836,175	836,175	0	
09 旅費	625,690	625,690	0	
01 その他の旅費	239,330	239,330	0	
02 普通旅費	386,360	386,360	0	
11 需用費	56,834,490	56,834,490	0	
01 その他の需用費	56,832,670	56,832,670	0	
02 食糧費	1,820	1,820	0	
12 役務費	5,808,835	5,808,835	0	
13 委託料	55,216,903	55,216,903	0	
14 使用料及び賃借料	6,620,997	6,620,997	0	
15 工事請負費	5,542,900	5,542,900	0	
18 備品購入費	55,619,500	55,619,500	0	

一般会計

(令和 2年度)
(令和 3年 5月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
19負担金、補助及び交付金	326,400	326,400	0	
27公課費	16,600	16,600	0	
計	351,497,577	351,497,577	0	

歳出予算執行状況調

(令和 3年度)
(令和 3年 7月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 04 経営管理費	6,192,022	776,294	5,415,728	
項 01 経営管理費	6,192,022	776,294	5,415,728	
目 01 一般総務費	2,969,022	776,294	2,192,728	
01 報酬	1,259,000	313,038	945,962	
03 非常勤職員報酬	1,259,000	313,038	945,962	
03 職員手当等	280,000	139,592	140,408	
01 その他の職員手当等	280,000	139,592	140,408	
04 共済費	1,376,022	310,385	1,065,637	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,376,022	310,385	1,065,637	
08 旅費	54,000	13,279	40,721	
01 その他の旅費	54,000	13,279	40,721	
目 05 資産経営費	3,223,000	0	3,223,000	
14 工事請負費	3,223,000	0	3,223,000	
款 06 スポーツ・文化観光費	4,000	2,360	1,640	
項 02 スポーツ費	4,000	2,360	1,640	
目 01 スポーツ費	4,000	2,360	1,640	
08 旅費	4,000	2,360	1,640	
02 普通旅費	4,000	2,360	1,640	
款 08 経済産業費	323,613,390	38,353,831	285,259,559	
項 01 経済産業費	1,012,000	2,140	1,009,860	
目 02 経済産業企画費	1,012,000	2,140	1,009,860	
08 旅費	12,000	2,140	9,860	
02 普通旅費	12,000	2,140	9,860	
12 委託料	1,000,000	0	1,000,000	
項 02 産業革新費	127,164,000	13,624,606	113,539,394	
目 01 産業革新費	127,164,000	13,624,606	113,539,394	
07 報償費	200,000	0	200,000	
01 その他の報償費	200,000	0	200,000	

一般会計

(令和 3年度)
(令和 3年 7月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
08 旅費	4,032,000	9,080	4,022,920	
01 その他の旅費	170,000	0	170,000	
02 普通旅費	3,862,000	9,080	3,852,920	
10 需用費	19,129,000	2,870,931	16,258,069	
01 その他の需用費	19,129,000	2,870,931	16,258,069	
11 役務費	4,296,000	93,650	4,202,350	
12 委託料	35,715,000	807,345	34,907,655	
14 工事請負費	4,514,000	0	4,514,000	
17 備品購入費	56,863,000	9,664,600	47,198,400	
18 負担金、補助及び交付金	2,415,000	179,000	2,236,000	
項 04 商工業費	195,437,390	24,727,085	170,710,305	
目 01 商工業費	195,437,390	24,727,085	170,710,305	
01 報酬	4,707,000	1,578,763	3,128,237	
03 非常勤職員報酬	4,707,000	1,578,763	3,128,237	
03 職員手当等	1,043,000	693,433	349,567	
01 その他の職員手当等	1,043,000	693,433	349,567	
04 共済費	1,798,000	383,422	1,414,578	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,798,000	383,422	1,414,578	
07 報償費	1,879,250	103,000	1,776,250	
01 その他の報償費	1,879,250	103,000	1,776,250	
08 旅費	2,334,960	108,630	2,226,330	
01 その他の旅費	704,000	45,400	658,600	
02 普通旅費	1,630,960	63,230	1,567,730	
10 需用費	49,084,119	9,047,087	40,037,032	
01 その他の需用費	49,077,119	9,047,087	40,030,032	
02 食糧費	7,000	0	7,000	
11 役務費	4,187,061	478,156	3,708,905	
12 委託料	66,859,000	10,129,680	56,729,320	

一般会計

(令和 3年度)
(令和 3年 7月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
13 使用料及び賃借料	8,537,000	1,946,914	6,590,086	
14 工事請負費	3,000,000	0	3,000,000	
17 備品購入費	51,315,000	0	51,315,000	
18 負担金、補助及び交付金	656,000	253,000	403,000	
26 公課費	37,000	5,000	32,000	
計	329,809,412	39,132,485	290,676,927	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和元年度	令和2年度	左のうち、前年度からの繰越額
(13) 委託料	一般会計	くらし・環境費	環境費	環境政策費	77,000		0
		経済産業費	産業革新費	産業革新費	8,939,694	27,086,005	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	57,725,548	55,216,903	0
計					66,742,242	82,302,908	0
(15) 工事請負費	一般会計	経営管理費	経営管理費	管財費	1,906,660		0
		経営管理費	経営管理費	行政経営費		2,497,000	0
		経営管理費	経営管理費	資産経営費		2,563,000	0
		経済産業費	商工業費	商工業費		5,542,900	0
計				1,906,660	10,602,900	0	
(17) 公有財産購入費					-	-	-
計					-	-	-
(18) 備品購入費	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	58,880,565	92,674,670	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	29,210,280	55,619,500	0
計					88,090,845	148,294,170	0
(19) 負担金、補助金及び交付金	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	1,685,036	436,980	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	614,086	326,400	0
計					2,299,122	763,380	0
(22) 補償、補填及び賠償金					-	-	-
計					-	-	-

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和3年度)

(令和3年7月31日現在)

節名	会計	款	項	日	執行済額 (円)	
						うち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	経済産業費	経済産業費	経済産業企画費	0	0
		経済産業費	産業革新費	産業革新費	807,345	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	10,129,680	0
計					10,937,025	0
(14) 工事請負費	一般会計	経営管理費	経営管理費	資産経営費	0	0
		経済産業費	産業革新費	産業革新費	0	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					-	-
計					-	-
(17) 備品購入費	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	9,664,600	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	0	0
計					9,664,600	0
(18) 負担金、補助金及び交付金	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	179,000	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	253,000	0
計					432,000	0
(21) 補償、補填及び賠償金					-	-
計					-	-

余 白

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
1	設備総合管理業務	㈱メンテックカンザイ	14,564,000	14,135,000		14,135,000	一般
2	庁舎清掃業務	静岡ビル保善㈱	8,844,000	8,580,000		8,580,000	一般
3	排水処理施設維持管理業務	ニッケン消毒㈱	6,571,400	5,940,000		5,940,000	一般
4	空調設備等保守点検業務	㈱ユアーズ静岡	5,892,000	5,808,000		5,808,000	一般
5	自家発電設備保守点検業務	㈱明電エンジニアリング静岡支店	836,000	836,000		836,000	随契
6	庁舎警備業務	セコム㈱	1,485,000	1,485,000		1,485,000	随契

関 する 調

(令和2年度)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 5/29 R 2/ 6/30 R 2/ 7/30 R 2/ 8/31 R 2/ 9/30 R 2/10/30 R 2/11/30 R 2/12/23 R 3/ 1/29 R 3/ 2/26 R 3/ 3/26 R 3/ 4/28	1,023,000 1,347,500 1,083,500 1,015,300 1,265,000 1,069,200 1,012,000 1,177,000 1,012,000 1,083,500 1,177,000 1,870,000 14,135,000	電気、空調、給排水衛生設備の運転管理及び環境測定等の業務	
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 5/29 R 2/ 6/30 R 2/ 7/30 R 2/ 8/31 R 2/ 9/30 R 2/10/30 R 2/11/30 R 2/12/23 R 3/ 1/29 R 3/ 2/26 R 3/ 3/26 R 3/ 4/28	715,000 715,000 715,000 715,000 715,000 715,000 715,000 715,000 715,000 715,000 715,000 715,000 8,580,000	庁内の日常清掃及び床ワックスがけ等の定期清掃業務	
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 5/29 R 2/ 6/30 R 2/ 7/30 R 2/ 8/31 R 2/ 9/30 R 2/10/30 R 2/11/30 R 2/12/23 R 3/ 1/29 R 3/ 2/26 R 3/ 3/26 R 3/ 4/28	495,000 495,000 495,000 495,000 495,000 495,000 495,000 495,000 495,000 495,000 495,000 495,000 5,940,000	特殊排水処理及び浄化槽維持管理業務	
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 7/30 R 2/10/30 R 3/ 1/29 R 3/ 4/28	1,452,000 1,452,000 1,452,000 1,452,000 5,808,000	空調用冷温水発生機及び恒温恒湿室用パッケージエアコン等の保守点検業務	
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 3/ 4/28	836,000	非常用自家発電設備の保守点検業務	随契1号 (少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 5/29 R 2/ 6/30 R 2/ 7/30 R 2/ 8/31 R 2/ 9/30 R 2/10/30 R 2/11/30 R 2/12/23 R 3/ 1/29 R 3/ 2/26 R 3/ 3/26 R 3/ 4/28	123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 1,485,000	庁舎の警備 (機械警備) 業務	随契2号 (不適)

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
7	エレベータ保守点検業務	東芝エレベータ㈱静岡支店	1,795,200	1,795,200		1,795,200	随契
8	消防用設備保守点検業務	鈴与技研㈱	550,000	550,000		550,000	随契
9	廃棄物運搬処理業務	㈱岩本商店	660,000	660,000		660,000	随契
10	構内電話交換設備等保守点検業務	静岡電話工業㈱	765,600	765,600		765,600	随契
11	自動扉保守点検業務	中日本オート・ドア㈱	104,500	104,500		104,500	随契
12	排煙トップライト保守点検業務	ナブコシステム㈱静岡支店	107,800	107,800		107,800	随契
13	ネットワークプリンタ保守業務	リコージャパン㈱中部営業本部静岡支社	136,950	136,950		136,950	随契
14	しずおかデザイン情報サービス保守業務	㈱オフィスタグ	105,600	105,600		105,600	随契
15	ホームページメールマガジン機能保守業務	㈱オフィスタグ	99,000	99,000		99,000	随契

関 する 調

(令和2年度)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 5/29	149,600	エレベータの保守及び定期点検業務	随契2号 (不適)
	R 2/ 6/30	149,600		
	R 2/ 7/30	149,600		
	R 2/ 8/31	149,600		
	R 2/ 9/30	149,600		
	R 2/10/30	149,600		
	R 2/11/30	149,600		
	R 2/12/23	149,600		
	R 3/ 1/29	149,600		
	R 3/ 2/26	149,600		
	R 3/ 3/26	149,600		
R 3/ 4/28	149,600			
	1,795,200			
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/10/30	275,000	消防用設備の保守点検業務	随契1号 (少額)
	R 3/ 4/28	275,000		
		550,000		
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/10/30	330,000	一般廃棄物の定期的運搬処理業務	随契1号 (少額)
	R 3/ 4/28	330,000		
		660,000		
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 5/29	63,800	構内電話交換設備等の保守及び定期点検業務	随契1号 (少額)
	R 2/ 6/30	63,800		
	R 2/ 7/30	63,800		
	R 2/ 8/31	63,800		
	R 2/ 9/30	63,800		
	R 2/10/30	63,800		
	R 2/11/30	63,800		
	R 2/12/23	63,800		
	R 3/ 1/29	63,800		
	R 3/ 2/26	63,800		
	R 3/ 3/26	63,800		
R 3/ 4/28	63,800			
	765,600			
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 3/ 4/28	104,500	入口自動ドアの保守点検業務	随契1号 (少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 3/ 4/28	107,800	非常用排煙トップライトの保守点検業務	随契1号 (少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 3/ 4/28	136,950	SD0その他所内リコー製ネットワークプリンタの保守点検業務	随契1号 (少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 5/29	8,800	しずおかデザイン情報サービスの保守業務	随契1号 (少額)
	R 2/ 6/30	8,800		
	R 2/ 7/30	8,800		
	R 2/ 8/31	8,800		
	R 2/ 9/30	8,800		
	R 2/10/30	8,800		
	R 2/11/30	8,800		
	R 2/12/23	8,800		
	R 3/ 1/29	8,800		
	R 3/ 2/26	8,800		
	R 3/ 3/26	8,800		
R 3/ 4/28	8,800			
	105,600			
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 5/29	8,250	ホームページメールマガジン機能の保守業務	随契1号 (少額)
	R 2/ 6/30	8,250		
	R 2/ 7/30	8,250		
	R 2/ 8/31	8,250		
	R 2/ 9/30	8,250		
	R 2/10/30	8,250		
	R 2/11/30	8,250		
	R 2/12/23	8,250		
	R 3/ 1/29	8,250		
	R 3/ 2/26	8,250		
	R 3/ 3/26	8,250		
R 3/ 4/28	8,250			
	99,000			

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
16	機械構造解析装置保守業務	㈱日立ソリューションズ	903,364	903,364		903,364	随契
17	視認性評価システムソフトウェア保守業務	㈱インテグラ	743,047	743,047		743,047	随契
18	香気成分分析装置保守点検業務	協立電機㈱	1,148,400	1,148,400		1,148,400	随契
19	三次元データ処理・解析システム保守業務	㈱モアソングジャパンソリューション事業部	660,000	660,000		660,000	随契
20	三次元データ構築システム保守業務	㈱モアソングジャパンソリューション事業部	384,230	384,230		384,230	随契
21	光学・照明設計ソフトウェア保守業務	㈱モアソングジャパンソリューション事業部	773,850	773,850		773,850	随契
22	走査電子顕微鏡保守点検業務	オザワ科学㈱静岡営業所	709,060	709,060		709,060	随契
23	非接触表面性状測定機保守点検業務	アメテック㈱	622,600	622,600		622,600	随契
24	ホームページバナー更新業務	(有)オフィスタグ	27,500	27,500		27,500	随契
25	不要品廃棄処分業務	(有)山一カレット	149,600	149,600		149,600	随契
26	庁舎樹木管理業務	不二見造園土木㈱	2,409,000	2,090,000		2,090,000	一般
27	化粧品等関連産業応用技術の開発業務	静岡県公立大学法人	11,198,000	11,198,000		11,198,000	随契
28	電子線マイクロアナライザ絶縁油分析業務	東海理機㈱	93,500	93,500		93,500	随契
29	機械電子科口機器処分業務	(有)山一カレット	511,500	372,721		372,721	随契
30	ガスクロマトグラフ保守点検業務	協立電機㈱	1,262,800	1,262,800		1,262,800	随契
31	万能引張試験機ロードセル校正点検業務	オザワ科学㈱静岡営業所	348,700	348,700		348,700	随契
32	全有機体炭素・窒素計点検業務	東海理機㈱	398,706	398,706		398,706	随契
33	ホームページ問合せフォーム及び機器データベース改修業務	(有)オフィスタグ	431,500	431,500		431,500	随契
34	クロマトグラフ点検調整業務	㈱ヨシキ	821,700	821,700		821,700	随契
35	触針式表面粗さ形状測定機点検業務	アメテック㈱テララーホブソン事業部	335,500	335,500		335,500	随契
36	X線分析顕微鏡処分業務	㈱岩本商店	334,400	218,240		218,240	随契
37	クロマトグラフ点検調整業務	㈱ヨシキ	887,700	887,700		887,700	随契
38	窒素ガス発生装置点検業務	㈱ヨシキ	676,061	676,061		676,061	随契
39	微量窒素分析装置保守点検業務	㈱ヨシキ	297,000	297,000		297,000	随契
40	化粧品原料の残留農薬測定に係る業務	(一財)日本食品分析センター	341,000	341,000		341,000	随契
41	ポータブルIoT導入バックシステム改良業務	㈱テクノサイト	9,592,000	9,592,000		9,592,000	随契
42	密閉式石綿発生装置収集・運搬業務	静和エンバイロメント㈱	88,000	88,000		88,000	随契
43	密閉式石綿発生装置処分業務	㈱ヤマゼン	71,500	71,500		71,500	随契
44	ネガティブ染色法による乳液観察業務	㈱花市電子顕微鏡技術研究所	150,040	150,040		150,040	随契
45	廃棄備品(重量物)処分	(有)山一カレット	225,500	225,500		225,500	随契
46	廃棄備品等処分料	㈱静岡資源	170,214	170,214		170,214	随契
47	不燃物収集運搬	㈱岩本商店	35,200	35,200		35,200	随契

関する調

(令和2年度)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/10/30 R 3/ 1/29 R 3/ 4/28	225,841 225,841 225,841 677,523	機械構造解析装置の保守業務	随契1号(少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 3/ 4/28	743,047	研究用ソフトウェアの保守業務	随契1号(少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 3/ 4/28	1,148,400	香気成分分析装置の保守点検業務	随契2号(不適)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 4/28	660,000	三次元データ処理・解析システムの保守業務	随契1号(少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 4/28	384,230	三次元データ構築システムの保守業務	随契1号(少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 2/ 4/28	773,850	光学・照明設計ソフトウェアの保守業務	随契1号(少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 3/ 4/28	709,060	走査電子顕微鏡の保守点検業務	随契1号(少額)
R2.4.1 ~ R3.3.31	R 3/ 4/28	622,600	非接触表面性状測定機の保守点検業務	随契1号(少額)
R2.6.17 ~ R2.8.31	R 2/ 8/17	27,500	ホームページバナーの更新業務	随契1号(少額)
R2.6.26 ~ R2.7.31	R 2/ 8/27	149,600	不要品の廃棄処分業務	随契1号(少額)
R2.7.9 ~ R2.11.30	R 2/12/11	2,090,000	庁舎樹木の剪定、施肥及び薬剤散布業務	
R2.7.10 ~ R3.3.31	R 2/ 8/13	11,198,000	化粧品等関連産業応用技術の開発業務	随契2号(不適)
R2.7.27 ~ R2.9.30	R 2/ 9/28	93,500	電子線マイクロアナライザ絶縁油分析業務	随契1号(少額)
R2.9.10 ~ R2.9.30	R 2/10/20	372,721	機械電子科旧機器処分業務	随契1号(少額)
R2.10.1 ~ R3.3.31	R 3/ 4/28	1,262,800	ガスクロマトグラフ保守点検業務	随契2号(不適)
R2.10.21 ~ R3.1.29	R 3/ 1/29	348,700	万能引張試験機ロードセル校正点検業務	随契1号(少額)
R2.10.22 ~ R2.12.28	R 2/11/24	398,706	全有機体炭素・窒素計点検業務	随契1号(少額)
R2.10.29 ~ R3.3.12	R 3/ 1/ 5	434,500	ホームページ問合せフォーム及び機器データベース改修業務	随契1号(少額)
R2.11.2 ~ R3.1.29	R 3/ 2/ 8	821,700	クロマトグラフ点検調整業務	随契1号(少額)
R2.11.18 ~ R3.1.29	R 3/ 1/ 8	335,500	触針式表面粗さ形状測定機点検業務	随契1号(少額)
R2.12.7 ~ R3.1.29	R 3/ 2/18	218,240	X線分析顕微鏡処分業務	随契1号(少額)
R2.12.23 ~ R3.2.26	R 3/ 2/ 8	887,700	クロマトグラフ点検調整業務	随契1号(少額)
R2.12.23 ~ R3.2.26	R 3/ 2/ 8	676,061	窒素ガス発生装置点検業務	随契1号(少額)
R2.12.24 ~ R3.2.26	R 3/ 3/15	297,000	微量窒素分析装置保守点検業務	随契1号(少額)
R3.1.14 ~ R3.2.26	R 3/ 3/10	341,000	化粧品原料の残留農薬測定に係る業務	随契1号(少額)
R3.1.26 ~ R3.3.10	R 3/ 4/12	9,592,000	ポータブルIoT導入バックシステム改良業務	随契2号(不適)
R3.1.28 ~ R3.3.31	R 3/ 4/20	88,000	密閉式石棉発生装置収集・運搬業務	随契1号(少額)
R3.1.28 ~ R3.3.31	R 3/ 4/20	71,500	密閉式石棉発生装置処分業務	随契1号(少額)
R3.2.10 ~ R3.3.5	R 3/ 3/18	150,040	ネガティブ染色法による乳液観察業務	随契1号(少額)
R3.2.19 ~ R3.3.31	R 3/ 4/ 7	225,500	廃棄備品(重量物)処分	随契1号(少額)
R3.2.22 ~ R3.3.31	R 3/ 4/ 7	170,214	廃棄備品等処分料	随契1号(少額)
R3.3.1 ~ R3.3.31	R3.4.16	35,200	不燃物収集運搬	随契1号(少額)

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
48	不燃物等処分	都商事㈱	99,550	99,550		99,550	随契
49	廃薬品(シアン系化合物等)処分業務	㈱大洋サービス	168,300	168,300		168,300	随契
50	廃薬品等収集運搬処理業務	㈱マルサワ	417,172	417,172		417,172	随契
51	「IoT推進ラボ紹介パンフレット」制作業務	㈱エイエイビー静岡支店	165,000	165,000		165,000	随契
	事務関係 計	51件	80,204,244	78,188,908	0	78,188,908	
52	一級河川藁科川排水管撤去工事に伴う測量設計業務	服部エンジニア㈱	4,235,000	4,125,000	△ 11,000	4,114,000	指名
	工事関係 計	1件	4,235,000	4,125,000	△ 11,000	4,114,000	
	合計	52件	84,439,244	82,313,908	△ 11,000	82,302,908	

関する調

(令和2年度)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
		円		
R3.3.1 ~ R3.3.31	R3.4.28	99,550	不燃物等処分	随契1号(少額)
R3.3.2 ~ R3.3.31	R3/4/26	168,300	廃薬品(シアン系化合物等)処分業務	随契1号(少額)
R3.3.2 ~ R3.3.31	R3/4/26	417,172	廃薬品等収集運搬処理業務	随契1号(少額)
R3.3.15 ~ R3.3.31	R3/4/9	165,000	「IoT推進ラボ紹介パンフレット」制作業務	随契1号(少額)
		77,963,067		
R2.11.5 ~ R3.3.15	R3.4.21	4,114,000	一級河川藁科川排水管撤去工事に伴う測量設計業務	
		4,114,000		
		82,077,067		

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
1	設備総合管理業務	㈱メンテックカンザイ	14,852,200	14,410,000		14,410,000	一般
2	庁舎清掃業務	静岡ビル保善㈱	9,040,900	9,020,000		9,020,000	一般
3	排水処理施設維持管理業務	ニッケン消毒㈱	6,431,700	6,270,000		6,270,000	一般
4	空調設備等保守点検業務	㈱ユアーズ静岡	6,083,000	5,940,000		5,940,000	一般
5	自家発電設備保守点検業務	㈱明電エンジニアリング静岡支店	836,000	836,000		836,000	随契
6	庁舎警備業務	セコム㈱	1,485,000	1,485,000		1,485,000	随契

関 する 調

(令和3年度)
(令和3年7月31日現在)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30	1,034,000 1,358,500 1,091,500 3,487,000	電気、空調、給排水衛生設備の運転管理及び環境測定等の業務	
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/28 R 3/ 6/29 R 3/ 7/30	792,000 748,000 748,000 2,288,000	庁内の日常清掃及び床ワックスがけ等の定期清掃業務	
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30	522,500 522,500 522,500 1,567,500	特殊排水処理及び浄化槽維持管理業務	
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 7/30	1,485,000 1,485,000	空調用冷温水発生機及び恒温恒湿室用パッケージエアコン等の保守点検業務	
R3.4.1 ~ R4.3.31			非常用自家発電設備の保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30	123,750 123,750 123,750 371,250	庁舎の警備 (機械警備) 業務	随契2号 (不適)

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
7	エレベータ保守点検業務	東芝エレベータ㈱静岡支店	1,795,200	1,795,200		1,795,200	随契
8	消防用設備保守点検業務	鈴与技研㈱	550,000	550,000		550,000	随契
9	廃棄物運搬処理業務	㈱岩本商店	660,000	660,000		660,000	随契
10	構内電話交換設備等保守点検業務	静岡電話工業㈱	765,600	765,600		765,600	随契
11	自動扉保守点検業務	中日本オート・ドア㈱	104,500	104,500		104,500	随契
12	排煙トップライト保守点検業務	ナブコシステム㈱静岡支店	107,800	107,800		107,800	随契
13	ネットワークプリンタ保守業務	リコージャパン㈱中部営業本部静岡支社	136,950	136,950		136,950	随契
14	しずおかデザイン情報サービス保守業務	㈲オフィスタグ	105,600	105,600		105,600	随契
15	ホームページメールマガジン機能保守業務	㈲オフィスタグ	99,000	99,000		99,000	随契

関 する 調

(令和3年度)
(令和3年7月31日現在)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30	149,600 149,600 149,600 448,800	エレベータの保守及び定期点検業務	随契2号 (不適)
R3.4.1 ~ R4.3.31			消防用設備の保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			一般廃棄物の定期的運搬処理業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30	63,800 63,800 63,800 191,400	構内電話交換設備等の保守及び定期点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			入口自動ドアの保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			非常用排煙トップライトの保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			SD0その他所内リコー製ネットワークプリンタの保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/28 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30	8,800 8,800 8,800 26,400	しずおかデザイン情報サービスの保守業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/28 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30	8,250 8,250 8,250 24,750	ホームページメールマガジン機能の保守業務	随契1号 (少額)

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
16	機械構造解析装置保守業務	㈱日立ソリューションズ	958,320	958,320		958,320	随契
17	視認性評価システムソフトウェア保守業務	㈱インテグラ	743,047	743,047		743,047	随契
18	香気成分分析装置保守点検業務	協立電機㈱	1,188,000	1,188,000		1,188,000	随契
19	光学・照明設計ソフトウェア保守業務	㈱モアソンジャパンソリューション営業本部	807,345	807,345		807,345	随契
20	走査電子顕微鏡保守点検業務	オザワ科学㈱静岡営業所	709,060	709,060		709,060	随契
21	非接触表面性状測定機保守点検業務	アメテック㈱	622,600	622,600		622,600	随契
22	蛍光X線分析装置保守点検業務	オザワ科学㈱静岡営業所	618,200	618,200		618,200	随契
23	ガスクロマトグラフ保守点検業務	協立電機㈱	1,980,000	1,980,000		1,980,000	随契
24	庁舎樹木管理業務	源平造園建設㈱	1,279,300	1,210,000		1,210,000	一般
25	微細加工試料製作業務	メガロ化工㈱	1,430,000	1,430,000		1,430,000	随契
26	化粧品等関連産業応用技術の開発業務	静岡県公立大学法人	11,198,000	11,198,000		11,198,000	随契
27	二次元データ処理・解析システム保守業務	㈱モアソンジャパンソリューション営業本部	660,000	660,000		660,000	随契
	事務関係 計	27件	65,247,322	64,410,222	0	64,410,222	
28	一級河川葦科川排水管撤去工事支援業務	(一社)ふじのくにづくり支援センター	669,900	669,900		669,900	随契
	工事関係 計	1件	669,900	669,900	0	669,900	
	合計	28件	65,917,222	65,080,122	0	65,080,122	

関する調

(令和3年度)
(令和3年7月31日現在)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R3.4.1 ~ R4.3.31		0	機械構造解析装置の保守業務	随契1号(少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			研究用ソフトウェアの保守業務	随契1号(少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			香気成分分析装置の保守点検業務	随契2号(不適)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 4/28	807,345	光学・照明設計ソフトウェアの保守業務	随契1号(少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			走査電子顕微鏡の保守点検業務	随契1号(少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			非接触表面性状測定機の保守点検業務	随契1号(少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			蛍光X線分析装置保守点検業務	随契1号(少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31			ガスクロマトグラフ保守点検業務	随契2号(不適)
R3.7.8 ~ R3.11.30			庁舎樹木の剪定、施肥及び薬剤散布業務	
R3.7.14 ~ R3.10.29			微細加工試料製作業務	随契2号(不適)
R3.7.16 ~ R4.3.25			化粧品等関連産業応用技術の開発業務	随契2号(不適)
R3.7.20 ~ R4.3.31			二次元データ処理・解析システム保守業務	随契1号(少額)
		10,697,445		
R3.5.27 ~ R3.12.17			一級河川葦科川排水管撤去工事支援業務(アドバイザリー)	随契1号(少額)
		0		
		10,697,445		

負担金支出調

(令和2年度)

	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額(円)	支出年月日
1	静岡中央地区安全運転管理協会費	静岡中央地区安全運転管理協会	通知	会費	18,000	令和2年4月17日
2	第50回(2020年度)接着技術学校木質・建材接着コース	日本接着剤工業会	開催通知	受講料	45,000	令和2年5月14日
3	プラスチック成形加工学会第31回年次大会	(一財)プラスチック成形加工学会	開催通知	参加費	10,000	令和2年5月25日
4	複合材料における材料力学と高強度設計への活かし方	㈱日本テクノセンター	開催通知	参加費	49,500	令和2年7月2日
5	高分子材料の劣化・不具合分析及び寿命評価と対策事例	サイエンス&テクノロジー(株)	開催通知	参加費	48,500	令和2年7月31日
6	ビッカリングエマルジョン・フォーム	㈱情報機構	開催通知	受講料	46,200	令和2年8月4日
7	化学工学会第51回秋季大会	(公財)化学工学会	開催通知	受講料	10,000	令和2年8月17日
8	第95回日本医療機器学会大会	(一社)日本医療機器学会	開催通知	参加費	10,000	令和2年9月4日
9	科研費獲得オンラインセミナー	㈱羊土社	開催通知	受講料	10,000	令和2年9月7日
10	第31回廃棄物資源環境学会研究発表会	(一社)廃棄物資源循環学会協会	開催通知	参加費	10,000	令和2年9月11日
11	科研費獲得オンラインセミナー	㈱羊土社	開催通知	参加費	10,000	令和2年9月18日
12	表面技術協会第142回講演大会	(一社)表面技術協会	開催通知	参加費	14,700	令和2年9月24日
13	レーザーディスプレイ・照明技術動向と自動車分野への応用展開(Live配信セミナー)	サイエンス&テクノロジー(株)	開催通知	受講料	33,440	令和2年9月29日
14	日本光学会年次学術講演会	(一社)日本光学会	開催通知	参加費	14,000	令和2年9月30日
15	第30回日本MRS年次大会	(一社)日本MRS	開催通知	受講料	17,000	令和2年10月16日
16	令和2年度会費	全国食品関係試験研究所長会	開催通知	参加費	30,000	令和2年10月23日
17	令和2年度木材接着講習会	(公社)日本木材加工技術協会	開催通知	参加費	28,000	令和2年10月30日
18	安全運転管理者講習受講費	静岡中央地区安全運転管理協会	開催通知	受講料	4,500	令和2年11月2日
19	プラスチック成形加工学会第28回秋季大会	(一財)プラスチック成形加工学会	開催通知	受講料	10,000	令和2年11月6日
20	金属メッキ技術の理論と実際	高度ポリテクセンター	開催通知	参加費	26,000	令和2年11月10日
21	社会人ビジネス講座	静岡産業大学・静岡理工科大学	開催通知	参加費	2,000	令和2年11月11日
22	日本乳酸菌学会2020年度大会	日本乳酸菌学会	開催通知	参加費	3,000	令和2年11月12日
23	フード・フォーラム・つくば秋の例会	フード・フォーラム・つくば	開催通知	受講料	1,000	令和2年11月17日
24	VirtualLad Fusion入門Webセミナー	㈱ティー・イー・エム	開催通知	参加費	44,000	令和2年11月20日
25	精密加工/計測技術-光学部品の高精度要求に応える先端技術例と最新動向	(公社)精密工学会	開催通知	受講料	22,000	令和2年12月10日
26	おがら技術の基礎・求められる材料と車載用ヘッドアップディスプレイへの応用と課題	サイエンス&テクノロジー(株)	開催通知	受講料	33,440	令和2年12月18日
27	無水マリン酸変性による樹脂/繊維、フィラーの複合化と定量評価、構造解析	㈱技術情報協会	開催通知	受講料	33,000	令和2年12月22日
28	日本エネルギー学会第16回ハイマス科学会議	(一社)日本エネルギー学会	開催通知	受講料	20,000	令和2年12月23日
29	高分子劣化状態の非破壊検査	㈱技術情報協会	開催通知	受講料	33,000	令和3年1月19日

30	ブロー形成 加工の原理、生産課題対応、さらにDXやSDGs対応まで	サイエンス&テクノロジー(株)	開催通知	受講料	35,200	令和3年2月12日
31	皮膚の保湿・バリア機能のメカニズムと評価技術	㈱デックデザイン	開催通知	受講料	18,700	令和3年3月8日
32	経皮吸収の基礎知識と促進技術の実際	㈱デックデザイン	開催通知	参加費	20,900	令和3年3月11日
33	第55回日本水環境学会年会	(公社)日本環境学会	開催通知	受講料	5,000	令和3年3月16日
34	FT-IRイメージング(マッピング)の活用	㈱情報機構	開催通知	参加費	47,300	令和3年3月23日
計					763,380	

負担金支出調

(令和3年7月31日)

	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額(円)	支出年月日
1	静岡中央地区安全運転管理協会費	静岡中央地区安全運転管理協会	通知	会費	18,000	令和3年4月20日
2	第51回接着技術学校建設接着コース	日本接着剤工業会	開催通知	受講料	25,000	令和3年5月13日
3	日本人間工学会第62回大会	(一社)日本人間工学会	開催通知	参加費	17,000	令和3年5月18日
4	食品の加熱殺菌技術の特徴と実務ポイント	㈱テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和3年6月9日
5	プラスチック成形加工学会第32回年次大会	(一社)プラスチック成形加工学会	開催通知	参加費	11,000	令和3年6月9日
6	ポリ乳酸の基礎及び材料・製品設計指針	㈱情報機構	開催通知	受講料	55,000	令和3年6月11日
7	日持向上剤の使用法と賞味期限設定と試験の進め方	㈱技術情報協会	開催通知	受講料	33,000	令和3年6月18日
8	発泡成形の基礎と応用	㈱R&D支援センター	開催通知	受講料	55,000	令和3年6月28日
9	食品微生物検査協議会2021年度講習会	(特非)食の安全を確保するための微生物検査協議会	開催通知	受講料	5,000	令和3年6月30日
10	数値限定発明・選択発明・パラメータ発明に係る判例に基づく特許出願実務	㈱テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和3年7月6日
11	電気化学の基礎から学ぶ燃料電池電極触媒の速習セミナー	㈱シーエムシー・リサーチ	開催通知	受講料	44,000	令和3年7月7日
12	表面技術協会中部支部講演会	(一社)表面技術協会中部支部	開催通知	参加費	10,000	令和3年7月9日
13	乳酸菌の機能解析と食品開発・産業への効果的な活用法	㈱テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和3年7月16日
14	原子力学会2021秋の大会	(一社)日本原子力学会	開催通知	参加費	16,000	令和3年7月27日
15	結像光学系設計初級1、初級2、初級3	㈱ティー・イー・エム	開催通知	参加費	77,000	令和3年7月29日
計					432,000	

余 白

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
				円	円	円
1	商工業費	令和2年度工業技術研究所講堂・視聴覚室音響設備更新工事	静岡市葵区牧ヶ谷地内	2,337,500	2,332,000	
2	商工業費	令和2年度工業技術研究所LAN設備新設工事	静岡市葵区牧ヶ谷地内	627,000	627,000	53,900
3	商工業費	令和2年度工業技術研究所実験棟構造機能試験室・製品性能試験室空調設置工事	静岡市葵区牧ヶ谷地内	3,256,000	2,530,000	
4	資産経営費	令和2年度工業技術研究所画像解析室系統PAC-8空調制御機器改修工事	静岡市葵区牧ヶ谷地内	764,500	764,500	
5	資産経営費	令和2年度工業技術研究所第1電気室避雷器接地修繕工事	静岡市葵区牧ヶ谷地内	808,500	808,500	
6	行政経営費	令和2年度工業技術研究所研究棟1階、3階トイレ改修工事	静岡市葵区牧ヶ谷地内	2,497,000	2,497,000	
7	資産経営費	令和2年度工業技術研究所精密測定室系統PAC-1加湿器設置工事	静岡市葵区牧ヶ谷地内	990,000	990,000	
		合 計	7件	11,280,500	10,549,000	53,900

事 調

(令和2年度)

額	契約締結方法	受注者	着手 完 成 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘 要
計							
円				円			
2,332,000	随契	株静岡エイヴィ センター	令和2年6月18日 令和2年8月7日	2,332,000	講堂・視聴覚室 音響設備の更新	—	(令達年月日) 令和2年5月29日 (最終支払年月日) 令和2年8月7日 随契1号(少額)
680,900	随契	静岡NDS(株)	令和2年7月11日 令和2年8月31日	680,900	LAN設備の新設	—	(令達年月日) 令和2年5月29日 (最終支払年月日) 令和2年9月23日 随契1号(少額)
2,530,000	一般	株メンテックカ ンザイ	令和2年7月28日 令和2年10月30日	2,530,000	実験棟構造機能 試験室・製品性 能試験室の空調 設置	—	(令達年月日) 令和2年4月1日 (最終支払年月日) 令和2年10月22日
764,500	随契	株ユアーズ静岡	令和2年8月5日 令和2年10月15日	764,500	画像解析室系統 P A C - 8空調制 御機器改修	—	(令達年月日) 令和2年5月28日 (最終支払年月日) 令和2年11月12日 随契1号(少額)
808,500	随契	株メンテックカ ンザイ	令和2年8月7日 令和2年9月11日	808,500	第1電気室避雷 器接地修繕	—	(令達年月日) 令和2年5月28日 (最終支払年月日) 令和2年10月16日 随契1号(少額)
2,497,000	随契	日将(株)	令和2年8月6日 令和2年10月6日	2,497,000	研究棟1階、3 階トイレ改修	—	(令達年月日) 令和2年7月9日 (最終支払年月日) 令和2年10月26日 随契1号(少額)
990,000	随契	株ユアーズ静岡	令和2年8月20日 令和2年10月15日	990,000	精密測定室系統 P A C - 1加湿器 設置	—	(令達年月日) 令和2年5月28日 (最終支払年月日) 令和2年11月12日 随契1号(少額)
10,602,900				10,602,900			

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	資産経営 費	令和3年度工業技術研究所排水 処理場空調更新工事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 940,500	円 940,500	円
		合 計	1件	940,500	940,500	

事 調

(令和3年度)
(令和3年7月31日現在)

額	契約 締結 方法	受注者	着 完 年 手 成 月 日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘 要
計							
円 940,500	随契	株ユアーズ静岡	令和3年6月25日 令和3年7月27日	円	排水処理場空調 更新工事	—	(令達年月日) 令和3年4月22日 (最終支払年月日) 令和 年 月 日 随契1号(少額)
940,500							

公 有 財 産 調

(令和2年度)

区分	令和2年3月31日 現 在		増		減		令和3年3月31日 現 在		摘 要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行 政 財 産		千円 3,055,797		千円		千円		千円 2,937,033	
上 地	m ² 23,157.43	1,591,114					m ² 23,157.43	1,591,114	
立 木 竹	本 1,631	3,831					本 1,631	3,831	
建 物	m ² 7,658.64 13,090.98	1,460,852				119,346	m ² 7,658.64 13,090.98	1,341,506	
工 作 物	個 46	0	1	582	1	0	個 46	582	
普 通 財 産		4		1		0		5	
特 許 権 等	件 22	4	件 2	1	件 2	0	件 22	5	
公有財産に準ずる もの		264						264	
電話加入権	件 11	264					件 11	264	
上記の財産に属さ ないもの		132		0		67		65	
準特許権等	件 9	132	4	0	2	67	件 11	65	

公 有 財 産 調

(令和3年度)

区分	令和3年3月31日 現 在		増		減		令和3年7月31日 現 在		摘 要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行政財産	/	千円 2,937,033	/	千円	/	千円	/	千円 2,937,033	
上 地	m ² 23,157.43	1,591,114					m ² 23,157.43	1,591,114	
立 木 竹	本 1,631	3,831					本 1,631	3,831	
建 物	m ² 7,658.64 13,090.98	1,341,506					m ² 7,658.64 13,090.98	1,341,506	
工 作 物	個 46	582					個 46	582	
普通財産	/	5	/		/		/	5	
特許権等	件 22	5	件		件		件 22	5	
公有財産に準ずる もの	/	264	/		/		/	264	
電話加入権	件 11	264					件 11	264	
上記の財産に属さ ないもの	/	65	/		/		/	65	
準特許権等	件 11	65					件 11	65	

借地

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は面積	借料	
				台帳	現況		単価	年額
1	土地	その他の公共 用施設敷地	静岡市葵区牧ヶ谷 649-4地先	雑種地	堤防	41.90 m ²	無償	無償
2	土地	その他の公共 用施設敷地	静岡市葵区牧ヶ谷 2040	雑種地	歩道	1.00 m ²	無償	無償
合計								

借家等調

(令和3年7月31日現在)

契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
29. 4. 1～4. 3. 31	静岡市葵区田町3-108 国土交通省中部地方整備局（静岡河川事務所）	工業技術研究所からの排水管設置
30. 4. 1～5. 3. 31	静岡市葵区追手町5-1 静岡市	カーブミラーの設置

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和3年度)
(令和3年7月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)												
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
長期継続契約	デジタル開発総合支援システムカメラ複写機管理契約	デジタル開発総合支援システムカメラ複写機 (契約日)平成31年2月5日	3,547,653	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	電子複写機貸借契約	電子複写機 (2台) (契約日)平成31年4月1日	2,286,036	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	デジタル開発総合支援システム貸借契約	デジタル開発総合支援システム (契約日)令和2年7月15日	22,987,800	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

余 白

行政財産貸付

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は面積	貸付料又は使用料	
				台帳	現況		単価	年額(10円 未満切捨)
1	建物	事務所建	静岡市葵区 牧ヶ谷	鉄筋コンクリート 4階建	同左	47.52 m ²	— 円	免除 円
2	土地	敷地	"	宅地	"	0.1 m ² (1基)	—	"
3						4.98 m ²		
4	建物	事務所建	"	"	"	1.00 m ²	144,100	144,100
5	土地	敷地	"	宅地	"	8.40 m ²	—	免除
6	"	"	"	"	"	7本	1,500	10,500
7	"	"	"	"	"	1本	1,500	1,500
8	"	"	"	"	"	1本	1,500	1,500
9	建物	雑屋建	"	コンクリートブロック造 1階建	"	3 m ²	9,355	10,980
	土地	敷地	"	宅地	"	0.25 m ²	364	
	"	"	"	"	"	8 m	544	
	"	"	"	"	"	8 m	720	
合計								168,580

使用許可調

(令和3年7月31日現在)

貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の住所氏名	貸付・使用許可目的
3.4.1～4.3.31	静岡市葵区牧ヶ谷2078番地 (一社) 静岡県計量協会	事務室 (管理棟2階)
〃		看板設置 (正門横)
		駐車場
31.4.1～4.3.31	榛原郡吉田町神戸1283 ダイドードリンコ(株)中部第二営業部	自動販売機 (清涼飲料水) の設置 (研修棟1階講堂前)
3.4.1～4.3.31	静岡市駿河区有明町2番20号 静岡県職員組合静岡支部	物置の設置
2.4.1～7.3.31	静岡市駿河区曲金6丁目3番38号 中部電力(株)静岡営業所	電柱1本、支線柱1本及び支線5条 (敷地内)
〃	静岡市葵区城東町5番1号 西日本電信電話(株)静岡支店	支線1条(敷地内)
〃		支線柱1条(敷地内)
3.4.1～4.3.31	静岡市駿河区池田28番地 静岡ガス(株)静岡支社導管ネットワーク事業部 静岡導管ネットワークセンター	地下埋設物 (ガス管)

備品・図書調

(令和 2年度)

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区分	令和 2年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	14	(0) 0	0	(0) 1	0	13
01-02 台類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	31	(0) 0	0	(0) 0	0	31
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-10 印判類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-12 寝具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-13 厨房器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-14 冷暖房器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-18 パーテーション	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
02-01 情報処理機器類	180	(5) 42	6,436,410	(5) 10	0	212
02-02 情報伝達機器類	2	(0) 1	200,200	(1) 2	0	1
02-03 再生機器類	2	(0) 0	0	(0) 1	0	1
03-01 撮影機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
03-02 観察・観測用光学機器類	16	(0) 0	0	(0) 1	115,117	15
03-03 視覚用再生等機器類	7	(0) 2	640,200	(0) 2	0	7
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

備品・図書調

(令和 2年度)

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区分	令和 2年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
03-99 その他の写真光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-02 衛生検査用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
04-05 機能回復訓練機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-01 強度（物性）試験計測機器類	60	(0) 4	6,908,000	(1) 5	0	59
05-02 波動・熱試験計測機器類	39	(0) 2	82,390,000	(1) 6	54,667	35
05-03 電気試験計測機器類	32	(0) 0	0	(0) 0	0	32
05-04 分析化学機器類	144	(3) 6	44,770,000	(0) 5	0	145
05-05 生物化学機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
05-06 環境化学機器類	11	(0) 1	205,700	(0) 1	0	11
05-07 測量機器類	23	(0) 0	0	(0) 6	115,116	17
05-08 度量衡測定機器類	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
05-09 大気気象観測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
05-99 その他の試験計測機器類	208	(6) 12	4,669,060	(2) 6	14,300	214
06-02 金属加工用機器類	10	(0) 1	400,840	(1) 1	0	10
06-04 電気電子機器類	19	(0) 0	0	(0) 5	0	14
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7

備品・図書調

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区 分	令和 2年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
06-08 プラスチック成形機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
06-09 木工用機器類	24	(0) 0	0	(0) 1	0	23
06-99 その他の諸機器類	14	(0) 4	1,673,760	(3) 3	0	15
07-01 農産用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
08-01 車両類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
09-01 標本美術品	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
50-01 図書	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
計	953	(14) 75	148,294,170	(14) 56	299,200	972

備品・図書調

(令和 3年度)

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 7月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
01-02 台類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	31	(0) 0	0	(0) 0	0	31
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-10 印判類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-12 寝具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-13 厨房器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-14 冷暖房器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-18 パーテーション	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	5	(0) 0	0	(0) 1	0	4
02-01 情報処理機器類	212	(0) 1	8,547,000	(0) 1	0	212
02-02 情報伝達機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
02-03 再生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-01 撮影機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
03-02 観察・観測用光学機器類	15	(0) 0	0	(0) 0	0	15
03-03 視覚川再生等機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

備品・図書調

(令和 3年度)

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 7月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
03-99 その他の写真光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-02 衛生検査用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
04-05 機能回復訓練機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-01 強度（物性）試験計測機器類	59	(0) 0	0	(0) 0	0	59
05-02 波動・熱試験計測機器類	35	(0) 0	0	(0) 0	0	35
05-03 電気試験計測機器類	33	(0) 0	0	(0) 0	0	33
05-04 分析化学機器類	145	(0) 0	0	(0) 2	0	143
05-05 生物化学機器類	11	(0) 1	545,600	(0) 0	0	12
05-06 環境化学機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
05-07 測量機器類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
05-08 度量衡測定機器類	18	(0) 1	572,000	(0) 0	0	19
05-09 天体気象観測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
05-99 その他の試験計測機器類	214	(0) 0	0	(0) 1	0	213
06-02 金属加工用機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
06-04 電気電子機器類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7

備品・図書調

(令和 3年度)

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区 分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 3年 7月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
06-08 プラスチック成形機器類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
06-09 木工用機器類	23	(0) 0	0	(0) 0	0	23
06-99 その他の諸機器類	15	(0) 0	0	(0) 0	0	15
07-01 農産用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
08-01 車両類	6	(1) 1	0	(1) 1	0	6
09-01 標本美術品	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
50-01 図書	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
計	972	(1) 4	9,664,600	(1) 5	0	971

主要備品調

整理 番号	区 分		品 名	利 用 状 況	購入年月	購入金額	担当
	大・中	小					
1	5-99	計測機器	車載用次世代照明用 光学部品形状評価試 験機	次世代照明用光学部品における非球 面形状測定 稼24日 依0件	R2.12	82,390,000	照明 音響
2	5-99	計測機器	二次元測定機	金属・樹脂製品等の形状・寸法測定 稼21日 依37件	H11.3	64,186,500	機械 電子
3	5-4	X線分析機 器	蛍光X線分析装置 (炭素硫黄分析計 付)	金属・セラミックス等の材料元素分 析 稼82日 依54件+機器使用38時間	H31.1	62,640,000	金属 材料
4	5-4	X線分析機 器	蛍光X線分析装置	金属・セラミックス等の材料元素分 析 稼0日 依0件	H3.1	35,999,998	金属 材料
5	3-2	顕微鏡	走査電子顕微鏡	微小部品の形状観察・表面処理品形 状の確認等 稼30日 依3件+機器使用33時間	H20.2	30,954,000	金属 材料
6	5-99	試験実験機 器	ドライエッチング装 置	シリコンウェハ・金属等の微細加工 稼0日 依0件	H11.3	30,660,000	化学 材料
7	5-4	クロマトグ ラフ	1次元・2次元ガス クロマトグラフ質量分 析・嗅覚アッセイシ ステム	食品、材料等の成分分析 稼120日 依36時間	R1.9	26,946,000	食品
8	5-99	計測機器	非接触表面性状測定 機	金属・樹脂製品等の表面性状測定 稼101日 依19件	H27.11	26,838,000	照明 音響
9	5-4	X線分析機 器	微小部蛍光X線分析 装置	材料表面の微小領域の元素分析 稼41日 依55.5時間	R2.11	25,300,000	化学 材料
10	5-2	音試験計測 機器	音響透過損失・残響 室法吸音率測定シス テム	自動車内外装材料及び建設構造体の 吸音率と音響透過損失測定 稼48日 依203件	H28.12	24,300,000	照明 音響
11	5-99	試験実験機 器	動的粘弾性測定装置	食品、材料等の物性（動的粘弾性 等）の測定 稼15日 依3時間	H10.11	22,995,000	食品

(令和3年度)
(令和3年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名	利 用 状 況	購入年月	購入金額	担当
	大・中	小					
12	5-99	試験実験機器	メタン発酵パイロットプラント	食品廃棄物等のメタン発酵の現場で運用、性能実証データの取得 稼365日 依0件	H29. 2	22,479,120	環境 エネルギー
13	5-99	試験実験機器	複合環境試験機	各種部品・製品等の信頼性試験（振動・熱衝撃及び複合試験） 稼7日 依31件	S61. 12	22,297,950	機械 電子
14	2-1	電算組織用媒体	機械構造解析ソフトウェア	機械構造物の強度シミュレーション 稼1日 依1件	III6. 12	21,325,454	機械 電子
15	5-2	光試験計測機器	ヘッドランプ用配光測定装置	ヘッドランプ等の照明製品の配光測定 稼35日 依0件	H29. 3	20,380,680	照明 音響
16	5-1	強度試験・計測機器	電気油圧式疲労試験機	材料・部品等の強度試験 稼101日 依714件	R2. 2	19,800,000	金属 材料
17	5-4	分光分析機器	ICP発光分光分析装置	工業製品（材料）中の元素の精密定量分析 稼33日 依34件	R2. 10	19,470,000	環境 エネルギー
18	5-1	強度試験・計測機器	塩乾湿浸漬複合サイクル試験機	金属・表面処理品等の耐食性試験 稼91日 依1751件	III4. 11	18,984,000	金属 材料
19	5-2	光試験計測機器	変角分光測色システム	光の入射角・受光角を考慮した反射率・透過率の測定 稼96日 依23件	H10. 9	17,619,000	照明 音響
20	5-4	分光分析機器	分光分析機器	製品の異物・不具合及び材質等の調査、ファイラーの分散性評価 稼130日 依200件	H26. 3	16,642,500	化学 材料

(注) 「稼」は稼働日数、「依」は依頼試験及び設備使用件数で、それぞれ過去1年間の実績。

ただし件数により難しい場合は一部時間により記載。

生産物

品名 (単位)	微生物株 K0C-0145				微生物株 K0C-0152				微生物株 K0C-0156				微生物株 K0C-0161				微生物株 K0C-0166				
	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。 (ア)																					
面積 (ha、a、㎡、反、等)																					
数量 (個、鉢、木、頭、匹、羽、バツ、等)	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	木	
長さ (m、等)																					
重さ (t、kg、等)																					
受高	前年度繰越高																				
	本年度生産高 (イ)	1			-1	1			-1	1			-1	1			-1	1		-1	
	計	1	0	0	-1	1	0	0	-1	1	0	0	-1	1	0	0	-1	1	0	0	-1
単位数量 (イ/ア)																					
同前年比 (%)																					
(b-a) / a × 100																					
払高	売却数量	1			-1	1			-1	1			-1	1			-1	1		-1	
	売却金額	3060			-3,060	3060			-3,060	3060			-3,060	3060			-3,060	3060		-3,060	
	非売品数量	分類換																			
		管理換																			
		その他																			
計	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	
残高又は繰越数量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
損喪																					

受 払 調

(令和3年7月31日現在)

微生物株 KOC-0167				微生物株 KOC-0173				微生物株 KOC-0183				微生物株 KOC-0192				計			
前々年度	前年度	監査調 書作成 日現在	差	前々年度	前年度	監査調 書作成 日現在	差	前々年度	前年度	監査調 書作成 日現在	差	前々年度	前年度	監査調 書作成 日現在	差	前々年度	前年度	監査調 書作成 日現在	差
a	b		b-a	a	b		b-a	a	b		b-a	a	b		b-a	a	b		b-a
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
																0	0	0	0
1			-1	1			-1	1			-1	1			-1	9	0	0	-9
1	0	0	-1	1	0	0	-1	1	0	0	-1	1	0	0	-1	9	0	0	-9
1			-1	1			-1	1			-1	1			-1	9	0	0	-9
3060			-3,060	3060			-3,060	3060			-3,060	3060			-3,060	27540	0	0	-27540
1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	9	0	0	9
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 3 試驗研究成果一覽表

[研究所全体]

令和2年度 試験研究成果一覧表

工業技術研究所

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 委託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	事業費		備考
								(R1年度まで) R1年度	(全体) R2年度	
新成長戦略研究	車載光学機器産業を 支援する設計・評 価・生産支援技術の 開発	継続	共同	H30 ～ R2	県の成長産業分野である次世代自動車に求められる車載光学機器の開発にあたり、産業の持続的発展を目的とした先取り型の開発支援のための設計・評価・生産支援技術を完成させる。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (47,371) 16,980	千円 (54,560) 7,189	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	
新成長戦略研究	生産基盤拡大に繋がる 家畜ふん尿の乾燥 及びエネルギー転換 技術の開発	継続	単独	H30 ～ R2	家畜ふんのエネルギー利用を進めるため、エネルギー源として品質が確保された家畜ふん乾燥技術や、燃焼発生する排ガス対策技術及び再利用技術を開発することで、新たなエネルギー利用システムを構築する。	乾燥家畜ふんに対するバイオオマース由来の燃焼試験を研究協力機関(県内企業)と共同で行った結果、排ガス中の窒素酸化物及び硫黄酸化物を規制値以下に抑えることができた。	乾燥牛ふん及び他のバイオオマースとの燃焼試験に対する燃焼試験を 通じ、燃焼効率と排ガスの規制基準を両立する条件を明らかにする ことで、協力する県内 企業への普及を日指 す。	千円 (6,632) 1,740	千円 (7,715) 1,083	畜産技術研究所
新成長戦略研究 事業	次世代自動車軽量化 のためのCNF複合材 の開発	継続	共同	R1 ～ R3	自動車部品へのセルロースナノファイバー(CNF)の活用が期待されているが、ポリプロピレン(PP)・CNFマスタースパッチを入手できず、求める特性が得られないなどの課題に対応する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (11,786) 11,786	千円 (20,313) 8,527	静岡大学 □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	

新成長戦略研究	IoT導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	継続	共同	R1～R3	県内企業のIoTへの関心は高いが、資金面や効果に対する不安から、普及が進んでいない。そこで、ポーターブルIoT導入キットの開発、IoT検証ラボの開設、モデル工場の実現と効果分析により、導入を促進する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (19,487) 19,487	千円 (39,772) 20,285	□□□□□□ □□□□□□
新成長戦略研究	マリノバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	新規	共同	R2～R4	マリノバイオ関連産業の振興を図るため、海洋微生物を活用した食品開発として、海洋由来の乳酸菌を活用して、清涼感等を増強した甘酒や発酵調味料等の開発を目指した。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (5,492) 5,492	千円 (-) —	水産・海洋技術研究所 工学部工業技術支援センター 農林技術研究所 畜産技術研究所 環境衛生科学研究所
県単独研究	作業負担を軽減する新たなアシスト機構の開発	継続	単独	E30～R2	農業、工業、運輸業、介護などの作業において、繰り返しや長時間の作業が多く、膝などの負担が大きい。歩行の邪魔にならないように配慮した膝の屈伸運動をアシストする機構が求められている。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (1,800) 150	千円 (1,650) 650	開発終了後は、学会等で発表し、成果を普及する。
県単独研究	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	継続	単独	R1～R2	静岡県立大学(以下、県大)との共同研究「農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築」の枠組みの中で実施する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (320) 200	千円 (120) 120	静岡県立大学 東京工科大学 神奈川大学 理化学研究所
県単独研究	家具の品質向上に向けた要素技術の開発	継続	単独	R1～R2	家具の品質向上のために、 ① 勢いよく座った時の破損を模擬する試験の実施② 木工プレス機の適切な荷重管理、 理、 について製品への影響を調査し、改善すべき点を抽出する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (3,779) 2,574	千円 (1,205) 1,205	県内企業に対して、試験方法の提案やプレス機荷重の見える化装置を提案し、品質向上に役立てる。

県単独研究	積層板の音響特性における接着剤の影響	継続	単独	R1 ~ R2	静岡県は楽器生産が盛んで出荷量が多い。高音質な楽器の製造には材料の特性向上は重要である。CNFを添加した接着剤を使用した積層板について、振動特性への影響を調査し、楽器用途への展開を検討する。	音響特性の選択的な向上を目的に、CNF添加接着剤の振動特性データを蓄積し、残響制御機能を活かした用途開発につなげる。	千円 (703) 703	千円 (2,206) 1,502	
県単独研究	セルロースナノファイバーによる機能性成分の徐放化と挙動解明	新規	単独	R2 ~ R3	セルロースナノファイバーの化粧品への添加によって付与される「香りの徐放化」の発現メカニズムを解明し、その制御技術を確認する。	CNFをPVAcに添加することで、硬度補強効果が認められ、長繊維CNFの添加が有効であった。音響特性には高強度接着剤・長繊維CNF添加接着剤の使用が有効であった。	千円 (-) -	千円 (1,800) 1,800	
県単独研究	スキケンケア素材の探索と機能性向上を目指した乳酸菌発酵	新規	単独	R2 ~ R3	静岡県の豊富な農林水産品から抽出されるエキース、種子油、香り等について、化粧品として有用な機能性素材を探索し、機能性発現の作用機序を明らかにする。さらに乳酸菌発酵により機能性強化を試みる。	CNFをPVAcに添加することで、硬度補強効果が認められ、長繊維CNFの添加が有効であった。音響特性には高強度接着剤・長繊維CNF添加接着剤の使用が有効であった。	千円 (-) -	千円 (5,972) 5,972	静岡県立大学
一般共同研究	EVフットに要求される欠陥レスで高密着な樹脂めっきの作製	継続	共同	R1 ~ R2	県内企業の豊富な農林水産品から抽出されるエキース、種子油、香り等について、化粧品として有用な機能性素材を探索し、機能性発現の作用機序を明らかにする。さらに乳酸菌発酵により機能性強化を試みる。	音響特性の選択的な向上を目的に、CNF添加接着剤の振動特性データを蓄積し、残響制御機能を活かした用途開発につなげる。	千円 (901) 904	千円 (2,191) 1,287	

受託研究 (競争的資金による研究) 新成長産業戦略的育成事業助成事業 (県産業振興財団)	小型・低コストバ イオマスコスタバ 電システム・実証 機の開発	継続	受託	R1 ～ R3	農林業のニーズに 応えるために、小 型・低コストバイ オマスコスタバを 開発する。高効率 化及び低コストを 図る上で必要な 技術要素を一体化 させたユニット (実証機)を製作す る。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (300) 300	千円 (906) 605	□□□□□□
受託研究 (競争的資金による研究) 先端企業育成プロジェクト推進事業 (県新産業課)	複数場の同時制御 プロセスによるリ サイクル可能な超 軽量マルチ部材の 開発	新規	受託	R2 ～ R4	次世代自動車に要 求される軽量化部 材を実現するために 、温度と圧力の同 時制御による異種 材料を一体化によ り接合したマルチ部 材の量産対応の工 業プロセスを開発 し、リサイクル技 術まで確立する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (400) 400	千円 (400) 400	□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□
受託研究 (競争的資金による研究) 国際標準化事業 (経産省)	フレキシブル面光源の 性能評価のための 光学特性測定に 関する国際標準 化	新規	受託	R2 ～ R4	フレキシブル面光源 の最大の特徴である 形状の可変性に応 じた性能評価のため の測光方法を研究 し、国際電気標準 会議 (IEC) に規格 原案を提案する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (811) 811	千円 (811) 811	山形大学
受託研究 (競争的資金による研究) M&O 事業化促進事業 (県産業イノベーション)	マグロ未利用部位 プロテオグリカン 抽出技術の検討	新規	受託	R2	静岡県は、マグロ (きぼだ)を誇る。そ の加工未利用部位か ら機能性が期待さ れるプロテオグリカ ンを抽出し、食品 ・化粧品素材の開 発を目指す。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (1,000) 1,000	千円 (1,000) 1,000	□□□□□□□□

受託研究(競争的資金による研究) CNF活用試作品開発事業(県新産課)	新規	受託	R2	茶カテキンを化粧品原料として有効に活用するために、CNFによるカテキンの色調変化抑制、BGGの安定効果を調べ、安定性の高いカテキンクリーム処方を目指した。	□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□	千円 (-) - 千円 (300) 300	□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□
受託研究(競争的資金による研究) 新成長産業戦略的育成事業(県産業振興財団)	新規	受託	R1 ~ R2	セルロースナノファイバー(以下、CNF)を活用して、ヒトへの心理・生理効果が期待される機能的な香り成分を徐放するアロマ・基礎化粧品(乳液)を試作開発することを目的として、試験を行った。	□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□	千円 (500) 500	□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□
受託研究(競争的資金による研究) 新成長産業戦略的育成事業(県産業振興財団)	新規	受託	R2	微細化緑茶分散液について、新たな機能を持つ食品素材として製品化を検討するため、微細化方法の違いによる粒度分布、香気成分、粘度及び固形分に関する物性評価について評価を行った。	□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□	千円 (-) - 千円 (500) 500	□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□
受託研究(競争的資金による研究) 医療機器産業基盤強化推進事業(県産業振興財団)	新規	受託	R2	自転式ミキサーが開発された自転式ミキサー“おくすりmiksi”試作機により、錠剤を破砕して得られる散剤や、顆粒剤、細粒剤及び散剤の混合物について粒度分布及び電子顕微鏡による形状評価を実施する。	□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□	千円 (300) 300	□□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□ □□□□□□□□

富士工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	事業費		備 考
								(R1年度まで) R1年度	(全体) R2年度	
新成長戦略研究	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	継続	単独	R1～R3	自動車用部材等の成形に必要なマスターパーバッチを開発し、県内企業にマスターパーバッチの提供と製造技術の普及を行うことにより、企業のCNF関連産業への参入を推進する。	リファイナーを使用しマスターパーバッチに適したCNFを作成した。BCTMPから作られた複合材の強度が高かった。またリファイナーで作製したCNFを原料にマスターパーバッチを作製し、実機で自動車部材を成形した。	企業訪問、技術相談などを通じて成果の普及を進めている。	千円 (9,364) 9,364	千円 (23,164) 4,452	静岡大学
県単独研究	再生紙の低密度化に関する研究	継続	単独	R1～R2	特殊更紙は古紙品質の低下で製品品質も低下傾向で、重要な紙厚確保のため価格は変えず原料を多く使用しており、県内メーカーからコスト削減に寄与し、品質向上にも役立つ低密度化の技術調査・開発を要望された。	抄紙原料を加温熟成することで低密度化できるとを見出した。低密度化の要因と考えられる機械パルプは通常の特殊更紙原料よりも約40%低密度化できた。得られた知見により再生手すき紙を30%低密度化できた。	1社でプレス圧を制御して適切な坪量の緩衝材用紙製品を製造している。別の1社では段ボール古紙を配合して緩衝材用紙製品・製袋原紙を製造している。1社で5%低密度化した特殊更紙製品ができた。	千円 (1,019) 1,019	千円 (1,586) 567	
県単独研究	はぐれやすさ試験機の技術開発	新規	単独	R2	トイレットペーパーの重要な品質試験項目であるはぐれやすさは、専用の試験機が無く公的試験機関や製紙工場間で結果に整合性がない。近年、業界から、正しい結果が得られる試験機の開発を強く要望されている。	様々なはぐれやすさを持つトイレットペーパーの評価に代わって、これまで使用していた試験機と同等の結果を安定的に再現できるはぐれやすさ試験機を開発できた。	今回の研究成果を活かし、協力会社が製品化し、2021年4月に販売開始予定である。学会にて研究成果を発表するとともに、家庭紙製造企業への技術相談の対応など、業界への積極的な情報発信を行う。	千円 (-) -	千円 (567) 567	
県単独研究	プラズマ照射による樹脂表面の新規改質技術の開発	新規	単独	R2～R3	樹脂材料に塗装やめっき等を施す際、材質表面改質の事前処理が必要となる。材料の表面改質では大きく複雑形状の樹脂の事前処理手法がなく、効果的で生産性の高い方法が求められている。	県内企業や県外公設との連携関係を築き、プラズマ照射による前処理法を用いて樹脂めっきを実施し、密着強度が実用レベルに迫ることを示した。	県内企業にプラズマ照射を用いた前処理法の長所を広報している。	千円 (-) -	千円 (426) 426	

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	事業費		備 考
								(R1年度まで) R1年度	(全体) R2年度	
新成長戦略研究	新成長分野発展に 貢献する軽量高強 度材料(CFRP)の高 効率成形加工技術 の確立	新規	単独	R2 ～ R4	炭素繊維強化複合材料は短 時間成形が課題となっており 利用・普及が進んでいない。 そこで、大量生産に対応した 成形加工技術を開発する自 素材としての利活用の促進を 図る。	アルミニウムダイカスト と同程度の強度で5分程 度の生産サイクルに対応し た加工技術を開発すること で、地域企業が開発する自 動車やロボット等の部品へ の採用を目指す。	協力機関である浜松地 域CFRP事業化研究会を通 じて会員企業等に技術普 及を進める。	千円 (21,261) 24,264	千円 (-) -	
県単独研究	分光特性を利用し たものづくりの品 質検査に関する研 究	継続	単独	H30 ～ R2	品質管理では樹脂製品の残 留応力や金属表面の形状を非 破壊・非接触で評価すること が必要とされている。本研究 では、対象の分光特性を利用 した樹脂内部の応力分布と大 面積の表面粗さ分布を測定す る技術を開発する。	見た目が不透明な樹脂の 応力により発生する複屈折 分布を開発した装置で可視 化した。表面粗さの測定技 術開発では、試料形状と分 光反射率の相関を評価し、 色彩計測で粗さを推定でき ることを確認した。	開発した複屈折分布可 視化装置を用いて、樹脂 製品の残留応力を問題 として抱える企業を支援 した。また、色計測によ り定量的に表面粗さを推 定する技術に関する研究 成果を学会で発表した。	千円 (5) 5	千円 (2,005) 2,000	
県単独研究	材料評価・解析の スキルアップに向 けたサンプリング メソッドの開発	継続	単独	R1 ～ R2	材料の評価・解析業務にお いて、対象サンプルを採取す ることが困難な「難サンプリ ング材」に関する技術相談が 多い。そこで、様々な難サン プリング材を適切かつ効率的 にサンプリングするメソッド を開発する。	依頼試験・分析、技術相談 において有用な48項目のサン プリングメソッドを開発し、 科内で情報共有・継承する環 境を整えた。 これまで実施が困難だった 事例でも対応可となったケー スも増えた(10社15件程度)。	評価・解析スキルが高 度化され、所要時間の短 縮とサービスの質が向上 しつつある。また、適用 可能なケースの大幅な拡 大も見込まれるため、今 後も多種多様な企業から の依頼分析・技術相談へ の対応が可能となる。	千円 (2,362) 2,362	千円 (4,124) 1,762	
県単独研究	3D熱変形予測技術 を応用した次世代 自動車用部品の開 発プロセスの効率 化	新規	単独	R2 ～ R3	3D熱変形予測・評価技 術、熱変形予測シミュレーシ ョン技術を活用して、企業が 取り組む次世代自動車部品の 開発プロセスの効率化を支援 する。	次世代自動車部品用を開 発中の放熱性の高い樹脂に 関して、3D計測装置を活用 して、熱変形の評価試験を 行った。また、摩擦境接 合に関する物性試験も3D 計測装置で行った。	次世代自動車用部品を 開発する企業に対して、 3D計測装置による試験 データを提供し、製品開 発プロセスの効率化を支 援している。	千円 (2,203) 2,203	千円 (-) -	

令和3年度 試験研究成果一覽表

工業技術研究所

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期 間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	事業費		備考
								(R2年度まで) R2年度	(全体) R3年度	
新成長戦略研究 事業	次世代自動駆動量 化のためのCNF複合材 の開発	継続	共同	R1 ~ R3	自動車部品へのセルロース ナノファイバー (CNF) の活 用が期待されているが、ポリ プロピレン (PP)・CNFマス ターバッチを入手できない、 求める特性が得られないなど の課題に対応する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (20,313) 8,527	千円 (24,353) 4,040	静岡大学 □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□ □□□□□□
新成長戦略研究	IoT導入支援のため の技術拠点と先進事 例モデルの構築	継続	共同	R1 ~ R3	県内企業のIoTへの関心は 高いが、資金面や効果に対す る不安から、普及が進んでい ない。そこで、ポータル IoT導入パッケージの開発、IoT検 証ラボの開設、モデル工場の 実現と効果分析により、導入 を促進する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (39,772) 20,285	千円 (48,531) 8,762	□□□□□□ □□□□□□
新成長戦略研究	マリノバイオ産業 を振興するため の、海洋由来微生 物を活用した新た な食品開発	継続	共同	R2 ~ R4	マリノバイオ関連産業の振 興を図るため、海洋微生物を 活用した食品開発として、海 洋由来の乳酸菌を活用して、 清涼感等を増強した甘酒や酸 凝固タイプのチーズ、発酵調 味料等の開発を目指した。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (5,492) 5,492	千円 (7,685) 2,193	水産・海洋技術 研究所 静岡工業 技術支援センタ ー 農林技術研究所 畜産技術研究所 環境衛生科学研 究所 マリノオーブン イノベーション 機構 □□□□□□ □□□□□□

- 4 廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
- 5 国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
- 6 試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手を記載する。

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期 間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	事業費		備 考
								(R2年度まで) R2年度	(全体) R3年度	
新成長戦略研究	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	継続	単独	R1～R3	自動車用部材等の成形に必要なマスタバッチを開発し、県内企業にマスタバッチの提供と製造技術の普及を行うことにより、企業のCNF関連産業への参入を推進する。	リファイナーを使用して安価なCNFを作成した。このCNFから、ポリプロピレイン/CNF複合材のマスタバッチを作製し、これを原料に射出成形機の実機で複雑形状の自動車部材を試作した。	企業訪問、技術相談などを通じて成果の普及を進めている。	千円 (23,164) 4,452	千円 (28,113) 4,949	静岡大学
県単独研究	段ボール古紙を使用した「茶色いトイレットペーパー」の開発	新規	単独	R3～R4	再生トイレット紙の原料である上質古紙の確保が困難となる。環境面からリサイクルできないトイレット紙を古紙から安定して作ることは重要で、安価・豊富な段ボール古紙をトイレット紙の原料に使用するため技術開発等を行う。	県内製紙会社2社の協力工場の古紙処理工程に倣い、添加薬品・割合を決めてテーパーテストを開始した。実験により段ボール古紙パルプの製品品質への影響、工場適用における問題点の把握に努めている。	段ボール古紙を原料にしたときの問題点の把握と同時に解決策の検討を実施し、協力工場に適用可能な古紙処理方法の提案に繋げる。	千円 (1,077) 567	千円 (435) 435	
一般共同研究	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	継続	共同	R1～R3				千円 (1,802) 725	千円 (1,077) 567	
一般共同研究	CNF製造に関する解繊エネルギーの低減	継続	共同	R1～R3				千円 (1,947) 870	千円 (1,077) 567	

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 普及等の状況	事業費		備考
								(R1年度まで) R1年度	(全体) R2年度	
新成長戦略研究	新成長分野発展に 貢献する軽量高強 度材料(CFR)の高 効率成形加工技術 の確立	継続	単独	R2 ～ R4	炭素繊維強化複合材料は、 成形に長時間要することが課 題となっており利用・普及が 進んでいない。そこで、大量 生産に対応した成形加工技術 を確立し、軽量素材としての 利活用の促進を図る。	開発中の成形材料の作製 条件や成形品を製作する際 の成形条件の検討を行い、 アルミニウムダイカストと 同程度の強度の成形品を製 作できることを確認した。	協力機関である浜松地 域CFRP事業化研究会を通 じて会員企業等に技術普 及を進める。	千円 (21,261) 24,264	千円 (52,506) 28,242	
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代 車載装置用樹脂 レンズの開発	新規	単独	R3 ～ R5	路面に図形を描画すること で歩行者にメッセージを伝え る「コミュニケーション」の現 代に必要な、超小型で超微細な樹 脂レンズの製品化技術を構築 する。	80μm角の微小なプリズ ムを100x100個のアレイ状 に配置し、各プリズムの傾 斜角や回転角を制御するこ とで、1m後方のスクリーン にイメージ像を投影する光 学素子を設計する技術を構 築した。	開発した技術を活用し て、高品質・高付加価値 の車載光学製品を創出す る県内企業を支援する。	千円 (-) -	千円 (1,425) 1,425	
県単独研究	3D熱変形予測技術 を応用した次世代 自動車用部品の開 発プロセスの効率 化	継続	単独	R2 ～ R3	3D熱変形予測・評価技 術、熱変形予測シミュレーシ ョン技術を活用して、企業が 取り組む次世代自動車部品の 開発プロセスの効率化を支援 する。	自動車用樹脂部品の熱変形 の経年変化を恒温槽の観察窓 から3D計測装置を活用して測 定した。測定結果はシミュレ ーションの予測精度向上に利 用された。	次世代自動車用部品を 開発する企業に対して、 3D計測装置による試験 データを提供し、製品開 発プロセスの効率化を支 援している。	千円 (2,203) 2,203	千円 (4,268) 2,065	
県単独研究	車載機器EMC試験に おける測定値のサイ ト間比較による測定 信頼性の向上	継続	単独	R2 ～ R3	平成30年度に車載機器用の EMC試験を行う試験施設を開 設した。本施設で得られる試 験データの信頼性を保証する ため、他の試験サイトと同条 件の試験を行い、サイト間の 「測定値のずれ」を比較す る。	国際規格に規定の「ロン グワイヤアンテナ法」を 用いて、車載機器用電波暗 室を評価した。暗室が規格 に適合していること、試験 時の接地方法により10～ 30MHzでの周波数特性に違 いが出るということが明らか になった。	利用者に対して当サイ トで得られるデータの信 頼性を担保するとともに 、その試験データの傾 向について情報提供を行 う。	千円 (1,762) 1,762	千円 (3,414) 1,652	

県単独研究	多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発	新規	単独	R3 ～ R4	大面積の表面粗さを短時間で評価できる官能検査は、定量的な品質管理に課題がある。本研究では、試料表面の色を高精度にイメージング測定することで、巨視的な表面粗さの違いを定量測定する方法を確立する。	R3 ～ R4	品質工学のパラメータ設計手法を用いて、2次元色彩計で測定した試料表面像の色から表面粗さを推定する測定系に影響を与える因子を調べた。測定系を最適化することで、SN比と感度が共に7db改善した。	品質工学のパラメータ設計手法を用いて、2次元色彩計を用いた粗さ測定機の開発を目的とする研究協力企業の製品開発を支援した。	千円 (-) -	千円 (800) 800	
県単独研究	材料評価・解析における技術継承を目的とした技術資料集の作成	新規	単独	R3	様々な要因(データベースに類似するデータが複数存在する等)によって同定や判定が困難なケースがある。材料評価・解析スキルの技術継承を促進・支援するための技術資料集(ガイドマニュアル等)を作成する。	R3	FT-IRをはじめとする機器分析、金属材料に関する試験職員の評価・解析スキルが高度化でき、依頼試験・技術相談において活用の短縮とサービスの質が向上できる。	材料科内で技術・情報を共有することにより、職員の評価・解析スキルの高度化でき、依頼試験・技術相談において活用の短縮とサービスの質が向上できる。	千円 (-) -	千円 (1,652) 1,652	
県単独研究	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	新規	単独	R3 ～ R4	通常のスポット溶接法では、鉄とアルミニウムを十分な強度で接合することが難しい。ニッケルを施した鉄とアルミニウムを汎用スポット溶接機を使用して接合する技術を開発する。	R3 ～ R4	接合面のニッケルめっき厚さ、スポット溶接の電流を変え、単相交流方式のスポット溶接機を用いて鉄とアルミニウムを接合することができた。今後接合強度の向上を図る。	県内部品メーカーが本技術を応用することで、次世代自動車等で望まれる軽量化技術に関し、マルチマテリアル化への対応が可能となる。	千円 (-) -	千円 (551) 551	
一般共同研究	ダイヤモンド焼結体(PCD)工具のレーザー加工技術の開発	継続	共同	R2 ～ R3	超短パルスレーザーによるPCD加工について、加工表面の性状、刃先丸み及びグラフアイト変質層の割合のそれぞれが工具寿命とどのような関係にあるかを調べ、より長寿命の工具を作製する加工技術を開発する。	R2 ～ R3	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (-) -	光産学大学院 □□□□□□□□	

